上三川町文化財保存活用地域計画

令和７（2025）年７月

目次

序章

1 計画作成の背景と目的 P1
（1）背景と目的　（2）文化財の定義

2 地域計画の位置付け P3
（1）地域計画の位置付け　（2）上位・関連計画の概要

3 計画期間 P6
（1）計画期間　（2）計画の進捗管理と自己評価の方法

第１章 上三川町の概要

1 自然・地理的環境 P7
（1）位置　（2）地形　（3）気候

2 社会的状況 P9
（1）人口　（2）交通　（3）産業　（4）土地利用　（5）文化財関連施設

3 歴史的背景 P14
（1）原始　（2）古代　（3）中世　（4）近世　（5）近・現代

第２章 上三川町の文化財の概要

1 文化財の把握状況 P21
（1）指定等文化財　（2）未指定文化財

2 文化財の概要 P24
（1）有形文化財　（2）無形文化財　（3）民俗文化財　（4）記念物　（5）文化的景観
（6）伝統的建造物群　（7）その他（地名・町割）　（8）文化財の保存技術

第３章 上三川町の歴史文化の特徴

1 歴史文化の特徴 P30
（1）歴史文化をつくる背景　（2）歴史文化の特徴

第４章 文化財の保存・活用に関する方針

1 目指すべき将来像 P34
（1）将来像　（2）基本方針

2 これまでの文化財の保存・活用の事業 P35
（1）これまでの文化財の保存・活用の事業

3 文化財の保存・活用に関する課題と個別方針 P36
（1）文化財を【まもる】　（2）文化財の新たな可能性を【みせる】
（3）文化財でひととまちを【つなぐ】

第５章 文化財の保存・活用に関する事業

１ 文化財の保存・活用に関する事業 P41
（１）文化財を【まもる】　（２）文化財の新たな可能性を【みせる】
（３）文化財でひととまちを【つなぐ】　（４）重点的に行う事業

第６章 文化財の保存・活用の推進体制

１ 文化財の保存・活用の推進体制 P47
（１）上三川町の体制　（２）多様な主体との連携　（３）各主体の役割

◆巻末資料

１ 計画作成の実施体制と経過 P50
（１）計画作成の実施体制　（２）計画作成の経過

２ 文化財調査報告書リスト P52
（１）把握調査に関する報告書および台帳　（２）埋蔵文化財調査報告書

３ 文化財リスト P56
（１）指定等文化財　（２）未指定文化財

４ 上三川町の文化財に関する町民意識のアンケート..... P102
（１）アンケートの概要　（２）集計結果
（３）回答者の属性別の傾向分析　（４）分析結果

５ ワークショップ P111
（１）【１回目】ワークショップ　（２）【２回目】ワークショップ

序章

1 計画作成の背景と目的

（1）背景と目的

上三川町は、国指定史跡の上神主・茂原官衙遺跡、国登録有形文化財の生沼家住宅など、54 件の国・県・町指定等の文化財や、未指定文化財が数多く存在する。

上神主・茂原官衙遺跡については、本町とまたがって遺跡が位置する宇都宮市とともに保存・活用方法を検討し、平成 18（2006）年 3 月に『上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想』を策定した。また、長年にわたり、歴史的背景や遺跡の特徴が共通する近隣自治体と連携して、文化財に関する事業を展開してきており、その一環として令和 5（2023）年には壬生町及び下野市と文化財連携事務研究会を立ち上げた。このように、指定等文化財の保存・活用については、文化財保護法や県・町文化財保護条例、各種補助金交付要綱等に基づき、関係自治体と連携しながら支援や対策などを講じてきた。

しかし、社会情勢の変化により、文化財に関する保存・活用に様々な課題が生じている。本町は、宇都宮市に隣接し、新４号国道や北関東自動車道といった利便性の良い道路を有するため、近年、宅地造成などが急増しており、これまで守られてきた古墳などの遺跡にも開発が及んでいる。また、少子高齢化などの影響により、町内に残る祭礼や伝統行事の担い手が不足し、継承が困難になりつつあるため、早急な対策が求められている。

こうした状況を踏まえ、町内に存在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く捉え、将来にわたり保存するとともに、活用していくための方針を確立し、具体的な取組みを定め、計画的に遂行する必要がある。平成 30（2018）年に文化財保護法の改正に伴い、文化財の保存・活用に関するマスタープラン及びアクションプランを兼ねる「文化財保存活用地域計画」が制度化されたことから、『上三川町文化財保存活用地域計画（以下、本地域計画）』を作成した。

また、令和 3（2021）年 3 月に作成した『上三川町第７次総合計画後期基本計画』では、地域の人々が日常的に文化に親しむことができるまちづくりを目指している。平成 29(2017)年 3 月に作成した『上三川町都市計画マスタープラン』においては、歴史・文化資源などの活用、景観や文化などの保全と創出を基本方針の一つとして位置付けている。これらの上位・関連計画における歴史文化や文化財を活かしたまちづくりの理念と基本方針との整合をとりながら、多様な文化財を官民協働で適切に保存していくことで、地域住民の文化財に対する愛着や誇りを深め、文化財の保存・活用の機運が高まって、地域活性化に繋げることを本地域計画の目的とする。

（２）文化財の定義

本地域計画の中で示す「文化財」とは、指定等の有無や類型に関わらず、本町の歴史文化を示す地域の資産を指す。また、本町の文化財を支える人々の活動や周囲の景観といった、周辺環境も含めたものを「歴史文化」とする。

類型としては、文化財保護法に定められた文化財の６類型（有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群）を基本とし、法に規定されている土地に埋蔵されている文化財（埋蔵文化財）は記念物の遺跡に、伝承や民謡などを口承伝承として民俗文化財の無形の民俗文化財として対象に加えた。この他、文化財の６類型には当てはまらないが、古い地名・町割をその他（地名・町割）として対象に加えた。

本地域計画において対象とする「文化財」

類型・種別		例
①有形文化財	建造物	・社寺建造物 ・古い民家や店舗、公共施設 ・近代化遺産
	美術工芸品	・絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料
②無形文化財		・演劇、音楽、工芸技術など
③民俗文化財	有形の民俗文化財	・民具（衣服、生活や生業に用いる道具、家具など） ・祭礼道具 ・石造物（記念碑、石仏、道標など）※
	無形の民俗文化財	・衣食住や年中行事 ・くらしの技術 ・民俗芸能、民謡など ・口承伝承
④記念物	遺跡（埋蔵文化財含む）	・埋蔵文化財包蔵地を含む遺跡（古墳、城館跡、集落跡など） ・古道や街道
	名勝地	・公園、並木、遊歩道、河川
	動物、植物、地質鉱物	・動物 ・植物 ・地質鉱物
⑤文化的景観		・田畑、里山、用水路などを有する集落の景観（人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地）
⑥伝統的建造物群		・宿場町や城下町、農村など（周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群）
⑦その他（地名・町割）		・古い地名・地割
⑧文化財の保存技術		・文化財の保存技術

※石造物には有形文化財に分類されるものもあるが、未指定は全て「有形の民俗文化財」に分類した。

2 地域計画の位置付け

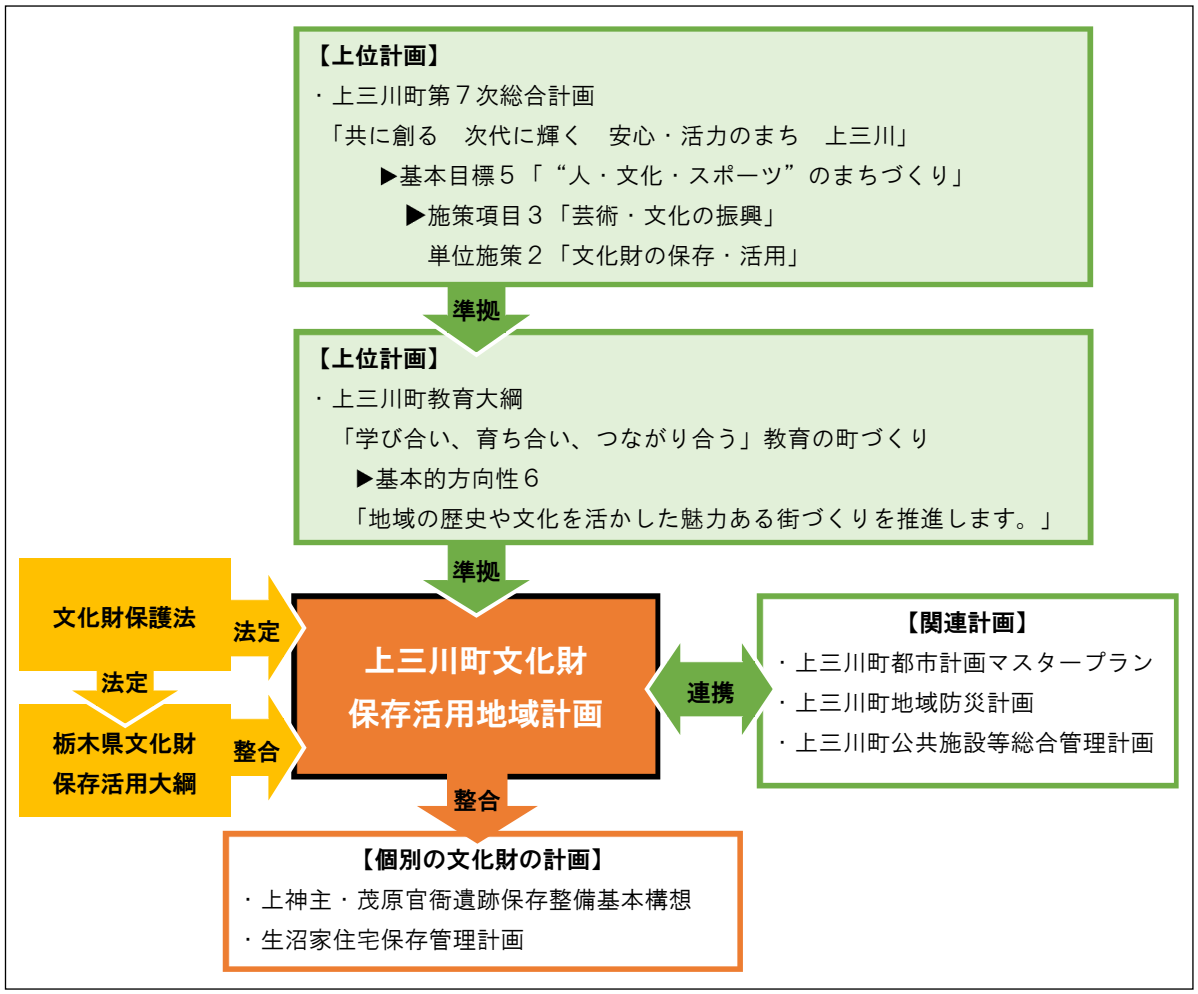
（１）地域計画の位置付け

本地域計画は、文化財保護法第 183 条の３第１項に基づいて作成する本町の文化財の保存・活用に関するマスタープラン及びアクションプランである。

本地域計画は、本町の最上位計画である総合計画に準拠し、関連する諸計画と連携しながら推進する。また、栃木県文化財保存活用大綱との整合を図り、庁内関係課の関連計画との連携を図りながら実施していく。

（２）上位・関連計画の概要

上三川町第７次総合計画では、町の将来像を「共に創る　次代に輝く　安心・活力のまち上三川」としており、施策項目「芸術・文化の振興」において「文化財の保存・活用」を掲げている。また、上三川町教育大綱をはじめとした各分野の計画においても、文化財の保存・活用に関する方針や取組みが示されていることから、本地域計画では、これら上位計画に準拠し、関連計画との連携を図る。



本地域計画の位置付け

上位・関連計画、個別の文化財の計画の一覧

名称	概要
上三川町第７次総合計画 平成 28（2016）年 3 月策定 基本構想：平成 28～令和 7（2016～25）年度 後期基本計画：令和 3～令和 7（2021～25）年度	町の最上位計画で、「共に創る　次代に輝く　安心・活力のまち　上三川」を町の将来像とし、八つの基本目標を掲げる。基本目標５において「“人・文化・スポーツ”のまちづくり」を目指す。
上三川町第８次総合計画 令和 7（2025）年度策定予定 基本構想：令和 8～令和 17（2026～35）年度	町の最上位計画。令和 7（2025）年度に策定。
上三川町教育大綱 令和 3（2021）年 3 月策定 計画期間：令和 3～令和 8（2021～26）年度	学校教育活動や社会教育･スポーツ等の生涯学習活動施策の円滑な推進のため策定及び改定され、実現のために八つの基本的方向性を示している。特に基本的方向性６において「地域の歴史や文化を活かした魅力ある町づくりを推進します。」と掲げている。
上三川町都市計画マスタープラン 平成 8（1996）年度策定 平成 29（2017）年 3 月改定 計画期間：平成 28～令和 17（2016～35）年度	総合計画の実現に向け、都市計画部門の事業や施策を進める上での基本となる考えや方針を定める。歴史・文化遺産などの活用、景観や文化などの保全と創出を基本方針の一つとして位置づけている。
上三川町地域防災計画 令和 5（2023）年 3 月修正	**【文化財災害予防対策】** 1　文化財等の所有者又は管理団体若しくは文化財施設の所有者に対し、防災に関する指導、助言を行う。 2　文化財の特性に応じた防火管理や収蔵庫、火災報知器、消火栓、避雷針等の防火施設・設備の整備充実を促進する。また、非常時に備えて収蔵品等個々の文化財の所在は所有者等に明確に把握させておくとともに、防火標識等の設置を促進し、所有者や見学者等の防火意識の高揚を図る。 3　「文化財防火デー」（1 月 26 日）を中心として防火訓練を実施するとともに、文化財についての防火思想の普及啓発を図る。 **【応急対策】** 1　災害発生の措置（通報） 文化財所有者（防火管理者を置くところは防火管理者）を通報責任者として、災害が発生した場合には直ちにその被害状況を町に通報する。 所有者、管理者が町の場合の通報責任者は、町教育委員会教育長とする。通報を受理したときは、県を通じて文化庁に報告し、被災の状況によって係官の派遣を求める。 2　災害状況の調査、復旧対策 被害の程度により係員を現地に派遣し、被害状況の詳細を調査し復旧計画等の準備、作成に協力するとともに、その結果を、県を通じて文化庁に報告する。
上三川町公共施設等総合管理計画 平成 29（2017）年 3 月策定 令和元（2019）年 7 月、令和 4（2022）年 3 月改定 平成 29～令和 28（2017～46）年度	健全な財政運営と、安全・安心で持続可能な公共施設等の管理を実現することを目的として策定し、公園や文化財作業所等の管理等方針を示している。

名称	概要
上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想 平成 18（2006）年 3 月策定	保存･活用のための調査及び整備事業を推進するための計画で、宇都宮市と共同で策定した。保存整備と活用の基本方針を示している。 保存整備：地下遺構の恒久的保存を第一義とし、表現手法等においても史跡本来が有する歴史的･文化的価値を損ねることのないよう配慮する。 活用：「地域交流拠点としての利用」と関連遺跡との「史跡活用ネットワークの構築」を目標とする。
生沼家住宅保存管理計画 令和 4（2022）年 3 月策定	基本方針：生沼家住宅の文化財としての本質的価値を確実に保存し、町の近代化遺産を後世へ継承する。 保護：基本方針の範囲内で、かつ外観を大幅変更しなければ改修工事等は可能だが、留意点を設けている。 活用：当時の建築様式を伝える文化財としての価値を損なうことのないよう活用する。

3 計画期間

（1）計画期間

本町の総合計画「上三川町第８次総合計画」における基本構想の期間が令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度までであることから、次期総合計画に本地域計画の内容を反映させるため、計画期間は令和 7（2025）年度から令和 17（2035）年度の 11 ヵ年とする。

なお、計画期間の令和 7（2025）年度から令和 12（2030）年度を前期、令和 13（2031）年度から令和 17（2035）年度を後期とする。

（2）計画の進捗管理と自己評価の方法

本地域計画の着実な実施のため、計画期間の中間年度（前期終了年度）に進捗確認や成果についての評価を行い、見直しを行う。終了年度である令和 17（2035）年度に計画の進捗について自己評価を行い、文化財保護審議会に報告する。また、同年度に地域計画の改定作業を行い、自己評価と審議会での指導・助言を踏まえて次期地域計画を作成する。

なお、計画の見直しを行い、「計画期間の変更」、「町域に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」が生じた場合は、文化庁長官による変更の認定を申請する。ただし、文化財の保存や地域計画の実施に影響のない上記三つ以外の軽微な変更については、県及び文化庁へ情報提供する。

本地域計画の計画期間

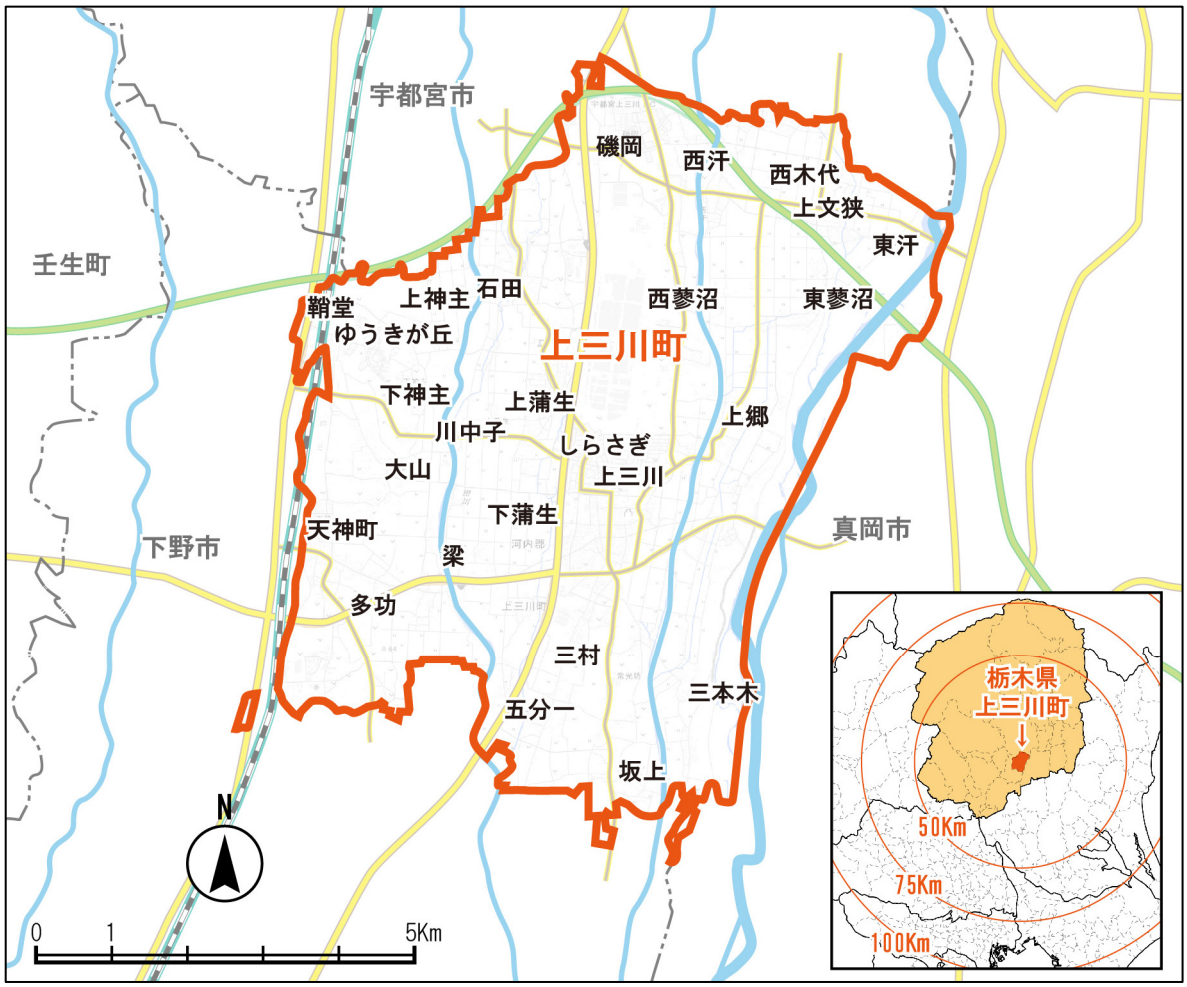
<table>
<tr><th>計画／年度</th><th>R7
2025</th><th>R8
2026</th><th>R9
2027</th><th>R10
2028</th><th>R11
2029</th><th>R12
2030</th><th>R13
2031</th><th>R14
2032</th><th>R15
2033</th><th>R16
2034</th><th>R17
2035</th></tr>
<tr><td>上三川総合計画</td><td>第７次</td><td colspan="10">上三川町第８次総合計画</td></tr>
<tr><td>文化財保存活用
地域計画</td><td colspan="6">前期
⇒見直し</td><td colspan="5">後期
⇒次期計画
の作成</td></tr>
</table>

第１章 上三川町の概要

１ 自然・地理的環境

（１）位置

上三川町は栃木県の東南部、東京から約 90km、宇都宮市中心から約 15km に位置し、町域は南北に 10.50km、東西に 8.25km で、面積は 54.39 ㎢である。河内(かわち)郡に属し、町の北部は宇都宮市、東部は真岡(もおか)市、西部と南部は下野市に接する。



上三川町の位置／国土地理院「淡色地図」を基に作成

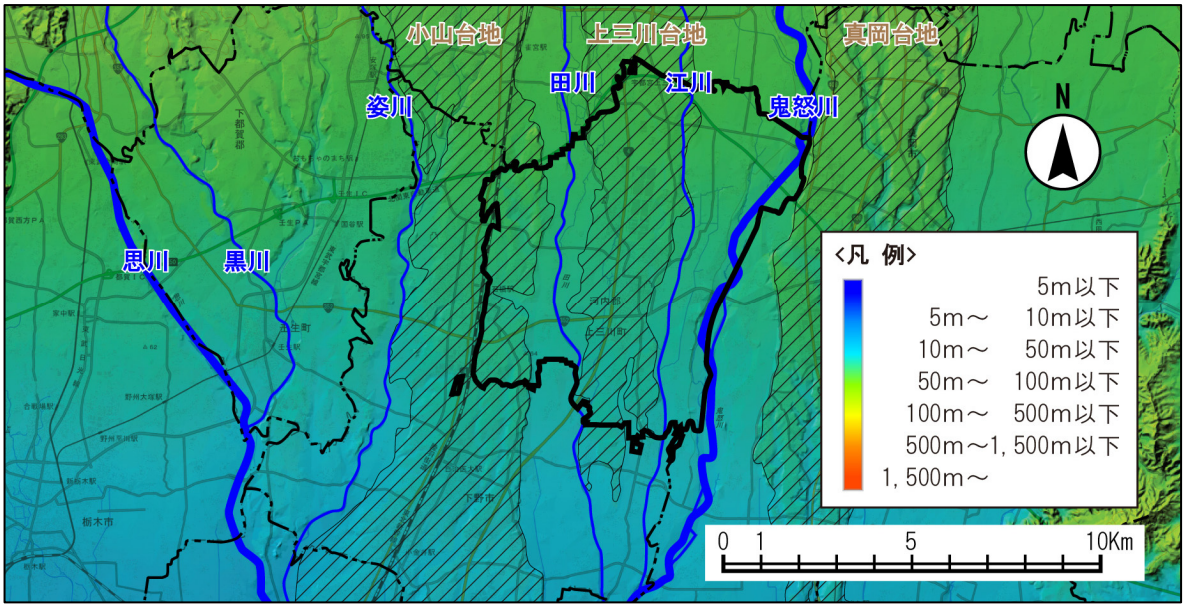
上三川町の町名・大字名一覧

	町名（よみかた）		
上三川地区	大字上蒲生（かみかもう）	大字坂上（さかうえ）	しらさぎ
	大字上三川（かみのかわ）	大字三本木（さんぼんぎ）	大字三村（みむら）
	大字五分一（ごぶいち）	大字下蒲生（しもかもう）	
本郷地区	大字磯岡（いそおか）	大字西木代（にしきのしろ）	大字東蓼沼（ひがしたてぬま）
	大字上郷（かみごう）	大字西蓼沼（にしたてぬま）	大字東汗（ひがしふざかし）
	大字上文挟（かみふばさみ）	大字西汗（にしふざかし）	
明治地区	大字石田（いした）	大字鞘堂（さやどう）	天神町（てんじんちょう）
	大字大山（おおやま）	大字下神主（しもこうぬし）	大字梁（やな）
	大字上神主（かみこうぬし）	大字多功（たこう）	大字ゆうきが丘（ゆうきがおか）
	大字川中子（かわなご）		

（２）地形

地形は概ね平坦で標高 60～80m、北西方向約 50 kmに 2,000m級の日光連山があるため、わずかに北に高く南に低くなっている。

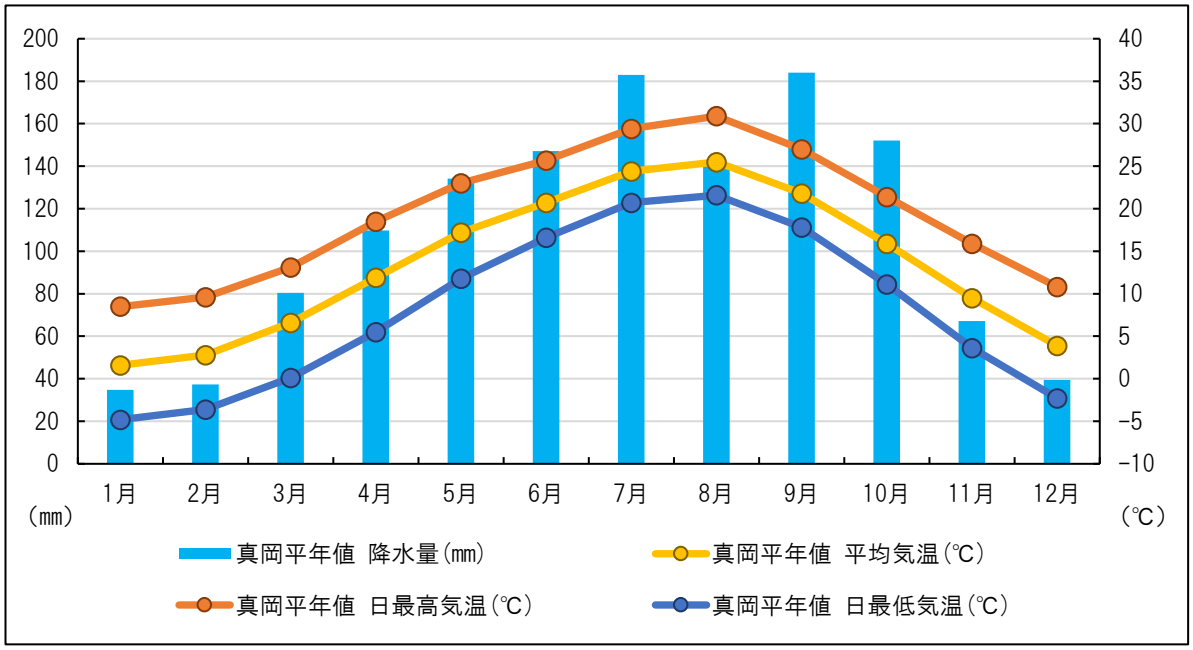
東は真岡市との境に鬼怒川（きぬがわ）、中央東寄りに江川、やや西よりに田川がそれぞれ南流しており、広々とした田園地帯を形成している。



上三川町の地形・水利／国土地理院「地理院地図 色別標高図」を基に作成

（３）気候

夏の高温、冬の強い季節風と乾燥を特徴とする太平洋側気候の中でも、季節風がやや弱く、空気の移動も鈍く、夜明け頃に低温になるという内陸性の特徴を持つ。県内では、比較的温暖で住みよい気候といえる。降水量は、夏に多く、冬に少ない。特に夏は気温の上昇で積乱雲が発達して雷が多く発生するため、雷雨は夏の風物詩となっている。



真岡の月別平均降水量・気温／気象庁「過去の気象データ」を基に作成

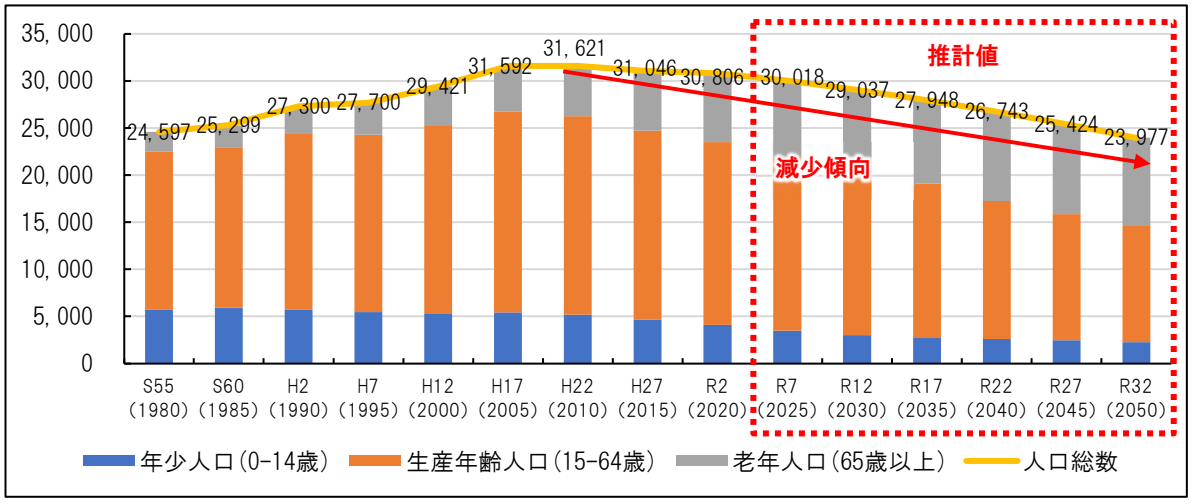
※真岡の 1991-2020 年の 30 年間の観測値の平均をもとに算出

２ 社会的状況

（１）人口

令和７（2025）年３月時点の人口は 30,672 人である。

大手自動車工場の操業、土地区画整理事業の実施による住宅地整備などを背景に、平成 20（2008）年まで増加傾向が続いたが、少子高齢化などの社会・経済情勢の変化に伴い、減少傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所の推定によると、令和 32(2050)年には 23,977 人まで減少するとされている。



上三川町の人口の推移

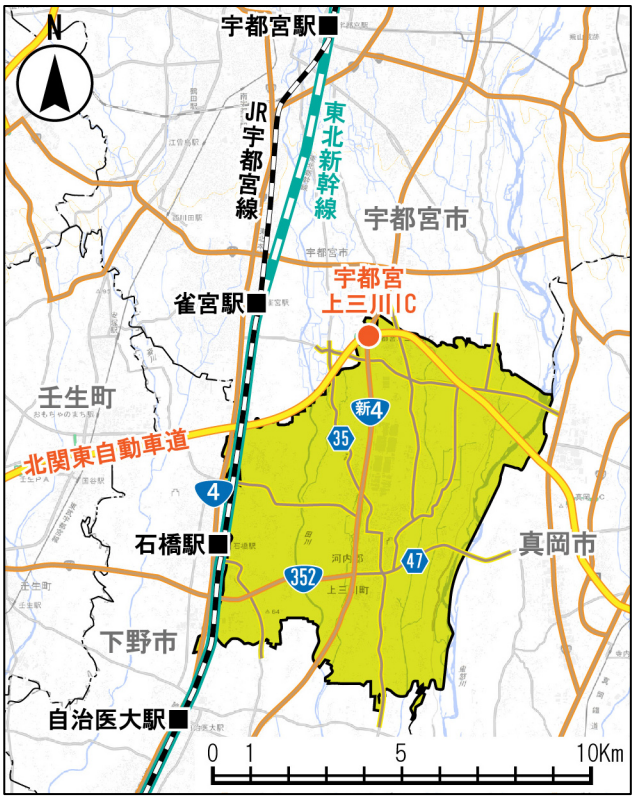
※令和２（2020）年までのデータは国勢調査結果「年齢３区分別人口」より引用

※令和７（2025）年以降のデータは国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（令和５（2023）年推計)』より引用

（２）交通

新４号国道と主要地方道宇都宮結城（ゆうき）線（県道 35 号）が南北方向に、国道 352 号と主要地方道真岡上三川線（県道 47 号）が東西方向に走っており、道路網の骨格をなしている。町北部には、栃木・群馬・茨城県の北関東３県を東西に結び、東北自動車道などを経由し、首都圏を始め全国にアクセスが可能な北関東自動車道が横断している。宇都宮市との行政境に、新４号国道と接続する宇都宮上三川 IC が位置する。

町内に旅客を扱う鉄道駅は無いが、町の西端に JR 宇都宮線石橋（いしばし）駅（下野市）があり、通勤・通学客など、多くの町民の交通手段として利用されている。また、多功に JR 貨物宇都宮貨物ターミナル駅がある。



上三川町の交通／国土地理院「淡色地図」を基に作成

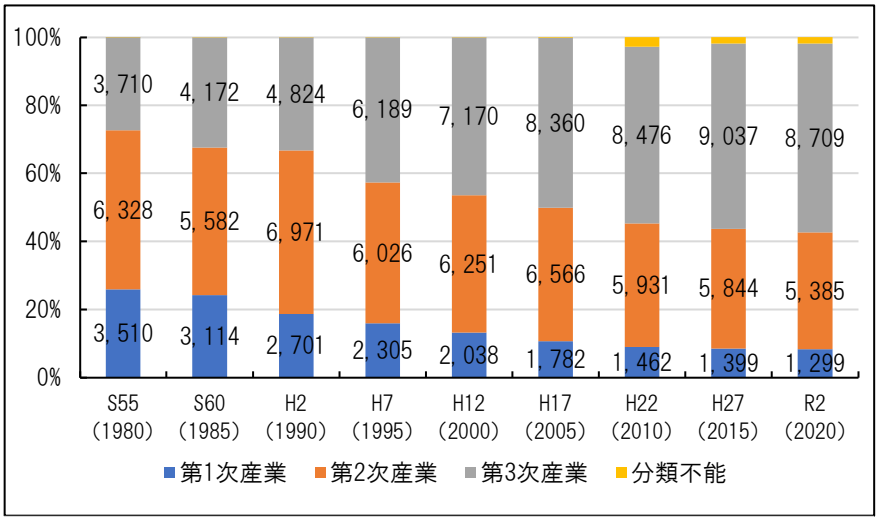
路線バスは、関東自動車株式会社が 4 路線（石橋～真岡線、上三川車庫前～駒生（こまにゅう）営業所、本郷台西汗～駒生営業所、東汗～駒生営業所）を運行している。この他、予約により利用者の自宅から目的地まで送り届けるデマンド交通「かみたん号」がある。

下野市・上三川町・壬生町の 1 市 2 町では、公共交通の利用促進の取組みを行っており、各市町のデマンド交通を各市町の住民でなくても使えるようになっている（1 市 2 町の住民でなくても利用可能）。また、JR 宇都宮線石橋駅から東武鉄道宇都宮線おもちゃのまち駅（壬生町）を経て、獨協（どっきょう）医大病院前（壬生町）を結ぶゆうがおバス（JR 石橋駅～獨協線）を関東自動車株式会社が運行しており、「かみたん号」との乗換え案内も行われている。

（3）産業

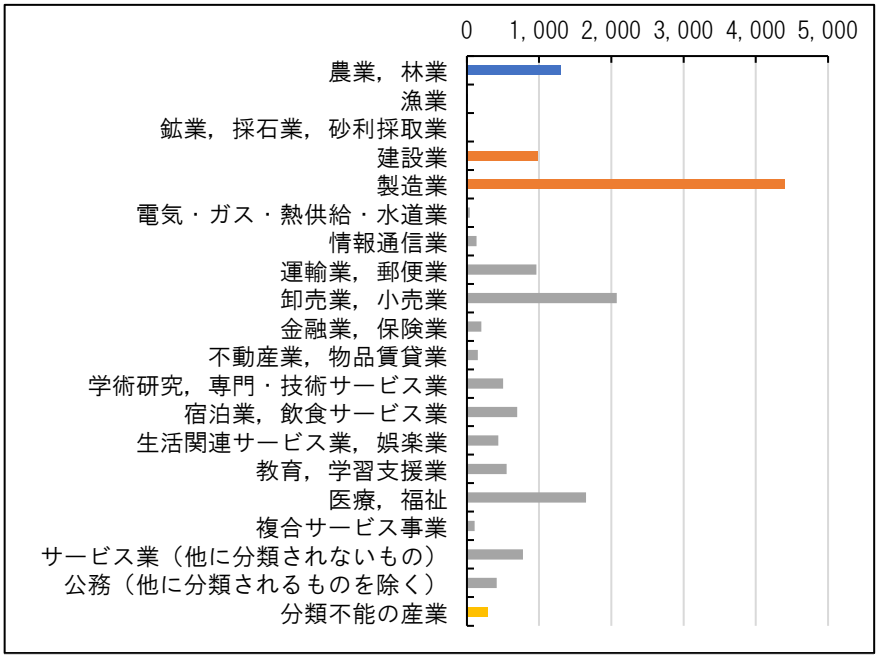
昭和 40 年代の大手自動車工場の誘致により、現在も第２次産業、特に大規模な自動車工場に関連する製造業の比重が高く、地域経済や町行政に大きな影響を及ぼしている。

産業別就業人口の推移をみると、第１次・第２次産業の就業人口が減少している一方で、第３次産業の就業者数が著しく増加している。近・現代に整備された鉄道と国道に加え、広域の玄関口にアクセスする北関東自動車道の開通により、物流に関連する産業（運輸業、郵便業／卸売業、小売業）の振興が進んでいる。



上三川町の産業別就業人口の推移/国勢調査

第１次産業では、恵まれた立地条件を活かした収益性の高い都市近郊型農業が行われているが、農業従事者の高齢化や担い手不足が課題となっている。



令和 2（2020）年の産業（大分類）別就業者数/国勢調査

① 農業

豊かな水系を活用した稲作が行われ、冬の間も水田に水をためておく農法「ふゆみずたんぼ」が行われている五分一は、とちぎのふるさと田園風景百選に選定されている。首都圏に位置する地理的優位性を活かした施設園芸（グリーンアスパラガスやイチゴ、にら、トマトなど）が盛んであり、多様な野菜を生産している。名産の一つである干瓢（かんぴょう）は、県内有数の生産量を誇り、干瓢の原料となるゆうがおを町の花に選定している。

ゆうがおは、暑さに弱く、旺盛な成育に多量の水分を必要とする。生産期の 7～8 月の降水量が多く、雨によって地表が冷やされる気候・風土がゆうがおに適していることが干瓢生産の後押しとなっている。

農産物直売所

② 工業

町を挙げて工場誘致を進め、昭和 43（1968）年の大手自動車工場の進出を始めとし、通信や AV 機器、アルミ製品を生産する企業など､約 60 社が町内で操業している。「テクノパークかみのかわ」は、東京都心から約 80 km、北関東自動車道の宇都宮上三川 IC まで約 9 kmという利便性の良い立地の工業団地である。群馬・栃木・茨城県の主要都市と国際港である常陸那珂港（ひたちなかこう）を結ぶ広域ネットワークの拠点となっている。

テクノパークかみのかわ

③ 商業

上三川通りを軸とした中心市街地や、宇都宮上三川 IC 付近に開発された「インターパーク宇都宮南」が商業地として機能している。インターパーク宇都宮南は、平成 15（2003）年に大規模ショッピングモールがオープンし、幹線道路沿いに大型商業施設が並ぶ、北関東最大級の商業地となっている。

インターパーク宇都宮南

（４）土地利用

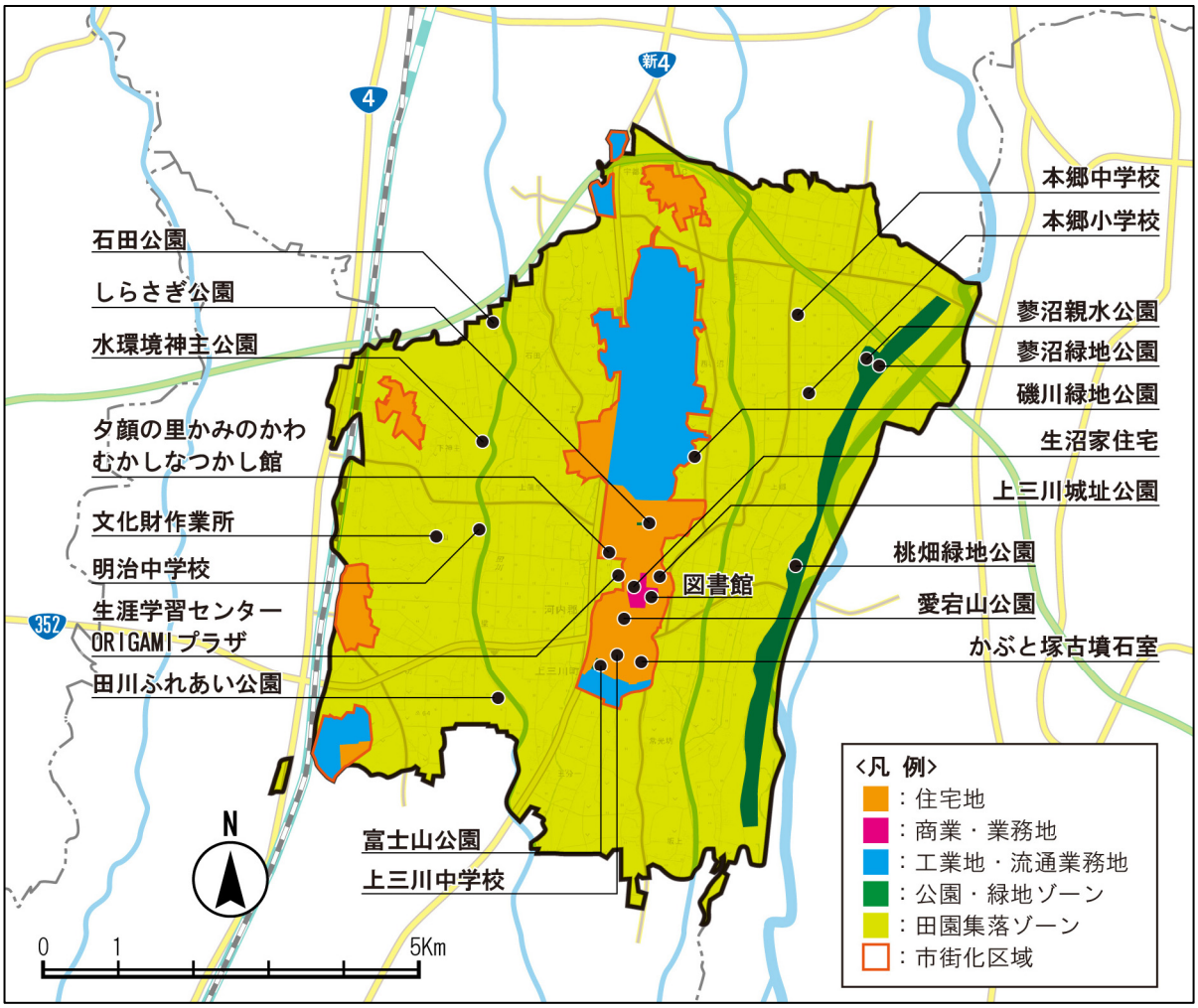
町域の 50%以上を水田等の農地が占めており、河川と農地が織りなす田園風景が広がっている。都市計画法に基づく市街化区域は、町域の約 14.1%の 768ha が指定されており、大部分が宅地化されている。農業振興地域は 4,622ha で、うち農用地は 57.1%、次いで住宅地は 10.8%となっている。

工業用地は、大規模な自動車工場が 1 か所、工業団地が 5 か所あり、分譲区画は全て契約済みとなっている。

商業・サービス業の集積を図り、地域経済を振興するため、中心市街地の商店街 8.7ha が近隣商業地域、新４号国道沿線 4.5ha が準住居地域に指定されているが、中心市街地における商店街の空洞化が顕著となっている。

高密度な土地利用がなされている都市地域であるが、社寺林、都市公園、街路樹などの緑地が残されており、天然記念物に指定されている巨木・古木も多い。これらの都市の緑は、近隣住民が自然とふれあえる身近な場所として、貴重なものとなっている。

蓼沼親水公園



土地利用図／国土地理院「淡色地図」、宇都宮都市計画「土地利用構想図」を基に作成

（５）文化財関連施設

町内には、城址や古墳などを活用している公園や、文化財を収蔵・展示している施設がある。その他、文化財を保存・活用する町民や関連団体の拠点となる施設がある。

文化財に関連する主な施設

施設名称	概要
生涯学習センター（ORIGAMI プラザ内）	町民の生涯学習、地域活動の拠点として、多種多様な学習機会・情報の提供、自発的な学習活動及び地域や団体活動の援助・協力を行う。
文化財作業所	出土品の整理作業などを行う他、遺跡からの出土品や民俗資料などを収蔵している。
町内小中学校	明治中学校、上三川中学校、本郷中学校、本郷小学校等で、学校建設時の出土資料や教育利用している民具などを保管している。
生沼家住宅	令和元（2019）年度に所有者より寄付を受けた大正期の商家建築。約 3,000 ㎡の敷地には、国登録有形文化財である店舗及び主屋・土蔵の他、昭和 30 年代に東京から移築された茶室、大谷石作りの石蔵がある。常時公開は行っていないが、特別公開や茶会などのイベントを実施している。
図書館	図書館法に基づいた町民の文化、教養、調査研究及びレクリエーションなどに資するための施設で、指定管理により管理運営されている。
上三川城址公園	上三川城跡を利用した公園。東西 90m、南北 100m ほどの方型の土塁上に遊歩道が整備され、町民の憩いの場となっている。花の名所でもあり、コブシに始まり、数種類のサクラが咲き、ツツジの季節には朱色と新緑があざやかなコントラストをつくる。
夕顔の里かみのかわむかしなつかし館	１階・２階の多目的ルームは、主に貸しスペースとして使用。商工会青年部が主催し幼児たちの作品展や写真展を定期開催している。館内の上三川町観光協会事務局では町内の観光案内を行っている。
愛宕山公園	公園隣接地に愛宕塚古墳石室（町指定史跡）が移設展示されており、常時見学できるようになっている。
かぶと塚古墳石室	かぶと塚古墳石室（町指定史跡）が常時見学できるようになっている。

生沼家住宅

図書館

上三川城址公園

愛宕塚古墳石室

3 歴史的背景

（1）原始

① 旧石器～弥生時代

河川や浸食谷に面した台地縁辺部で、20,000～30,000 年前の後期旧石器時代の石器が発見され、古くから人々が生活していた。

10,000 年前の縄文時代から、集落が作られ始める。縄文時代草創期の隆起線文土器や爪形文土器が町内で発見された最古の縄文土器である。町中心部の台地上にある島田遺跡では、縄文時代中期の大規模な集落跡が発見され、北関東に共通の土器や石斧、竪穴建物跡が確認された。縄文時代後期の遺跡は少なく、晩期には自然環境が変化し、遺跡数はごく少ない。

島田遺跡出土土器

弥生時代に本格的な稲作農耕が始まる。仏沼遺跡では弥生時代中期の甕形土器や壺形土器、底部に籾痕がつく土器などが出土している。この地域で農耕を始めた初期の遺跡である。

② 古墳時代

古墳時代には本町東側を流れる鬼怒川、町の西部を流れる田川、西方を流れる姿川と思川に臨む台地上に多くの古墳が築造された。

東国の古墳出現期の 4 世紀前半には、茂原古墳群（宇都宮市）や三王山南塚 1 号墳及び 2 号墳（下野市）などの前方後方墳が築造された。町域で出現期の古墳は確認していないが、当地域が古墳時代前期の中心地域であったことが読み取れる。

浅間神社古墳

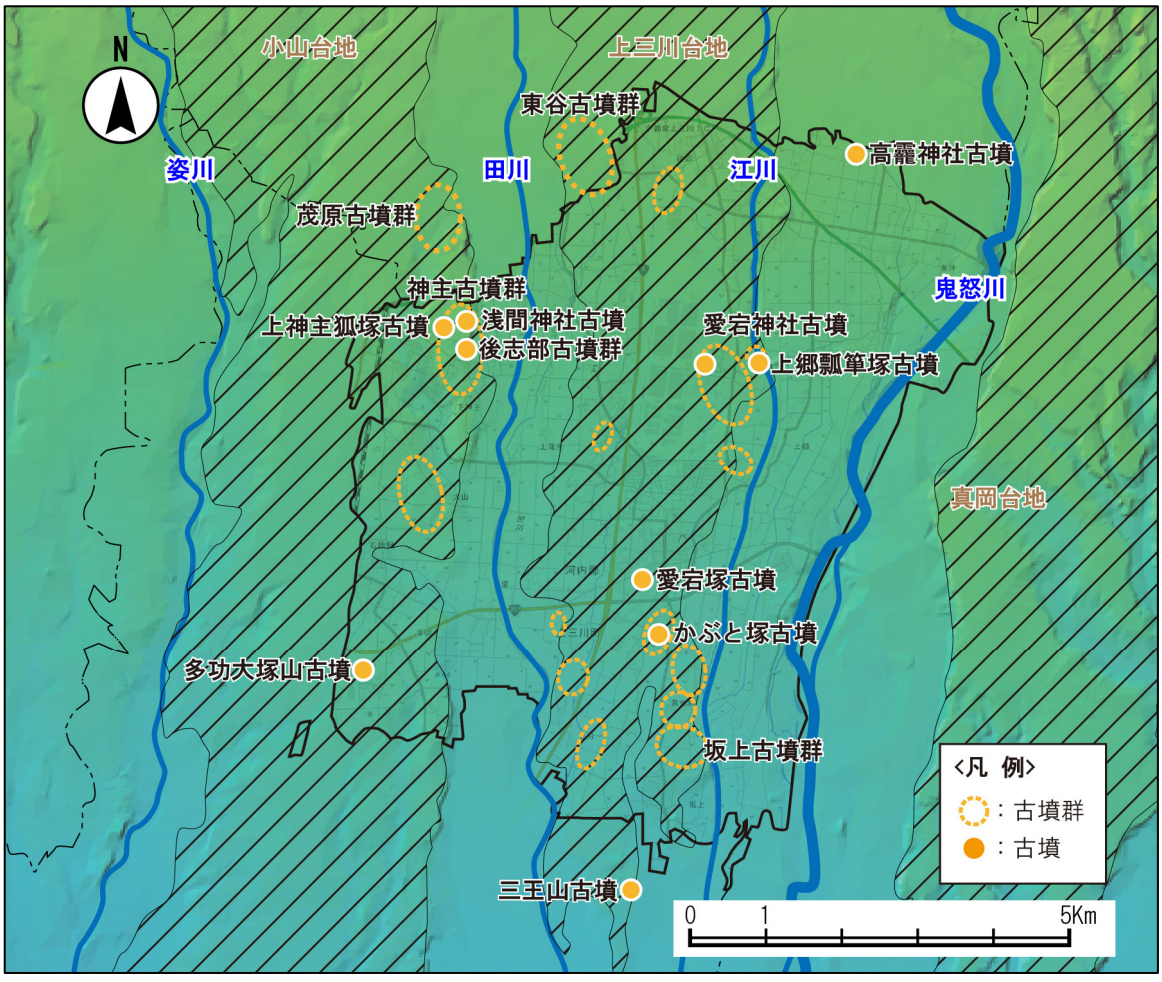
町域でさかんに古墳が作られるようになったのは古墳時代中期である。5 世紀に小山台地（神主台地）の東縁部に直径約 54mの円墳である浅間神社古墳が築造され、古墳時代中・後期を通じて神主古墳群が形成された。5 世紀末から 6 世紀前半には、姿川と思川に挟まれた地域に首長墓の造営が移り、6 世紀半ば以降、広域を掌握したと考えられる首長墓は見られなくなった。小地域での古墳の築造が開始され、鬼怒川、田川、姿川、思川流域において古墳の数は増大し、町域でも数多くの古墳が築造された。

古墳時代後期、栃木県南部（下野市・栃木市・小山市・上三川町・壬生町）に当地域独自に発展した下野型古墳と呼ばれる古墳が築造され、町域でも 6 世紀後半に、かぶと塚古墳（町指定史跡）や愛宕（あたご）塚古墳（町指定史跡）が築造された。田川、姿川、思川流域の小地域ごとに共通の特徴を持つ大型古墳が同時期に築造されていることから、各地の首長同士のつながりがあったことを示している。

こうした流れの中で、古墳時代の終末期、7 世紀半ばから後半にかけて県内最大規模の方墳である多功大塚山古墳（町指定史跡）が造営された。多功大塚山古墳周辺に飛鳥時代の官衙や寺院（下野薬師寺、西下谷田遺跡、上神主・茂原官衙遺跡、多功遺跡など）が成立することから、有力者の墓であると考えられる。

かぶと塚古墳出土資料

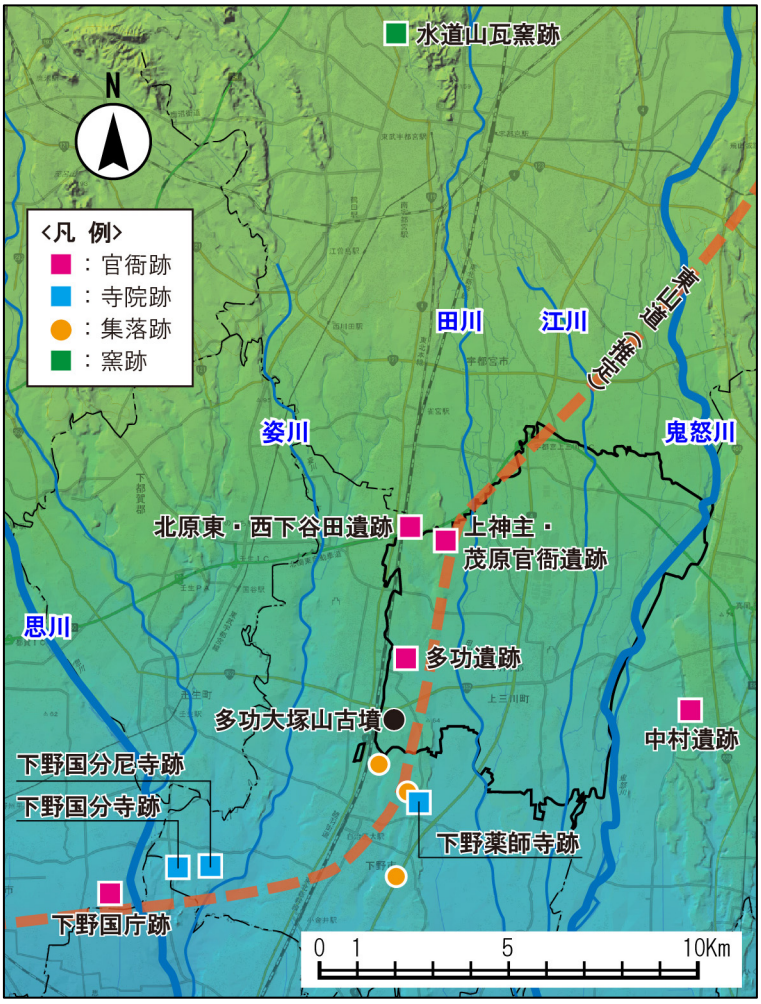
多功大塚山古墳（町指定史跡）前庭部



原始・古墳時代の主な遺跡の位置／国土地理院「地理院地図 色別標高図」を基に作成

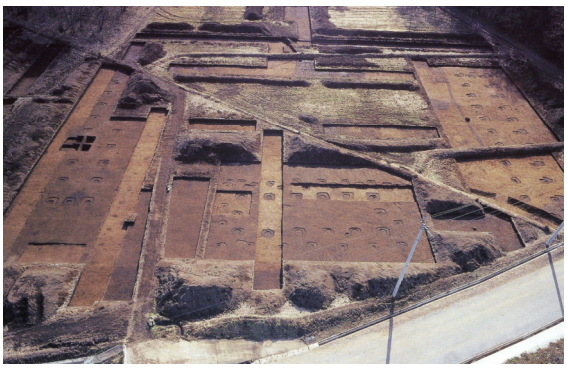
（2）古代

飛鳥時代に中央政府のもと全国に七道が整備され、町域にはその一つである東山道が敷設された。東山道沿道には、官衙や官寺などの国の施設が設置された。町域は下野国河内郡に属し、この地では 8 世紀前半の下野国庁（栃木市、国指定史跡）の設置に先立ち、下野薬師寺（下野市、国指定史跡）が建立された。また、7 世紀後半には、河内郡衙と推定される上神主・茂原官衙遺跡（国指定史跡）が小山台地（神主台地）に設置された。8 世紀前半には上神主・茂原官衙遺跡の政庁、正倉ともに施設が拡大、充実していくが、8 世紀後半になると政庁機能が多功遺跡に移転した。741 年の聖武天皇による国分寺建立の詔を受けて、8 世紀中葉には下野国分寺・国分尼寺（下野市、国指定史跡）の造営が開始された。



律令期の官衙や寺院の位置
／国土地理院「地理院地図 色別標高図」を基に作成

7 世紀後半から 9 世紀後半にかけて町域とその周辺は官衙や官寺が集中し、河内郡の中心地であり下野国の重要地域であった。これらの官衙や寺院は、水道山瓦窯跡（宇都宮市）で生産、供給された下野薬師寺系の瓦が使用されていた。下野薬師寺系の瓦は、隣接する常陸国（ひたちのくに）の新治廃寺（にいはり）跡（茨城県筑西市、国指定史跡）や下総国（しもうさのくに）の結城廃寺跡（結城市、国指定史跡）からも数多く出土しており、寺院や官衙の造営に係る技術が国を超えて伝わっていたことが分かる。平安時代中期に編纂された辞書『和名類聚抄（わみょうるいじゅしょう）』には、河内郡に「三川」という郷があると書かれており、これが現在の地名に引き継がれている。多功南原遺跡からは「三川」の墨書土器も出土している。



上神主・茂原官衙遺跡（国指定史跡）政庁全景

「三川」の墨書土器

（３）中世

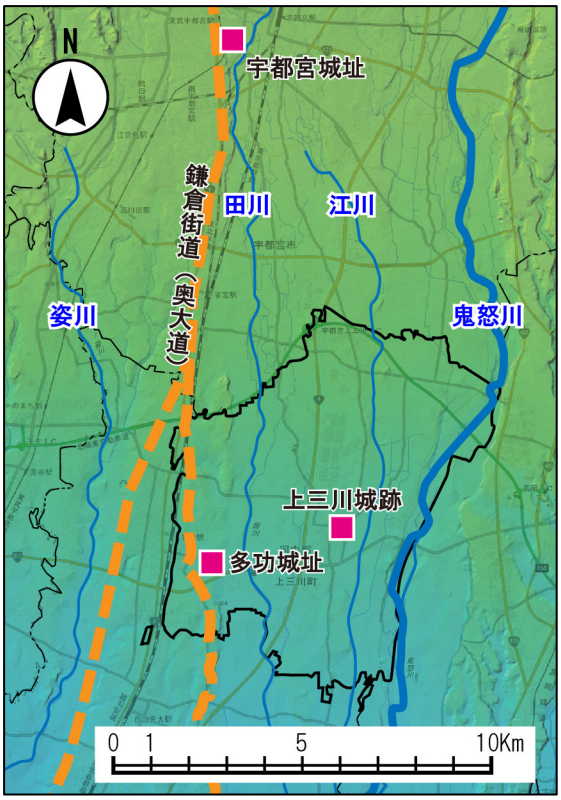
鎌倉時代の町域は、宇都宮氏の勢力下であった。宇都宮氏の本拠宇都宮城の南方の防衛の要となる上三川城や多功城（多功城址、町指定史跡）が築かれた。

上三川城は、宇都宮頼綱の次男横田頼業によって建長元（1249）年に築城された。7 代城主の横田師綱は、康暦 2（1380）年の小山義政と宇都宮基綱が交える裳原（もばら）の戦いに宇都宮方として奮戦したが、重傷を負い、手兵多数も討ち死にした。潰滅状態となった陣営立て直しのために今泉元朝に城主代行として権限を委譲したことを機に今泉氏が勢力を拡大し、城主となった。

多功城址（町指定史跡）

多功城は、宇都宮頼綱の四男の多功宗朝によって宝治 2（1248）年に築城された。鎌倉時代になると古代の東山道に代わって鎌倉街道（奥大道）が整備された。多功城はこの街道の拠点に位置し、戦国時代には宇都宮城の防衛拠点として上杉氏や北条氏の侵攻を撃退した。

天正 18（1589）年の豊臣秀吉の小田原攻めの際、下野国の勢力は豊臣方と北条方で大きく二分されたが、宇都宮氏は早くから豊臣側とよしみを通じており、北条氏滅亡後も所領を安堵された。天正 20（1592）年から文禄 2（1593）年にかけての朝鮮出兵（文禄の役）には宇都宮宗家とともに、上三川城主の今泉高光も数百人を引き連れ朝鮮半島に渡った。今泉高光は、慶長 2（1597）年に宇都宮氏の継嗣問題で対立した宇都宮国綱の弟、芳賀高武の攻撃を受け、上三川城は落城し、従者らと共に自害した。この後、宇都宮氏は改易となり、多功城も廃城になった。



中世の街道と城館の位置
／国土地理院「地理院地図 色別標高図」を基に作成

（４）近世

関ヶ原合戦で徳川家康が豊臣方に勝利した後、町域の北部は宇都宮藩領に、南東部の上三川城付領は烏山領主成田氏の飛地となった。宇都宮藩は宇都宮氏改易後、蒲生秀行の領地となったが、ほどなく蒲生氏は会津へ転封となり、徳川譜代の奥平氏の領地となった。下野国内では文禄 2（1593）年に太閤検地が行われていたが、元和 6（1620）年には成田氏により上三川城付領 1 万石の検地が行われた。その後、成田氏が改易され、寛永の地方直しにより上三川城付領は 21 名の旗本に分給された。宇都宮藩領の一部も幕府領、旗本領など領主がしばしば交替した。

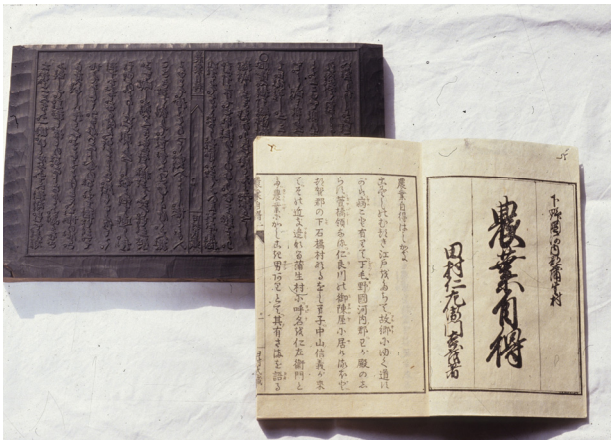
徳川家康の廟所が久能山から日光東照宮に移され、将軍の日光参詣が恒例化されたことにより日光道中（日光街道）が整備され、その脇街道として、多功宿を通る関宿通り多功道（日光東往還）が作られた。

江戸時代中期になると、農具の発達、肥料や堆肥などの導入により各地で農業生産が増大した。町域でも寛文 13（1673）年の下蒲生村の田村家の記録に干鰯の導入を裏付ける記録がある。生産力の増大により人口も増加し、享保 6（1721）年の下野国の人口は約 56 万人であったことが記録されている。寛保 2（1742）年には西蓼沼村の内野で磯川西原地の新田開発が行われ、翌年全村民に分割された。寛保元（1741）年には大山村領主、小出靭負の領民 11 名が、江戸赤坂御門の小出屋敷にて検見の不公正を訴え出るという事件が起きた。また、農業生産の発展に伴い、年貢や田畑への水の供給を廻る争いも起き、明和 8（1771）年には上蒲生村と石田村との間に用水に関わる騒動が勃発した。

近世の街道と村の位置
／国土地理院「地理院地図 色別標高図」を基に作成

干鰯などの新たな肥料の導入は農業生産向上に寄与する一方、これらの代金を払って購入する金肥（干鰯、油糟、糠など）が一般化して貨幣経済が浸透したことで借金が嵩み、田畑を手放したり、耕作を放棄して逃散したりする潰れ百姓が出るようになった。生活のために村を出て他所で奉公する出奉公も多くなり、次第に人口が減少して耕作されずに荒地となる土地が増加した。農村の荒廃が進む中で、天明 3（1783）年に浅間山が噴火して不作となったことで、下野国南部一帯で打ちこわしが頻発した。さらに、日光道中に近接するという土地柄、通行量の増加に伴う助郷役負担が加重され、天保 5（1834）年の下野国の人口は約 34 万人となり、江戸時代を通じて最低を記録した。

そうした中でも、農民により農業生産を高める努力は続けられた。天保 12（1841）年に、下蒲生村の田村仁左衛門吉茂により書かれた「農業自得」（原本と版木は町指定有形文化財）には、今日にも影響を与える農業技術が記されている。また、幕末には寺子屋や私塾が上三川村や多功宿などで相次いで開かれており、苦しい生活の中でも村人達が教育に熱心に取り組んでいた。



「農業自得」原本と版木（町指定有形文化財）

（５）近・現代

明治維新後、町域は日光県に編入され、石橋に一時県庁が設置された。明治 4（1871）年の廃藩置県によって県の統合が行われ、旧下野国には栃木県と宇都宮県が置かれた。町域は宇都宮県に編入されたが、明治 6（1873）年には宇都宮県と栃木県が合併し、栃木県となった。

明治政府の近代化政策によって教育、軍事、治安、交通、通信など、近代化に必要な新制度が次々と整備され、これに伴う諸施設の設置が全国的に進められた。町域でも明治 6～8（1873～1875）年に上三川村、梁村、下神主村、上郷村、東汗村、石田村、多功宿、東蓼沼村、坂上村に尋常小学校の前身となる学舎が設置された。明治 8（1875）年に上三川郵便局が開局し、明治 17(1884)年に上三川村に宇都宮警察署の分署が開設された。明治 32(1899)年には河内郡唯一の銀行として上三川銀行が開業した。

交通網の整備も進められた。明治初期は江戸時代以来の河川交通が重要な役割を果たし、鬼怒川流域では次々と河岸が新設された。町域には東蓼沼河岸と三本木河岸が江戸時代から存在し、当地域の水運を担ったが、明治 18（1885）年に日本鉄道会社の大宮～宇都宮間の鉄道敷設が完成して石橋駅が開業すると急速に衰退した。

昭和 20 年代の鬼怒川渡し

大正時代になると自動車の普及が進み、乗合自動車の営業所が各地に開設された。町域でも大正 8（1919）年に石橋駅前に石橋自動車商会が創設され、石橋と宇都宮・上三川・壬生・薬師寺、渡船を経由して真岡間で乗合自動車が運行されるようになった。

昭和前半の石橋駅

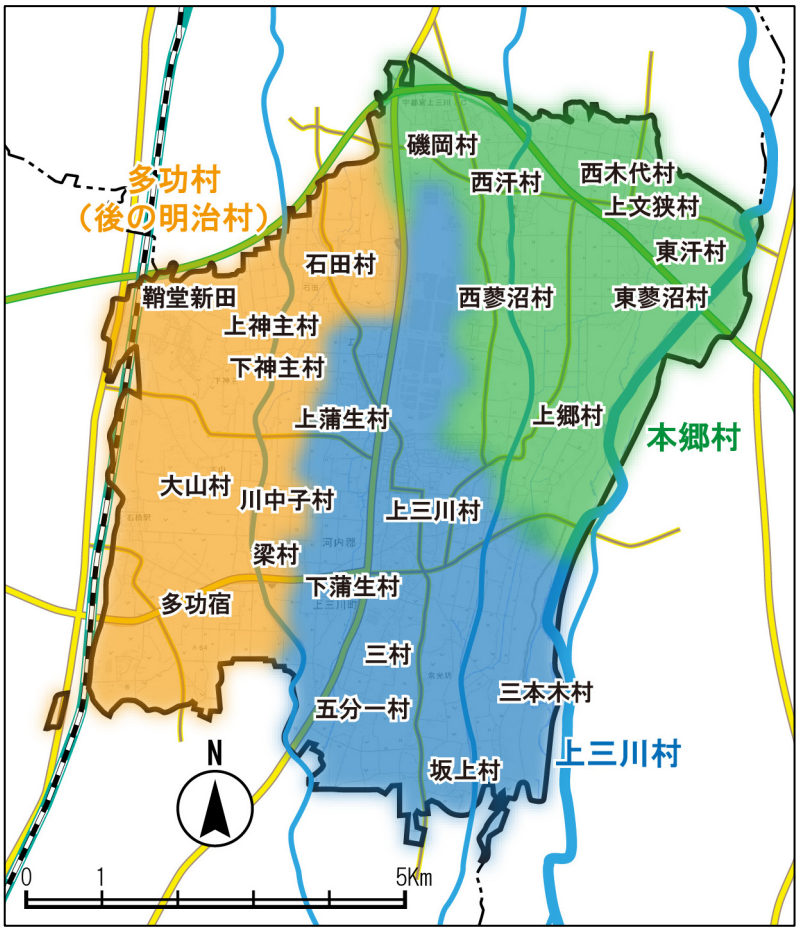
交通と並んで通信も近代化が進められた。明治 45（1912）年に上三川郵便局で電報事業が開始され、大正 9（1920）年には電話が架設され通話業務が始まった。電報事業の開始にあたっては、電信設備整備のための寄付が有力者から集められた。

鬼怒川の改修工事も進められた。明治 35（1902）年の大洪水で大きな被害を出すなど、氾濫を繰り返していた鬼怒川の本格的な改修は、昭和 2（1927）年に着手された。

農業は、近世以来、主に米、麦、豆などが生産されていたが、栃木県の名産品である干瓢の生産量が増大した。正徳 2（1712）年に鳥居忠英が近江水口（おうみみなくち）城から壬生城（壬生町）に移封され際に、ゆうがおの種を取り寄せたことが、栃木県における干瓢生産のはじまりと言われているが、本町で栽培が盛んになったのは明治以後である。栃木県の干瓢の生産は、昭和 53（1978）年をピークに減少傾向にあるが、今も全国生産量の９割以上を占め、本町も栃木県有数の干瓢の生産地となっている。

明治 22（1889）年に町村制が施行され、全国で町村合併が行われた。上三川村、本郷村、多功村（後に明治村と改称）が誕生し、上三川村は明治 26（1893）年に町制を施行して上三川町になった。昭和 30（1955）年の町村合併促進法により、上三川町、本郷村、明治村が合併し、現在の町域を有する新上三川町が誕生した。

高度経済成長を背景に、工場誘致を積極的に進め、昭和 40 年代には大手自動車工場を誘致した。当時、県内随一の規模を誇る上三川工業団地が誕生し、農業を中心とした町から田園工業都市の町へと変貌した。



明治時代の町村合併／国土地理院「淡色地図」を基に作成

※旧町村名は明治 23（1890）年のもの

江戸時代の五街道の一つ、日光道中を踏襲する道筋で計画された国道４号は、昭和 30 年代後半から産業経済の発展、人口の集中などから交通量が著しく増加していたが、石橋・宇都宮の市街地を通っており、拡幅が困難であった。そのため、新４号国道が計画され、昭和 49（1974）年に一部開通した。また、昭和 46（1971）年に宇都宮貨物ターミナル駅が開業し、こうした交通網の発展も工業発展への後押しとなった。

農業においても、洪水を防ぐための河川改良や土地改良が進み、野菜の集荷所などの大型施設が整備されたことによって、首都圏の食糧基地としての重要な役割を担っている。

昭和 30（1955）年の合併記念式典

新４号国道

第２章 上三川町の文化財の概要

１ 文化財の把握状況

（１）指定等文化財

文化財保護法、栃木県文化財保護条例、上三川町文化財保護条例に基づく指定等文化財は、国指定文化財が 2 件、県指定文化財が 3 件、町指定文化財が 47 件、国登録文化財が 2 件、計 54 件ある。選定されている文化財の保存技術はない。

国指定文化財となっている上神主・茂原官衙遺跡は下野国河内郡衙と推定され、当時の河内郡を考えるうえで重要な史跡である。また、出土した刻書瓦は、国の重要文化財に指定されている。この他、町指定文化財の多くは古墳・古墳群であり、古墳時代から古代にかけての重要な遺跡や遺物が数多く遺っていることが特徴である。

栃木県上神主・茂原官衙遺跡出土刻書瓦
（国指定重要文化財）

指定等文化財の件数　　令和 7（2025）年 3 月現在

類型・種別			国指定/選定/選択	県指定/選定/選択	町指定	国登録	合計
①有形文化財	建造物		0	0	5	2	7
	美術工芸品	絵画	0	0	1	0	1
		彫刻	0	2	6	0	8
		工芸品	0	0	2	0	2
		書跡・典籍	0	0	0	0	0
		古文書	0	0	2	0	2
		考古資料	1	0	2	0	3
		歴史資料	0	0	2	0	2
②無形文化財			0	0	0	0	0
③民俗文化財	有形の民俗文化財		0	0	2	0	2
	無形の民俗文化財		0	0	5	0	5
④記念物	遺跡		1	0	14	0	15
	名勝地		0	0	0	0	0
	動物、植物、地質鉱物		0	1	6	0	7
⑤文化的景観			0	—	—	—	0
⑥伝統的建造物群			0	0	—	—	0
合計			2	3	47	2	54

（２）未指定文化財

令和 7（2025）年 3 月現在、未指定文化財は 1,897 件把握している。文化財の所在や分布状況、現況を把握するための調査を栃木県が実施している他、上三川町が行った把握調査や町史編さんに伴う調査により、指定等はされていないが、存在を把握している未指定文化財がある。

文化財の類型ごとの把握調査の報告書及び台帳、個別の文化財の調査報告書の一覧は、巻末資料に掲載するが、把握調査の概要を以下に示す。

① 有形文化財

建造物は、栃木県が実施した近世社寺建築緊急調査、栃木県民家緊急調査、近代化遺産（建造物等）総合調査、栃木県近代和風建築総合調査により、近世から近代の社寺建造物や民家などを把握している。

美術工芸品は、昭和 56（1981）年刊行の『上三川町史』編さんに伴い、遺跡からの出土物や町内所在文書、金石文、絵図や絵馬などの古資料の収集を行っており、一覧表を作成している。また、社寺等が所蔵する仏像・神像などの彫刻、鰐口（わにぐち）などの工芸品、板碑などの考古資料の分布調査も行っている。これまでの発掘調査で出土した遺物などの考古資料は、整理し、台帳で管理している。

② 無形文化財

栃木県が諸職関係民俗文化財調査を実施しているが、調査によって把握された町内の伝統的技術保持者は、現存しない。

③ 民俗文化財

有形の民俗文化財は、『上三川町史』編さんに伴って行われた金石文の調査により野仏（碑塔類や石造物を含む）を把握している。地区ごとの祭に使用される神輿についてもアンケート調査を行っている。民具などの民俗資料も、町で収集・整理して、台帳で管理している。

無形の民俗文化財は、栃木県が実施した栃木県民謡緊急調査、栃木県祭り・行事調査により、民謡や祭り・年中行事を把握している。水車習俗に関する把握調査も行われているが、調査対象は現存しない。また、上三川町文化財研究会により、町に伝わる伝説と民話が収集されている。

④ 記念物

平成 30～令和 2（2018～2020）年度に、遺跡の詳細分布調査を実施しており、より正確な遺跡範囲を把握している。また、栃木県が実施した歴史の道調査により、町域を通る日光道中や、関宿通り多功道を把握している。神社等についても把握している。

名勝地に該当する文化財は町内に無いため、把握調査は行っていない。

希少な動植物、地質鉱物は、栃木県版レッドリストにより把握しているが、町内における分布状況までは把握できていない。ただし、名木古木は、町で調査して把握している。

⑤ 文化的景観

把握調査は行っていないが、文化的景観に該当するものとして干瓢生産に係る田園風景がある。

⑥ 伝統的建造物群

伝統的建造物群の把握調査は行っていない。

⑦ その他

地名調査を行っており、城や宿駅があった頃の町割を伝える要素として把握している。

⑧ 文化財の保存技術

文化財の保存技術の把握調査は行っていない。

未指定文化財の件数　　令和７（2025）年３月現在

類型・種別		未指定文化財　※1		合計
①有形文化財	建造物	・社寺建造物	8 件	16
		・民家、近代化遺産	8 件	
	美術工芸品	・彫刻（神仏像）	27 件	178
		・工芸品（鰐口）	5 件	
		・古文書	67 件	
		・考古資料（出土遺物、板碑）	45 件	
		・歴史資料（絵図、絵馬）	34 件	
②無形文化財			0 件	－
③民俗文化財	有形の民俗文化財	・神輿	69 件	1, 441
		・石造物　※2	1, 170 件	
		・民俗資料	202 件	
	無形の民俗文化財	・民謡	1 件	60
		・食文化	1 件	
		・祭り・行事	6 件	
		・伝説と民話	52 件	
④記念物	遺跡（埋蔵文化財含む）	・埋蔵文化財、古道・街道	92 件	148
		・社寺（境内）	56 件	
	名勝地		0 件	－
	動物、植物、地質鉱物	・動物	3 件	51
		・名木古木	37 件	
		・植物群落	10 件	
		・植物標本	1 件	
⑤文化的景観		・文化的景観	1 件	1
⑥伝統的建造物群			0 件	－
⑦その他（地名・町割）		・地名・町割	2 件	2
⑧文化財の保存技術			0 件	－
合計				1,897

※1　件数は、P52 の報告書・台帳に掲載されているものの他、文化財として考えられるものを追加した。

※2　石造物には有形文化財に分類されるものもあるが、未指定は全て「有形の民俗文化財」に分類した。

2 文化財の概要

（1）有形文化財

① 建造物

建築年代を近世まで遡る建造物は、西木代の薬師堂や、満願寺の楼門と薬師堂、白鷺神社の鳥居（いずれも町指定有形文化財）がある。この他、多功の小菅家や下神主村で名主をつとめた稲葉家の住宅が残る。

近代以降のものは、町の近代化に尽力した豪商、生沼家の住宅が市街地にあり、住宅店舗及び主屋、土蔵は国登録文化財になっている。

宇都宮市大谷町を中心に産出される大谷石を用いた蔵などの歴史的建造物が見られるのも特徴である。生沼家住宅の敷地内にも大谷石作りの石蔵が遺っている。明治時代に真岡市下籠谷に建設された下野紡績所の建物の一部が東蓼沼に移築され、加藤工務店会社事務所として現存している。白鷺神社の鳥居は、徳次郎石（日光石）で造られているが、これは大谷地域より北の男抱山付近で採掘されていた良質な凝灰岩で、産出量が少ないため今は採掘禁止となっており、貴重な建造物である。

西木代の薬師堂（町指定有形文化財）

白鷺神社の鳥居（町指定有形文化財）

② 美術工芸品

絵画：栃木県が誇る近代画家の一人である、荒井寛方による南無観世音菩薩像が普門寺にあり、町指定有形文化財としている。

彫刻：満願寺は、神護景雲元（767）年に勝道上人が日光開山のときに当地に立ち寄って開山したといわれている寺院で、木造阿弥陀如来坐像（県指定有形文化財）などの平安～鎌倉時代の複数の仏像など、数多くの文化財を所蔵している。また、この地を治めた歴代城主によって建てられた長泉寺や善応寺には、鎌倉時代に作られた木造十一面観音菩薩坐像（県指定有形文化財）や釈迦如来坐像（町指定有形文化財）が所蔵されている。この他の社寺でも神仏像がある。

絹本著色　南無観世音菩薩像
荒井寛方　筆
（町指定有形文化財）

木造阿弥陀如来坐像
（県指定有形文化財）

工芸品：上三川城や多功城とゆかりのある社寺に奉納された鰐口が各地に遺っており、未指定文化財も把握している。上郷神社の鰐口（町指定有形文化財）は康正元（1455）年に製作されたもので、中世の本町を知る上で貴重な資料である。上三川城の落城後、当地を所領した成田氏が普門寺に寄進した駕籠（町指定有形文化財）も遺っている。

鰐口（町指定有形文化財）

古文書：江戸時代に田村仁左衛門吉茂が農業技術や経営について書いた「農業自得」の原本と版木や、当時の年貢の割付、年貢上納の状況を記した川中子村年貢割付状（いずれも町指定有形文化財）など、当時の生活を伝える史料がある。この他にも古い家に伝わる古文書がある。

川中子村年貢割付状
（町指定有形文化財）

考古資料：旧石器時代から町域内で人々の生活が営まれていたことを示す石器が見つかっており、殿山遺跡で発見された槍先型尖頭器は県内で発見されている最も古い石器の一つである。古墳や古代の役所跡の遺跡など、町域周辺が河内郡の中心地であったことを示す遺跡の数も多く、貴重な出土品も多数見つかっている。栃木県上神主・茂原官衙遺跡出土刻書瓦（国指定重要文化財）は、税として集めた稲などを収める倉庫が集まる正倉群唯一の瓦葺建物の屋根に葺かれていた瓦で、当時の人々の名前が刻まれている。「酒部」や「神主部」など約 100 名の人名が確認されており、当時の役所の建設費用負担のあり方もしくは労役の実態などを示すものとして貴重な資料である。中世仏教で使われた供養塔の板碑も、数は少ないが、浄光寺の板碑（町指定有形文化財）や宝光院の板碑（町指定有形文化財）など、高さ 1.7m を超える大型のものが 3 基ある。

浄光寺の板碑（町指定有形文化財）

歴史資料：古文書と同様に、近世の本町の生活を伝える史料として、絵図が遺っている。先述の満願寺は多数の文化財を所蔵しているが、その一つの江戸時代の絵馬（町指定有形文化財）は、町内最大級のものである。他の社寺にも、史料となる絵馬が奉納されている。

絵馬（町指定有形文化財）

（２）無形文化財

町内で指定等されている無形文化財、記録作成等の措置を講ずべき無形文化財、無形文化財として把握している文化財は無い。

（３）民俗文化財

① 有形の民俗文化財

栃木県央部を中心に、太陽や月を御神体としてまつる、自然信仰の祭りである天祭（天念仏）があるが、本町でも西木代で天祭が行われる。祭りで設置される彫刻屋台の天棚（てんだな）は、地元の棟梁の篠原要次郎が江戸時代末期～明治時代初期に手掛けたものと言われ、町指定有形民俗文化財としている。この他、祭りに使用される神輿が各地区で伝えられている。

西木代の天棚（町指定有形民俗文化財）

近世以降は民間信仰も盛んになり、六地蔵信仰があったことを示す石幢（せきどう）（町指定有形民俗文化財）や江戸時代に作られた石仏があり、特に地蔵尊が多く、町内では 140 以上見つかっている。町内を街道が通ることと農村地域であることから馬頭観音が多く見られるのも特徴である。また、庚申信仰が広まり、庶民の娯楽として講が盛んに行われたため、庚申塔や月待塔も路傍に多く遺されている。

石幢（町指定有形民俗文化財）

鎌倉街道（多功道）沿いにある、石造の不動明王像は多功不動尊と呼ばれ、地域の人のみならず往来の人々からも信仰を集めてきた。昭和 10（1935）年頃、多功出身の実業家で技術者の小堀保三郎（エアバッグ開発の第一人者）が巨額の資材を投じて不動尊境内を整備し、現在も参拝者が訪れている。

明治時代から盛んに行われるようになった干瓢生産に関連して、干瓢剥き機などの民具やその他の農具、生活道具も数多くあり、文化財収蔵庫に収蔵している。

干瓢剥きの様子

② 無形の民俗文化財

農業が盛んであり、民謡の田植唄が伝えられている。栃木県を代表する郷土料理しもつかれが、2 月最初の午の日である初午の日に合わせて作られ、学校給食では町の特産品である干瓢を使ったメニューが提供され、子供の頃から郷土の食文化に接している。なお、しもつかれは令和 3（2021）年度に、文化庁の「伝統の 100 年フード～江戸時代から続く郷土の料理～」に認定されている。季節の節目ごとに年中行事が行われ、祭りで披露される民俗芸能が伝えられている。新年の初詣・初市に始まり、小正月には町内各地でどんど焼きが行われる。春には白鷺神社で雷電宮祭が行われ、神楽（吉田流）（町指定無形民俗文化財）が奉納される。夏には、「とちぎのまつり 100 選」にも選ばれている愛宕神

社奉納相撲が行われるが、その由来は疫病退散を願って奉納された相撲である。かつては力自慢の大人による草相撲だったが、現在は子どもたちによって行われている。

神楽（吉田流）は、江戸時代後期に下総国から伝えられたとされ、神事であると同時に娯楽の少なかった江戸時代からの庶民の楽しみとして受け継がれてきた。白鷺神社と上郷神社に奉納される神楽それぞれを町指定文化財としている。この他、しらさぎと西蓼沼の夏祭りや秋祭りに演奏される五段ばやしが伝えられており、上郷で伝えられている橋本新清流五段ばやしとともに、町指定無形民俗文化財としている。

神楽（吉田流）（町指定無形民俗文化財）

先述の石仏や石碑、古木にまつわる伝説と民話も多く伝えられている。鼠観音の伝説は、馬に憧れたねずみの話で、馬頭観音が町中でよく見られる身近なものであることから町民にも親しまれている伝説である。

なお、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財は無い。

（４）記念物

① 遺跡・埋蔵文化財

鬼怒川と田川の両岸に形成された南北に長い台地上には、旧石器時代からの遺跡が 100 以上存在している。6 世紀頃から有力者の墓である古墳が多く作られたことから、200 基近い古墳が遺り、古墳群をなしている。古墳時代後期（6～7 世紀）の栃木県南部（下野市、栃木市、小山市、上三川町、壬生町）の地域に共通した特徴をもつ大型古墳（首長墓、下野型古墳）を一体的に捉え、しもつけ古墳群という。町内では、しもつけ古墳群に関連する古墳 3 基（多功大塚山古墳、かぶと塚古墳石室、愛宕塚古墳石室）をそれぞれ町指定史跡としている。

かぶと塚古墳石室（町指定史跡）

下野型古墳の特徴

①古墳の墳丘に幅広い第一段平坦面（基壇）をもつ。

②古墳は凝灰岩切石を組み合わせた横穴式石室をもつ。

③複数の首長墓系譜が、約 14km 四方の限られた空間に一つの大きな墓域を形成し、6～7 世紀にかけて集中的に前方後円墳や円墳を造る。

※前方後円墳においては、前方部前端に埋葬施設をもつ。

古代には東山道が敷設され、道沿いには河内郡の役所跡の上神主・茂原官衙遺跡（国指定史跡）や多功遺跡（多功廃寺址と礎石のみ町指定史跡）がある。

鎌倉時代には鎌倉街道（多功道）が整備され、上三川城跡や多功城址（町指定史跡）が築かれた。上三川城跡は、現在も本丸の土塁や堀に当時の面影を見ることができ、本丸跡は上三川城址公園として整備され、町民の憩いの場となっている。また、この地を治めた

城主たちの墓も残されており、歴代城主の菩提寺（善応寺や長泉寺、見性寺など）に上三川城主横田家累代の墓、上三川城主今泉家累代の墓、多功城主多功家累代の墓があり、いずれも町指定史跡としている。

近世以降も日光道中（日光街道）や関宿通り多功道（日光東往還）が町域を通っていたことから、旧道跡や下石橋一里塚（下野市と本町にまたがる）がみられる。

上三川城主今泉家累代の墓（町指定史跡）

下石橋一里塚

② 名勝地

町内で名勝地として把握している文化財は無い。

③ 動物、植物、地質鉱物

町の鳥となっている白鷺が多く生息しており、町の原風景を形作っている。町にある白鷺神社の名称の由来ともなっている。

都市化が進む中でも、社寺の境内地や社叢に豊かな緑や、名木・古木がある。長泉寺には推定樹齢 500 年のコウヤマキ（町指定天然記念物）がある。これは、上三川城主今泉氏が永正元（1504）年に長泉寺を建立し、天栄祥貞和尚を迎えて開山した時、和尚自ら植えた記念の木という伝承による樹齢とほぼ一致する。この他、「とちぎの名木 100 選」にも選ばれている満願寺のカヤ、満願寺と同一敷地にある高靇神社のアカガシ（いずれも町指定天然記念物）といった樹齢 200 年を超える古木・巨木があり、町のランドマークになっている。多功不動尊の境内地にある樹齢 150 年のエノキは、小堀保三郎に招かれて逗留した棟方志功が気に入り「歓喜木（かんきぼく）」と命名した。普門寺のお葉付・ラッパ・斑入りイチョウ（県指定天然記念物）は、銀杏が葉の先に付く「お葉付き」、葉の形状が「ラッパ」、葉に白い部分のある「斑入り」といういずれも珍しい特徴を三つ兼ね備える貴重なものである。

また、鬼怒川の貴重な植物群落や、かつて存在した磯川湿原（現在の磯川緑地公園）の植物標本がある。

白鷺

普門寺のお葉付・ラッパ・斑入りイチョウ
（県指定天然記念物）

（５）文化的景観

選定されてはいないが、本町の特産品である干瓢の生産に係る田園風景がある。6 月下旬にゆうがおの実（ふくべ）の収穫がはじまり、細長く剥いて乾燥させたものが干瓢である。

干瓢生産に付随するものとして、ゆうがおの実を乾燥させたふくべを使った工芸品「干瓢ふくべ一刀彫り」がある。2～3 年乾燥させたふくべは、表面が堅い木材のようになる。これに日光彫や鎌倉彫の技法を取り入れ、独特な工芸品として完成させた技術が伝えられている。

干瓢ふくべ一刀彫り

ゆうがおの実（ふくべ）

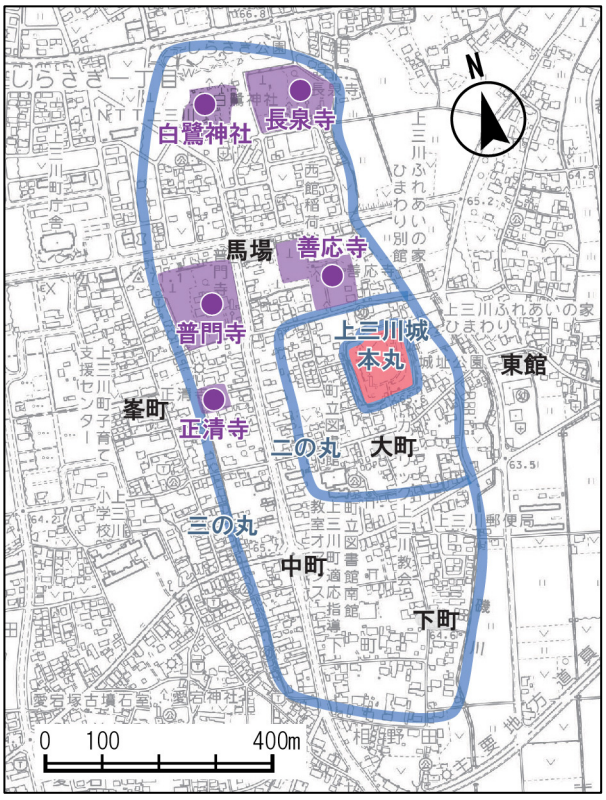
（６）伝統的建造物群

町内で伝統的建造物群として把握している文化財は無い。

（７）その他（地名・町割）

鎌倉時代に相次いで築城された上三川城と多功城の二つの城を中心に集落が栄え、当時の町割を伝える要素が遺っている。上三川城跡の付近には、歴代の城主とのゆかりが深い社寺（長泉寺、善応寺、普門寺、白鷺神社など）や墓所などの旧跡が創建時からの位置で遺る。東館・馬場・武の内など城館に関連する小字名もみられ、中世からの町割をたどることができる。

多功城址の付近には、現在は宝光院、西念寺、見性寺が残っている他、地区の鎮守として星宮神社が鎮座している。近世以降、関宿通り多功道（日光東往還）の宿駅となり、宝光院の周囲には、本陣兼問屋場の門など、宿駅だった当時の面影が残っている。



上三川城跡に関連する社寺や地名

（８）文化財の保存技術

町内で文化財の保存技術として把握している文化財は無い。

第３章　上三川町の歴史文化の特徴

１　歴史文化の特徴

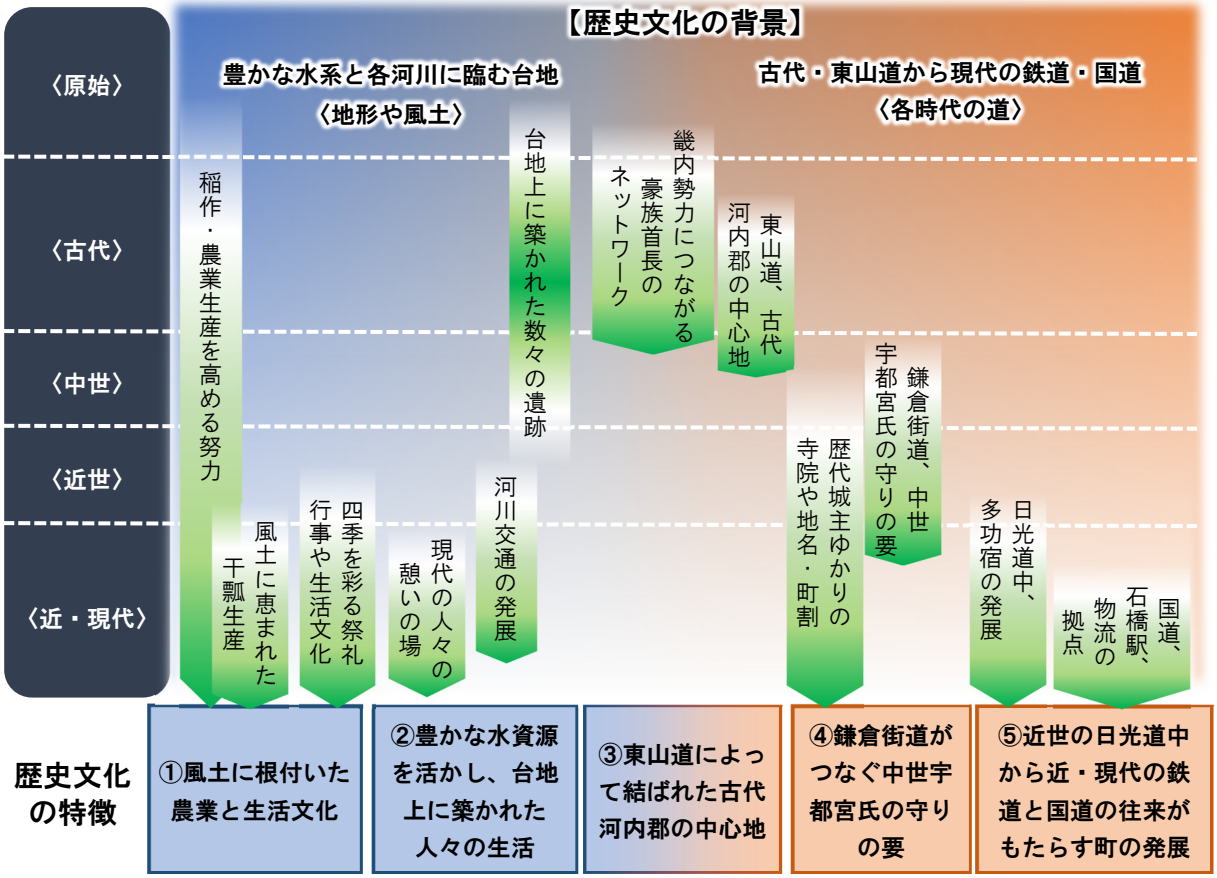
（１）歴史文化をつくる背景

上三川町の歴史文化を形作る土台に、鬼怒川、江川、田川などの豊かな水系と各河川に臨む台地という地形がある。旧石器時代から水源の近くの台地上に人々の生活が営まれ、数多くの古墳、古代河内郡の中心地である役所、中世の城館が築かれた。遺跡を公園として整備した空間は現代の人々の憩いの場として親しまれている。河川の豊富な水資源から稲作が始まり、河川交通の発展は交流をもたらした。一方で、水害は河川改良や土地改良を促し、農業生産を高める努力や町の風土に恵まれた干瓢生産への取組みなど、町に住む人びとの努力によって歴史文化が作られてきた。風土に根付いた生業は、四季を彩る祭礼行事や生活文化として受け継がれている。

また、各時代の道によってつながれてきた歴史文化がある。地形を活かして築かれた人びとの生活は、畿内勢力につながる豪族首長のネットワークを構築し、古代の東山道によって結ばれ、古代河内郡の中心地に発展した。中世には鎌倉街道（多功道）が整備され、中世宇都宮氏の守りの要として城が築かれ、歴代城主ゆかりの寺院や地名・町割が現代も遺る。近世には日光道中（日光街道）や関宿通り多功道（日光東往還）に引き継がれ、多功宿が発展した。近・現代には鉄道や国道整備が進められ、物流の拠点として町が発展した。

豊かな水系と各河川に臨む台地という〈地形や風土〉、古代・東山道から現代の鉄道・国道という〈各時代の道〉という背景から、本町の歴史文化の特徴を五つに整理した。

上三川町の歴史文化の特徴



（２）歴史文化の特徴

① 風土に根付いた農業と生活文化

豊かな水系を活かして稲作が始まり、農業生産はこの土地に暮らす人々の努力によって発展してきた。風土に恵まれた干瓢生産、四季を彩る祭礼行事や生活文化は、現在のくらしに受け継がれている。

豊かな水資源と肥沃な土地、温暖な気候から、農業が盛んである。特に、明治時代以降に生産量をのばした干瓢生産は、水はけの良い関東ローム層の台地と、夏の多雨という自然の恩恵を受けて町の特産品になっている。こうした農業の発展は、この地に暮らす人々による、農業生産を高める努力と工夫によるものである。江戸時代に田村仁左衛門吉茂によって書かれた『農業自得』は、今日にも活かせる農業技術を伝えている。

また、四季を通じて祭りや年中行事が行われ、豊穣を祈るとともに、庶民の娯楽として神楽などの民俗芸能が受け継がれてきた。2月の最初の午の日に合わせて作られるしもつかれなどの食文化も受け継がれている。

古代から下野薬師寺や下野国分寺・国分尼寺に近く、仏教文化が浸透し、民間信仰も盛んであった。講は現在廃れてしまったが、月待塔などの石碑が遺り、現代まで続く江戸の生活文化を伝えてくれる。

特徴に関連する主な文化財

稲作・農業生産を高める努力
風土に恵まれた干瓢生産

- 「農業自得」の原本と版木
- 田村吉隆氏住宅：『農業自得』の著者の生家
- 干瓢剥き機
- かんぴょう生産に係る田園風景

四季を彩る祭礼行事や生活文化

- 西木代の天祭
- 神輿
- 白鷺神社の雷電宮祭
- 神楽（吉田流）
- しもつかれ
- 石幢
- 天棚
- どんど焼き
- 愛宕神社奉納相撲
- 五段ばやし
- 絵馬
- 庚申塔や月待塔

② 豊かな水資源を活かし、台地上に築かれた人々の生活

台地上に多く築かれた遺跡は、旧石器時代までさかのぼる人々の生活を示す。豊かな水資源によって稲作が始まり、河川交通が発展し、広大な河川敷空間は、現代の人々の憩いの場となっている。

「上三川町」という町名が示すとおり、町内には鬼怒川、江川、田川などの河川が南流し、それぞれの河川に臨む台地が形成されている。豊かな水資源と災害の少ない台地という地形の特性を生かし、人々の生活が営まれてきた。

町域における人々の生活は、20,000～30,000 年前の旧石器時代までさかのぼる。10,000 年前の縄文時代から集落が作られ、島田遺跡から発見された土器片や石器などの遺物や竪穴建物跡は、集落が長く続いていたことを示している。続く弥生時代から稲作が行われ、農耕の始まりを示す遺跡や有力者の墓である古墳、古代河内郡の中心地であったことを示す上神主・茂原官衙遺跡や多功遺跡など、数多くの遺跡が江川と田川に臨む台地上や微高地の自然堤防上に築かれた。鬼怒川の渡しや明治時代まで物流の主流であった河川交通のための河岸は、現在は広大な河川敷空間を活かした親水公園に整備され、人々の憩いの場になっている。

人々の生活は台地上から始まり、豊かな水資源や地形の特性を活かして築かれた。その痕跡は、遺跡として本町のすべての歴史文化の土台となり、原風景の一部が継承されている。

特徴に関連する主な文化財

台地上に多く築かれた遺跡
・島田遺跡、仏沼遺跡：稲作農耕の始まりを示す遺跡 ・殿山遺跡出土遺物：槍先型尖頭器 ・五分一上野原遺跡出土遺物：縄文時代草創期の隆起線文土器 ・大町遺跡出土遺物、島田遺跡出土遺物：縄文時代草創期の爪形文土器 ・神主古墳群（浅間神社古墳を含む） ・かぶと塚古墳や愛宕塚古墳：下野型古墳 ・多功大塚山古墳 ・上神主・茂原官衙遺跡 ・多功遺跡（多功廃寺址と礎石）
河川交通の発展、現代の人々の憩いの場
・鬼怒川の渡しや河岸　・満願寺のカヤ ・高麗神社のアカガシ　・白鷺 ・普門寺のお葉付・ラッパ・斑入りイチョウ

③ 東山道によって結ばれた古代河内郡の中心地

古墳時代に形成された畿内勢力につながる豪族首長のネットワークは、古代の東山道によって結ばれ、町域とその周辺は古代河内郡の中心地として発展した。

江川と田川を臨む台地上に古墳が数多く築造され、周辺地域の遺跡の出土品や古墳の形態から、畿内勢力との密接な関係があったことがわかる。また、古墳時代後期の周辺地域の一部の古墳には共通した特徴が見られ、豪族首長同士の連携を示している。

古代の東山道が敷設されると、多功大塚山古墳（町指定史跡）の周辺に官衙や寺院などの国の施設が設置された。本町は河内郡衙と推定される上神主・茂原官衙遺跡（国指定史跡）や、正倉が確認されている多功遺跡（町指定史跡）が設置される古代河内郡の中心地であり、下野国の重要地域だった。また、これらの官衙や寺院から出土した瓦の多くは、水道山瓦窯跡群（宇都宮市）で生産された下野薬師寺系のもので、国を超えた技術交流があったことを示している。

特徴に関連する主な文化財

畿内勢力につながる豪族首長のネットワーク
・かぶと塚古墳や愛宕塚古墳：下野型古墳 ・多功大塚山古墳
東山道、古代河内郡の中心地
・多功南原遺跡出土遺物：「三川」の墨書土器 ・東山道跡 ・多功南原遺跡 ・上神主・茂原官衙遺跡出土遺物、多功遺跡出土遺物：下野薬師寺系の瓦 ・上神主・茂原官衙遺跡 ・栃木県上神主・茂原官衙遺跡出土刻書瓦 ・多功遺跡（多功廃寺址と礎石）

古墳時代に豪族首長たちのネットワークが形成され、律令制度下に政治・軍事面で重要な駅路である東山道が整備され、人のつながりが道によって結ばれた。古代河内郡の中心地としての発展は、本町の道がつないできた歴史文化の特徴の一つである。

④ 鎌倉街道がつなぐ中世宇都宮氏の守りの要

鎌倉街道の拠点に築かれた上三川城や多功城は、中世宇都宮城の南方の守りの要となって、その繁栄を支えた。両城の付近には、現在も歴代城主ゆかりの寺院や地名・町割が遺る。

古代までに形成された地域のネットワークの一部は、宇都宮氏の支配域に引き継がれた。宇都宮氏の一門によって上三川城や多功城（多功城址、町指定史跡）が築かれ、鎌倉街道（多功道）の拠点に位置する両城は、宇都宮城の南方の守備の要となって宇都宮氏の繁栄を支えた。

上三川城跡や多功城址の付近には、歴代城主ゆかりの寺院や城に関連する地名が遺り、中世からの町割をたどることができる。こうした寺院には鎌倉時代の仏像や天然記念物に指定されている巨木・古木、歴代城主にゆかりある品々が所蔵されている他、菩提寺となっている寺院には城主一族の墓が遺り、現在も大切に守られている。

特徴に関連する主な文化財

鎌倉街道、中世宇都宮氏の守りの要	
・鎌倉街道（多功道）	・上三川城跡
・多功城址	・上三川城の町割
・多功の町割	・多功不動尊

歴代城主ゆかりの寺院や地名・町割
・長泉寺や善応寺、見性寺
・十一面観音菩薩坐像
・釈迦如来坐像
・長泉寺のコウヤマキ
・浄光寺の板碑や宝光院の板碑
・上三川城主横田家累代の墓
・上三川城主今泉家累代の墓
・多功城主多功家累代の墓

⑤ 近世の日光道中から近・現代の鉄道と国道の往来がもたらす町の発展

近世の日光道中の整備により多功は宿駅として発展し、続く明治時代以降の鉄道や国道整備の道筋となり、上三川町は物流の拠点として発展した。

江戸時代に日光道中（日光街道）が整備され、中世の鎌倉街道をなぞるように関宿通り多功道（日光東往還）が作られると、かつて城があった多功は宿駅として発展した。明治時代以降は、日光道中の道筋に鉄道や国道が計画され、町の近代化が進められた。現代においても国道４号のバイパスである新４号国道が町の中央を南北に通り、物流の拠点としての重要性が増している。こうした近世の日光道中から近・現代の鉄道と国道の往来がもたらした町の発展を示す歴史文化は、現在の町の骨格を成している。

かつての街道沿いには、道中の安全を祈る馬頭観音などの石仏、里程の目標として設置された下石橋一里塚が見られ、多功にも宿場だった当時を伝える町割や門が遺されている。上三川には、大正期の商家建築である生沼家住宅をはじめ、大谷石造りの蔵などが遺り、現在も町の中心市街地となっている。

特徴に関連する主な文化財

日光道中、多功宿の発展
・日光道中（日光街道）
・関宿通り多功道（日光東往還）
・多功の町割
・街道沿いの馬頭観音などの石仏
・下石橋一里塚
・民話「鼠観音の伝説」

国道、石橋駅、物流の拠点
・生沼家住宅
・加藤工務店会社事務所
・白鷺神社の鳥居

第４章 文化財の保存・活用に関する方針

１ 目指すべき将来像

（１）将来像

本地域計画の上位計画である「上三川町第７次総合計画」では、施策項目「芸術・文化の振興」において「文化財の保存・活用」を掲げており、上三川町教育大綱でも「地域の歴史や文化を活かした魅力ある町づくりを推進します。」と掲げている。

上三川町の文化財は、豊かな水系と各河川に臨む台地という地形に育まれ、古代から現代までの道につながれてきた歴史文化を形成する地域の資産である。文化財を後世へ確実に伝えていくためにまもり、その価値と魅力を明らかにし、活用を通じて新たな可能性をみせることで本町に暮らす誇りを醸成し、文化財をまちづくりに活かすことでひととまちをつなぐ姿を、本地域計画の将来像とする。

「文化財をまもり　新たな可能性をみせて　ひととまちをつなぐ」

（２）基本方針

「文化財をまもり　新たな可能性をみせて　ひととまちをつなぐ」を実現するために、文化財を後世へ伝えていくために【まもる】、活用を通じて文化財の持つ価値や魅力による新たな可能性を【みせる】、文化財で人と人・ひととまちを【つなぐ】、それぞれの基本方針を定める。

① 文化財を【まもる】：文化財を後世へ伝えていくためにまもる事業

・文化財の把握と情報整理の推進
・文化財の価値を明らかにする調査の実施
・文化財の適切な保存と維持管理の実施
・文化財所有者・保存団体への支援強化
・文化財の防災・防犯体制と必要な対応の検討、整備の実施

② 文化財の新たな可能性を【みせる】：活用を通じて新たな可能性をみせる事業

・文化財の価値や魅力を伝えるための活用・整備の推進
・文化財の魅力的な公開・展示、歴史文化を知る機会の創出
・多様な媒体による文化財情報や魅力の発信

③ 文化財でひととまちを【つなぐ】：文化財で人と人・ひととまちをつなぐ事業

・文化財の一体的な保存・活用の推進
・文化財担当部署の体制強化
・多様な主体との連携体制の構築

２ これまでの文化財の保存・活用の事業

（１）これまでの文化財の保存・活用の事業

本町の文化財に関する施策は、上三川町教育委員会事務局生涯学習課が行っている。これまでの文化財の保存・活用に関する事業を以下にまとめた。

これまでの文化財の保存・活用の事業

	事業内容
①文化財を【まもる】	文化財の把握調査（どこに何があるのかを把握するための調査）
	文化財の詳細調査（文化財の価値を明らかにするための調査）
	埋蔵文化財包蔵地の開発事業に伴う工事の立会い、調査
	上三川町文化財保護条例に基づく文化財の指定、保存活用計画等の策定 ・上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想 ・生沼家住宅保存管理計画
	町所有の文化財の維持管理、文化財作業所の管理運営 ・上神主・茂原官衙遺跡やかぶと塚古墳石室 ・生沼家住宅
	文化財所有者・保存団体への支援 ・町指定文化財の維持管理や修理に対する助成 ・文化財や資料の寄託・寄贈の受け入れ ・郷土芸能の保護、継承への支援
	文化財の防災・防犯に関する普及啓発（文化財防火デーのポスターの掲示など）
	文化財パトロール（定期的な文化財の見回り・点検）
②文化財の新たな可能性を【みせる】	上神主・茂原官衙遺跡の史跡公園整備事業（「上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想」に基づく史跡整備）
	生沼家住宅整備事業（生沼家住宅の利活用について官民連携で検討）
	文化財説明板の新規設置、修繕（施設や説明内容の更新）
	町が収集・保管している文化財の巡回展示、企画展の開催
	町の歴史や文化財について学ぶ講座の開催、講演会等への講師の派遣
	郷土教育の一環として、小・中学校を中心に出前授業を実施
	郷土芸能の発表機会となる祭りやイベントの開催支援
	文化財に関する情報発信 ・上三川町ホームページや「広報かみのかわ」への文化財情報の掲載 ・各種冊子・パンフレット等の作成・刊行
③文化財でひとまちを【つなぐ】	文化財保護審議会を設置・運営し、文化財の保存・活用に関して専門家からの意見・助言を得る
	文化財の調査・研究について、大学や研究機関、専門家などへ委託、協働で実施
	文化財に関連する施策を関係各課と連携して実施
	下野市・上三川町・壬生町文化財連携事務研究会による地域間での連携

3 文化財の保存・活用に関する課題と個別方針

（1）文化財を【まもる】

課題❶ 文化財の現状の把握、情報の整理ができていない

・これまでの把握調査では調査対象に偏りがあり、近世以降の建造物などの把握が不十分である。
・社寺や民家などの分野は調査時期が古く、現状が確認できていない。個人や寺社所有の文化財は、防災・防犯状況の実態が確認できていない。
・未指定を含む文化財の保存・活用を広く町民に促すには、文化財情報の公開が必要であるが、文化財情報の整理が不十分で、公開するためのデータベースが未整備である。

⇒課題に対する個別方針：文化財の把握と情報整理の推進

・近世以降の建造物など未指定文化財について把握調査を行う。
・文化財の防災・防犯状況も含む現況を確認し、調査成果を文化財リストに反映して、保存・活用のための基礎資料とする。
・文化財リストを元にデータベースを構築し、保存・活用のための基礎的情報を広く公開する。

課題❷ 文化財の価値付け、調査が不十分

・寺社や石蔵などの近世以降の建造物は、滅失の危機にあるものもあり、価値を明らかにするための調査が必要。

⇒課題に対する個別方針：文化財の価値を明らかにする調査の実施

・把握調査の成果に基づき、早急に保護すべき文化財について、価値を明らかにするために詳細調査を行う。

課題❸ 文化財の保存と維持管理が不十分

・埋蔵文化財の保護や、調査によって保護すべき価値が判明した文化財の上三川町文化財保護条例に基づく指定等は、引き続き制度を適切に運用していく必要がある。
・町が管理している史跡や生沼家住宅についても維持管理を継続していく必要がある。
・国史跡の上神主・茂原官衙遺跡は、個別の保存活用計画が作成されていない。具体的な保存・活用の方針を定め、指定地を共有する宇都宮市と連携して実施していくために、計画の作成が必要である。
・文化財を収蔵している文化財作業所は、耐震診断・耐震改修ともに実施されておらず、老朽化に伴う安全性の確保や施設の効率的な修繕・更新等が必要である。町内小中学校に収蔵している文化財は、『上三川町史』編さん時に調査したが、収蔵品の詳細や管理状況を把握できていない。
・文化財の収蔵スペースが足りていない。また、文化財を収蔵している文化財作業所などの施設を更新する際には、文化財を仮置きするスペースが必要である。

⇒課題に対する個別方針：文化財の適切な保存と維持管理の実施

・これまで実施してきた埋蔵文化財の保護や、文化財の指定等は、引き続き制度を適切に運用する。
・公有化している史跡や町が所有する文化財の維持管理は、引き続き継続する。
・上神主・茂原官衙遺跡の保存・活用は、個別の保存活用計画の作成を通じて検討を進める。
・文化財収蔵施設の収蔵品や管理状況を確認し、適切な管理運営を行うとともに、収蔵スペースのあり方を検討する。

文化財の把握状況

類型・種別		把握状況	
①有形文化財	建造物	△	・社寺、民家、近代化遺産、近代和風建築の把握はできているが、社寺と民家の調査は古く、現況調査ができていない。また、近世以降の建造物については、把握が不十分である。 ・上記調査の対象になっていない大谷石の石蔵などは町内に数多くあるが、総数は把握できていない。
	美術工芸品	○	・社寺等が所蔵する仏像・神像など彫刻、仏具や梵鐘などの工芸品、板碑などの考古資料は把握できている。 ・古文書や絵図などの歴史資料は、町の調査により把握できている。 ・出土遺物などの考古資料は台帳で整理しており、把握できている。
②無形文化財		―	・該当する文化財がない。
③民俗文化財	有形の民俗文化財	△	・石造物（神社や集落の氏神様、石仏）は把握できている。 ・民具などの民俗資料は、収集し、把握できている。 ・祭りや民俗芸能に使う祭礼道具は把握できていない。
	無形の民俗文化財	△	・民謡、民俗芸能、祭り・行事は把握できている。 ・昔話（伝説と民話）は把握できている。 ・食文化（しもつかれなど）の存在は把握しているが、現在も行われているか、追跡調査ができていない。
④記念物	遺跡（埋蔵文化財含む）	○	・遺跡分布調査により把握している。 ・県の調査により、古道・街道も把握している。
	名勝地	―	・該当する文化財がない。
	動物、植物、地質鉱物	△	・希少な動植物、栃木県版レッドリストにより把握しているが、分布状況までは把握できていない。名木古木は把握できている。 ・地質鉱物は、該当する文化財がない。
⑤文化的景観		×	・該当する文化財として考えられるものがあるが、調査は行われておらず、文化財としての実態は把握できていない。
⑥伝統的建造物群		―	・該当する文化財がない。
⑦その他（地名・町割）		○	・町割を伝える要素として、現在も遺る地名を把握している。
⑧文化財の保存技術		―	・該当する文化財がない。

※石造物には有形文化財に分類されるものもあるが、未指定は全て「有形の民俗文化財」に分類した。

【把握状況の凡例】　○：把握できている　　△：把握できているが部分的・調査が古いなど課題がある
×：把握できていない　　―：該当する文化財が無い

課題❹ 文化財所有者・保存団体への支援が不十分

・文化財所有者・保存団体が確実に文化財を継承していくには、管理や修理にかかる経済的負担が大きい。また、町や国・県の補助や技術的な支援の情報が十分に行き届いていない。助成などの支援や情報提供が必要である。
・文化財所有者の変更のときには、文化財の価値や保護の仕組みが正しく引き継がれないケースもある。文化財情報の共有が必要である。
・郷土芸能や伝統行事などの無形の民俗文化財は、担い手の高齢化や後継者不足のため、存続の危機にある。これまでの補助金の交付、情報提供などの支援では不十分なため、後継者育成のための支援が必要である。

⇒課題に対する個別方針：文化財所有者・保存団体への支援強化

・文化財所有者・保存団体が確実に文化財を継承していけるように、資金面や技術面からの支援や情報提供を行う。
・文化財の所有者・管理者の変更のときには改めて情報を共有するなど、個別対応も検討する。
・無形文化財の所有者や保存団体に対しては、これまでの支援を強化し、活動や後継者育成について支援を行う。

課題❺ 文化財の防災・防犯が未整備

・指定等文化財も含め、個人や寺社所有の文化財は防災・防犯のための設備の設置状況が把握されておらず、防災・防犯が検討されていない文化財が多いと予測される。個別の文化財の防災・防犯状況を把握したうえで、災害が発生したときの文化財の被害状況を予測し、必要な対策について検討していく必要がある。
・災害発生後に被害状況の確認や文化財の救済にあたるときのネットワークなど、被災した時を想定した体制が検討されていない。
・災害発生時や文化財の盗難・破損などを確認したときの、連絡体制や対応マニュアルがなく、文化財所有者がすべき対応が周知されていない。
・個人の文化財所有者や町民の文化財に対する防災・防犯の意識も高いとは言えず、有事の対応や日頃の対策について町民と行政で情報共有が出来ていない。
・文化財を把握したあとも、定期的な見回り・点検や日常的な維持管理、計画的な修繕を継続していく必要があるが、未指定文化財はこうした保護の対応が取られていない。

⇒課題に対する個別方針：文化財の防災・防犯体制と必要な対応の検討、整備の実施

・文化財の現況調査を進め、個別の文化財の防災・防犯状況を把握し、「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を参考にしながら、防災・防犯計画を検討する。「上三川町地域防災計画」と合わせて、町域の文化財に必要な防災・防犯対策を検討し、整備の優先順位を決める。
・災害が発生した場合や、文化財の盗難・破損などを確認したときの場合を想定して、対応マニュアルや連絡体制を検討する。
・防災・防犯計画に基づく、文化財の防災・防犯に必要な設備整備を進める。
・文化財所有者には、必要な情報提供や助言を行う。初動時の対応マニュアルは文化財所有者に配布し、防災・防犯体制は町民にも知らせ、災害等発生時の初動対応について啓発する。また、広く町民に文化財の防災・防犯意識を持ってもらうための普及啓発を進める。
・未指定文化財も含め、文化財を見守る目を増やす。

（２）文化財の新たな可能性を【みせる】

課題❻ 文化財の活用・整備事業の継続が必要

・生沼家住宅は、特別公開やイベントなどの限定的な活用しかできていないため、さらなる利活用が求められており、整備事業を引き続き進めていく必要がある。
・史跡等の整備として、現地に文化財説明板などを設置しており、計画的な更新を行っているところだが、情報が古いものや多言語対応されていないものが多い。現地までの案内や誘導標識が不足していて、文化財の場所が分かりにくい。

⇒課題に対する個別方針：文化財の価値や魅力を伝えるための活用・整備の推進

・文化財の価値や魅力を訪れた人に分かりやすく伝えるために、積極的な活用や説明板の内容更新、現地までの案内や誘導標識の整備を進める。生沼家住宅整備事業や、個別の文化財説明板の設置及び修繕など、既存の整備事業を計画的に進める。

課題❼ 文化財に触れる、歴史文化を知る機会が少ない

・文化財を展示する施設やスペースが不十分で、見られる文化財に限りがある。
・町の文化財を身近に感じない人や、文化財に接する機会が少ない人が多い。特に若い世代でその傾向が強く、学校教育と連携して、若い世代から理解を深めていく必要がある。
・文化財への関心がない人でも、気軽に文化財に触れられる機会が少ない。郷土芸能や伝統行事を見る機会となる祭りやイベントも、町の文化財への関心を高める機会となっていない。

⇒課題に対する個別方針：文化財の魅力的な公開・展示、歴史文化を知る機会の創出

・気軽に文化財を見る・体験することができる公開・展示スペースの開設、イベントや歴史文化への理解を深められる講座の開催など、幅広い人が文化財に触れられる機会を作る。
・若い世代が文化財に接する機会を作るため、学校教育と連携して文化財の授業での活用を推進する。郷土芸能や伝統行事を見る機会となる祭りやイベントの開催支援を行う。

課題❽ 文化財情報の発信が不十分

・文化財そのものの情報や、文化財に触れられる機会・イベントの情報が周知できていないため、興味関心を持つ人の広がりがない。
・世代によって情報を集める媒体も異なることから、幅広い人に見てもらえるような情報発信の方法の検討が必要である。
・上神主・茂原官衙遺跡については、共同所有者である宇都宮市と連携して情報発信していく必要がある。

⇒課題に対する個別方針：多様な媒体による文化財情報や魅力の発信

・文化財そのものの情報や、公開・展示に関する情報を、紙媒体や電子媒体など様々なツールを用いて幅広い世代にタイムリーに伝えていく。
・上神主・茂原官衙遺跡は、宇都宮市と連携して情報発信していく。

（３）文化財でひととまちを【つなぐ】

課題❾ 文化財の一体的な保存・活用が行われていない

・これまでの取組みでは、個別の文化財が保存・活用の対象となり、関連する文化財とのつながりの検討や周知が不十分で、本町の歴史文化の一体的な理解に繋がっていない。また、多くの文化財が地域活性化やまちづくりに活かされていない。

・町民や関係団体によって保存・活用される文化財も限定的で、活動の幅が広がらない。

⇒課題に対する個別方針：文化財の一体的な保存・活用の推進

・本町の歴史文化を伝えるテーマを設定し、そのテーマのストーリーを構成する文化財群を関連文化財群とする。関連文化財群を設定、周知することで、文化財群を活かした地域活性化やまちづくりのあり方について、町民と一緒に検討していく。

課題❿ 文化財担当部署の体制が不十分

・専門知識や業務におけるノウハウの継承が十分に行われていない。また、観光やまちづくりと連携した幅広い視点で保存・活用に取り組むノウハウや、文化財のデジタル化などの新しい技術に関する情報が不足しており、文化財を幅広い事業に活かしきれていない。

・近世以降の建造物の把握調査や、価値を把握するための詳細調査は専門性が高く、専門機関との連携が必要。

⇒課題に対する個別方針：文化財担当部署の体制強化

・必要な技術や知識を学び、観光やまちづくりと連携した幅広い視点で保存・活用に取り組むノウハウや文化財のデジタル化などの新しい技術に関する知識を得る機会を増やすことで、人材を育成する。

・専門性が求められる把握調査や、詳細調査については、専門機関と連携して実施する。

課題⓫ 文化財の保存・活用を担う主体間の連携不足

・文化財担当部署と、観光振興・地域活性化などを行う関係各課との情報交換や連携が不十分なため、関係各課が行う歴史文化を核とした町の魅力発信事業に文化財担当部署が持つ情報が十分に活かされていない。

・古墳や古代遺跡など、上三川町域にとどまらず、広域に見られる歴史文化の特徴については、関係自治体との連携による保存・活用も必要である。「下野市・上三川町・壬生町文化財連携事務研究会」により１市２町の連携事業を進めているが、行政間の連携にとどまっている。

・文化財の保存・活用を行う関係団体も全ては把握できていない。官民連携を目指すには団体の情報も協働で行える事業の内容も、情報が不足している。

・文化財ボランティアの参加者が減っており、より広く町民に参加してもらえるような仕組みづくり、参加者の育成が必要である。

⇒課題に対する個別方針：多様な主体との連携体制の構築

・関係各課が行う文化財に関連する施策について情報共有をはかり、まちづくりに文化財を活用していく。関係自治体との連携事業も継続し、行政間のみならず、地域住民の活動における連携も推進していく。

・文化財の保存・活用における文化財ボランティア等の関係団体については、活動している団体とその現状を把握し、活動を続けてもらうための効果的な協働体制を検討する。また、団体同士の連携や、積極的な地域住民の参加を促し、活動を発展させる。

第５章 文化財の保存・活用に関する事業

１ 文化財の保存・活用に関する事業

各事業は、国費（文化財補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金）・県費・町費、その他民間資金等を活用しながら進めていく。

（１）文化財を【まもる】

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財の把握と情報整理の推進									
	①-1	**文化財の把握調査（文化財リストの作成）** ・大谷石の建造物など、未指定文化財も含め、どこに何があるのか把握調査を行い、文化財リストを作成する。	○	△	△	△	△	R7～	～R17
	①-2	**文化財の現況調査（文化財リストの更新）** ・過去の調査で把握した個々の文化財の現状を確認し、文化財リストを更新する。 ・有形文化財（有形の民俗文化財を含む）を所有している個人・寺社等については、防災・防犯状況を確認し、文化財リストを更新する。	○	△	△	△	△	R7～	～R17
	①-3	**文化財データベースの構築** ・文化財リストを基礎資料として、文化財情報を整理し、公開を目的とした文化財データベースの構築を目指す。	○	△		△		R7～	～R17
文化財の価値を明らかにする調査の実施									
	①-4	**文化財の詳細調査** ・把握調査で把握した文化財のうち、指定等文化財の候補となる文化財や、滅失の危機にある文化財について、価値を明らかにするための調査を行う。	○	△		△		～継続	～R17
文化財の適切な保存と維持管理の実施									
	①-5	**埋蔵文化財の保護** ・埋蔵文化財包蔵地の開発事業に先立って、事業者と事前協議・調整を行う。工事の立会いや調査を行い、調査結果を報告書にまとめる。 ・開発事業者に対して、埋蔵文化財保護の制度の周知を行う。	○					～継続	～R17
	①-6	**文化財の指定** ・上三川町文化財保護条例に基づく文化財の指定等を行い、保護する。	○					～継続	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財の適切な保存と維持管理の実施									
	①-7	**史跡の維持管理** ・上神主・茂原官衙遺跡やかぶと塚古墳石室などの公有化されている史跡の定期的な雑草除去や伐採、景観・安全の保持を行う。	○		△	△		～継続	～R17
	①-8【重】	**保存活用計画の作成** ・上神主・茂原官衙遺跡の保存活用計画を作成する。 ・宇都宮市と連携して委員会を設置・運営し、今後の保存・活用のあり方について学識経験者から指導・助言を受ける。	○	△	△			R8～11	
	①-9	**生沼家住宅の維持管理** ・生沼家住宅の定期的な清掃、庭の雑草除去など維持管理を行う。 ・生沼家住宅の一般公開や、地域住民による活用の許可・支援を行う。	○		△		△	～継続	～R17
	①-10	**文化財収蔵施設の管理運営** ・文化財作業所で保管している文化財や資料について、収蔵品や管理状況を確認し、適切な保存処理や管理を行う。 ・施設の維持管理を行うとともに、保存資料のリストを作成し、町民の学習活動に活用できるような保管体制を整備する。	○					～継続	～R17
	①-11	**文化財収蔵スペースの検討** ・施設の更新と収蔵スペースの確保のため、改修や使用していない公的施設の再利用を検討する。	○					～継続	～R17
文化財所有者・保存団体への支援強化									
	①-12	**文化財の管理・修理への支援** ・町指定文化財の維持管理や修理に対して助成を行う。 ・指定等文化財の所有者による補助金の申請等の手続きについて指導・助言を行う。その他の支援制度や資金調達方法などについて、情報提供を行う。 ・保存活用計画などを作成する際には、助言を行う。	○			○		～継続	～R17
	①-13	**文化財所有者・管理者への支援** ・指定等文化財の所有者や管理者に対して、必要に応じて技術的な指導・助言を行う。所有者の変更のときには、文化財情報や保護の仕組みについて情報共有を行う。 ・文化財や資料の寄託・寄贈を受け入れる。	○			○		～継続	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財所有者・保存団体への支援強化									
	①-14	**郷土芸能の保護、継承への支援** ・郷土芸能の保存団体が実施する後継者養成事業や発表の機会に対して支援を行う。 ・郷土芸能や伝統行事、祭りに用いられる用具等の補修について助成を行う。	○		△	○		～継続	～R17
文化財の防災・防犯体制と必要な対応の検討、整備の実施									
	①-15	**文化財の防災・防犯計画の検討** ・「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を参考にし、防火対策を検討する。町のハザードマップと文化財の位置情報、個別の文化財の防災・防犯状況を元に、防災・防犯設備の設置など、必要な対応を検討し、事業の実施計画を検討する。 ・災害発生時や文化財の盗難・破損などを確認したときの対応マニュアルを作成する。文化財を保管・展示する施設についても、「上三川町地域防災計画」に基づき、施設ごとにマニュアルを作成する。	○	△		○		～R12	
	①-16	**文化財の防災・防犯体制の構築** ・災害発生時に国や文化財防災センター、栃木県、周辺自治体と連携して対応する体制、文化財の救援ネットワークを構築する。 ・文化財の盗難・破損などを確認したときの連絡体制を構築する。	○	△		○		～R12	
	①-17	**文化財の防災・防犯設備の設置** ・指定等文化財のうち、建造物や有形文化財（有形の民俗文化財を含む）を所蔵する施設については、法令に基づく消防用設備等の設置を進める。 ・文化財所有者から防災・防犯に関して、設備設置や対応について相談があった場合は、情報提供や助言を行う。	○	△		○		～継続	～R17
	①-18	**文化財の防災・防犯の普及啓発** ・文化財の防災・防犯について普及啓発を行う。文化財防火デーにはポスターの掲示を行う。 ・文化財の防災・防犯計画や対応マニュアルを文化財所有者に周知する。	○	△		○	△	～継続	～R17
	①-19	**文化財パトロール** ・文化財リストを元に、定期的に文化財の見回り・点検を行い、異常がないか確認する。	○			△	△	～継続	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

（２）文化財の新たな可能性を【みせる】

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財の価値や魅力を伝えるための活用・整備の推進									
	②-1	**生沼家住宅整備事業** ・生沼家住宅の利活用について官民連携で検討、整備を行う。	○		○		○	～継続	～R17
	②-2	**文化財説明板の設置及び修繕** ・既存の説明板の設置状況を踏まえ、文化財説明板の新規設置、修繕（施設や説明内容の更新）を行う。 ・史跡などの屋外にある文化財への案内や誘導標識を新規設置する。	○			△		～継続	～R17
文化財の魅力的な公開・展示、歴史文化を知る機会の創出									
	②-3	**文化財の公開・展示** ・収集・保管している文化財の公共施設における企画展を開催する。 ・文化財を展示する施設の検討、商店や店舗などへの展示スペースの募集を行う。	○			△		～継続	～R17
	②-4	**歴史講座の開催** ・町の歴史や文化財について学ぶ講座を開催する。 ・生涯学習センターやコミュニティセンターなどの施設における事業や、その他各種団体による講演会等に講師を派遣する。	○	△				～継続	～R17
	②-5	**学校教育との協働** ・郷土教育の一環として、小・中学校を中心に出前授業を実施する。 ・学校教育における文化財の活用について、活用メニューや、栃木県埋蔵文化財センターにおける学校教育に関する情報などを教員に共有する。	○	△				～継続	～R17
	②-6	**祭りやイベントの支援** ・郷土芸能の発表機会となる祭りやイベントへの支援を行う。	○		△	△		～継続	～R17
多様な媒体による文化財情報や魅力の発信									
	②-7 【重】	**文化財に関する情報発信** ・上三川町ホームページや「広報かみのかわ」に文化財情報を掲載する。 ・各種冊子・パンフレット等の作成・刊行などにより情報発信を行う。 ・町の文化財を巡る観光ガイドマップの作成・上三川町ホームページでの公開を行う。 ・SNS を活用した文化財 PR を行う。	○		△		△	～継続	～R17
	②-8 【重】	**上神主・茂原官衙遺跡の情報発信** ・宇都宮市と連携して、遺跡の魅力を発信する。具体的な連携体制や事業内容は、保存活用計画策定を通じて改めて検討する。	○		○			～継続	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

（３）文化財でひととまちを【つなぐ】

事業			事業主体					事業期間	
		事業名/概要	上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財の一体的な保存・活用									
	③-1	**関連文化財群の設定と保存・活用の促進** ・歴史文化の理解を促すテーマやテーマを構成する文化財を検討し、講座などの PR 事業を行う。 ・テーマを活かした保存・活用の事例紹介や、取組みを考えるワークショップを行い、町民や関係団体による文化財の保存・活用を促進する。町民活動を活性化することで、地域づくりに活かしてもらう。	○	△	△	△	△	R7～	～R17
文化財担当部署の体制強化									
	③-2	**文化財担当部署の体制強化** ・職員の専門性や資質を向上させるため、県などが開催するセミナーや研修などへの参加機会を設ける。	○	△				～継続	～R17
	③-3	**専門機関との連携** ・近世以降の建造物の把握調査や、価値を把握するための詳細調査について、大学や研究機関、専門家などへ委託、協働で実施する。	○	○				～継続	～R17
多様な主体との連携体制の構築									
	③-4	**関係各課との連携強化** ・関係各課が文化財に関連する事業を行う場合は、必要な情報を共有し、協働で行うことも検討する。 ・関係各課からなるプロジェクトチームを結成し、課題解決のための会議や情報共有の場を設ける。	○	○				～継続	～R17
	③-5	**関連計画との整合** ・各種整備事業と連携して、文化財を地域資源としたまちづくり、地域の魅力創出を行う。	○	△	△	△	△	～継続	～R17
	③-6 【重】	**関係自治体との連携事業** ・「下野市・上三川町・壬生町文化財連携事務研究会」による地域間での連携を図り、エリアとしての価値を高めるとともに、貴重な文化財の保存・活用を行いながら全国に向けて PR を行う。 ・下野市・上三川町・壬生町の行政間のみならず、地域住民の文化財に関わる活動も連携できる体制づくりを目指す。文化財に関わる活動を行っている団体などの意見を聞きながら検討する。	○		○		○	～継続	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
多様な主体との連携体制の構築									
	③-7【重】	**文化財の保存・活用ネットワークの確立** ・文化財の関係団体リストを作り、協働体制を検討する。 ・団体同士の交流、つながりを作るためのネットワークを確立する。	○		○			～継続	～R17
	③-8	**文化財ボランティアの育成** ・町民参加による文化財の保存・活用のあり方を検討し、文化財ボランティアの育成を行う。 ・既存の文化財ボランティアに必要な人材と、参加意欲のある人とのマッチングを行い、活動を継続していける体制づくりを支援する。	○		○		△	R7～	～R17

※【重】：重点的に行う事業、【事業主体】○：主体者、△：協力者

（４）重点的に行う事業

本町の歴史文化の特徴の背景となっている〈地形や風土〉、〈各時代の道〉は、隣接する自治体と共通するものである。古墳や古代遺跡といった広域に見られる歴史文化の特徴に根差した文化財の保存・活用は、これまでも関係自治体と連携して取り組んできており、今後は協働体制をさらに強くしていくため、行政間のみならず、地域住民の活動も含めて連携していける体制づくりを目指す。

具体的には、宇都宮市とまたがって位置する上神主・茂原官衙遺跡に関係する事業と、令和 5（2023）年から進めている「下野市・上三川町・壬生町文化財連携事務研究会」による 1 市 2 町連携事業を重点的に行う。また、文化財の価値や魅力の情報発信とともに、連携事業を周知し、エリアとしての価値を高めていく。

重点的に行う事業（再掲）

事業			事業主体					事業期間	
事業名/概要			上三川町	専門機関	関係団体	所有者・管理者	地域住民	前期 R7～12	後期 R13～17
文化財の適切な保存と維持管理の実施									
	①-8【重】	保存活用計画の作成	○	△	△			R8～11	
多様な媒体による文化財情報や魅力の発信									
	②-7【重】	文化財に関する情報発信	○		△		△	～継続	～R17
	②-8【重】	上神主・茂原官衙遺跡の情報発信	○		○			～継続	～R17
多様な主体との連携体制の構築									
	③-6【重】	関係自治体との連携事業	○		○		○	～継続	～R17
	③-7【重】	文化財の保存・活用ネットワークの確立	○		○			～継続	～R17

第６章 文化財の保存・活用の推進体制

１ 文化財の保存・活用の推進体制

（１）上三川町の体制

上三川町における文化財保護行政は、上三川町教育委員会事務局生涯学習課が所管し、庁内関係各課と連携して文化財の保存・活用を進めていく。また、教育委員会の附属機関として設置している上三川町文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存・活用に関する重要事項について調査審議する。

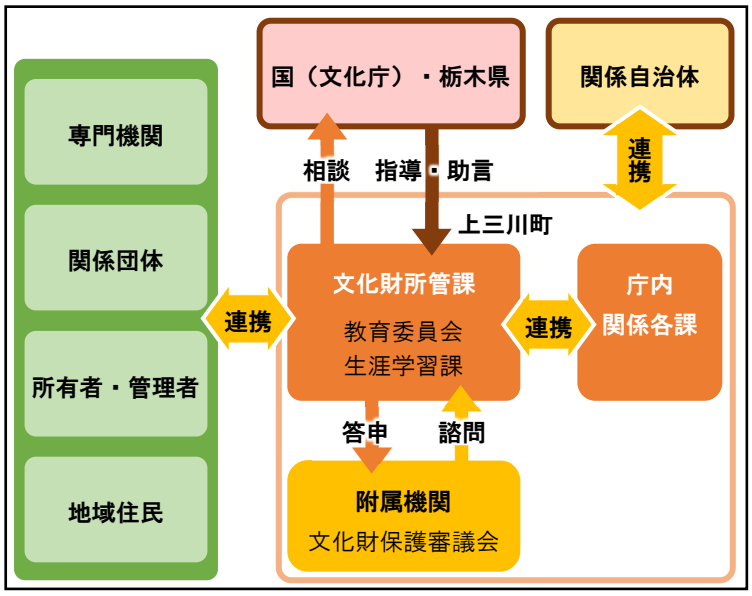
上三川町の体制

主体				地域計画における主な役割
・上三川町文化財所管課				
	教育委員会	生涯学習課	文化係 【職員数】専門職員３名 うち学芸員２名（専門：考古学、歴史学）、文化財調査員１名	・文化芸術の振興 ・文化財の調査・指定・保存・活用
		附属機関	文化財保護審議会 ※上三川町文化財保護条例第 42 条に基づき設置	・文化財の保存及び活用に関する重要事項の調査審議
・庁内関係各課				
	教育委員会	教育総務課		・文化財の学校教育への活用
		公立学校		・文化財の学校教育への活用
	町長部局	総務課		・文化財の防災
		企画課		・地方創生事業 ・文化財の広報
		地域生活課		・文化財の防犯
		農政課		・農村振興（文化的景観など）
		商工課		・商業・観光（文化財を活用した観光振興など）
		都市建設課		・都市公園（上三川城址公園など）、農村公園に関すること ・市街地整備に関すること
	農業委員会	農業委員会事務局		・農村振興（文化的景観など）
	公営企業	上下水道課		・埋蔵文化財包蔵地内における上下水道設備の設置・維持管理等

（２）多様な主体との連携

① 文化財の保存・活用の推進体制

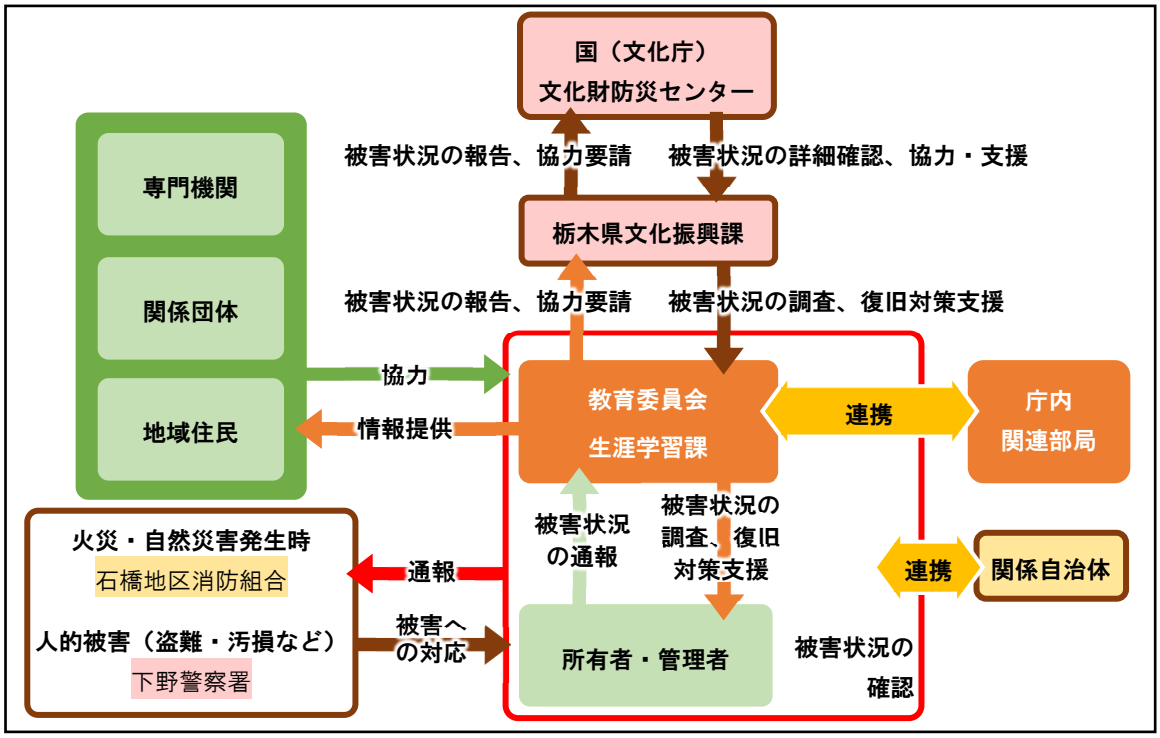
本町の文化財の保存・活用は、国（文化庁）・栃木県の指導助言を受けながら推進する。また、共通する歴史文化の背景を持つ下野市や壬生町、宇都宮市などの関係自治体、大学などの専門機関、ボランティア団体や商工・観光に活用する民間団体などの関係団体、文化財の所有者・管理者、そして地域住民が町内の文化財の保存・活用に携わっている。こうした多様な主体との連携を強化し、互いの取組みをより効果的に実施できるようにする。



文化財の保存・活用の推進体制

② 防災・防犯の体制

文化財の防災・防犯のため、平時から文化財所有者・管理者や、庁内関連部局との情報共有を図り、文化財に異変がないか、見守りを行う。また、災害発生時や人的被害を受けた時の連絡体制を整える。非常時には、栃木県を通じて国（文化庁）や文化財防災センターに被害状況の報告、協力要請を行う。また、所有者・管理者、関連自治体、専門機関、関係団体、地域住民と連携して対応する。



文化財の防災・防犯の連絡体制イメージ

（３）各主体の役割

以下に、本町及び連携していく多様な主体である国（文化庁）・栃木県、関係自治体、専門機関、関係団体、所有者・管理者、地域住民と、それぞれに求める、本地域計画における主な役割を示す。

連携していく多様な主体

主体	地域計画における主な役割
・国・栃木県	
（独）国立文化財機構　文化財防災センター	・文化財の防災
栃木県生活文化スポーツ部　文化振興課	・文化財の保存・活用における指導・助言、情報提供
（公財）とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター	・埋蔵文化財の保護、調査研究
栃木県立博物館	・歴史文化や自然に関する資料の収集・保存、調査研究、教育普及
下野警察署	・文化財の防犯 ・埋蔵文化財・鉄砲刀剣類の届
・関係自治体	
下野市・上三川町・壬生町文化財連携事務研究会	・広域的な歴史文化の特徴を活かした文化財の保存・活用における連携、情報交換、文化交流
宇都宮市	・上神主・茂原官衙遺跡をはじめとする、共通する歴史文化の特徴を活かした文化財の保存・活用
石橋地区消防組合	・文化財の防災
近隣自治体	・災害発生時の文化財の現状把握、復旧等への協力
茨城県大洗町（友好都市協定、災害対策支援協力に関する覚書）	・文化交流、災害対策支援協力
・専門機関	
宇都宮大学（相互友好協力協定）、栃木県考古学会、栃木県建築士会　など	・文化財の調査への協力 ・文化財の保存・活用の関する助言
とちぎ歴史資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）	・災害発生時の史料レスキュー
・関係団体	
文化財保護ボランティア団体連絡協議会、上三川町商工会、観光協会、上三川町文化財研究会、上神主・茂原官衙遺跡振興会　など	・官民連携の文化財の保存・活用
・所有者・管理者	
文化財を所有（管理）する個人や社寺、継承団体など	・文化財の適切な管理（防災・防犯） ・文化財の公開や活用への協力
・地域住民	
上三川町や周辺地域で生活する人々	・文化財の保存・活用に関する取組みへの参加、活動への協力

巻末資料

1 計画作成の実施体制と経過

（1）計画作成の実施体制

地域計画作成に際して、文化財保護法第 183 条の９に基づき、「上三川町文化財保存活用地域計画協議会」を組織した。上三川町教育委員会が事務局となって地域計画の素案を作成し、上三川町文化財保存活用地域計画協議会や上三川町文化財保護審議会からの意見聴取を行い、計画案を作成した。

上三川町文化財保存活用地域計画協議会のメンバー

委員			所属
1	委員長	梁木　誠	栃木県考古学会　顧問
2	副委員長	櫻井　澄子	栃木県建築士会　理事
3		中三川　渉	上三川町文化財保護審議会　代表
4		野澤　充	上三川町文化財研究会　会長
5		津野田　守	上神主・茂原官衙遺跡振興会　会長
6		佐藤　秀彦（～R7. 3） 平塚　昭仁（R7. 4～）	上三川町立小中学校長会　代表
7		齋藤　恒夫	栃木県生活文化スポーツ部　文化振興課
8		荒井　啓汰	栃木県立博物館　学芸部　人文課
9		稲垣　信	上三川町商工会　事務局長
10		神永　理（～R7. 3） 鈴木　伸司（R7. 4～）	上三川町都市建設課長
11		川島　勝也（～R6. 3） 猪瀬　保夫（R6. 4～）	上三川町上下水道課長
12		保坂　武志	上三川町商工課長
13		深谷　昇	上三川町教育委員会事務局生涯学習課長
以下、事務局			
1		川島　直人（～R6. 3） 小川　理恵（R6. 4～）	上三川町教育委員会事務局生涯学習課長補佐
2		大島　孝博	上三川町教育委員会事務局生涯学習課文化係長
3		鈴木　英美	上三川町教育委員会事務局生涯学習課文化係主事

上三川町文化財保護審議会委員

役職		委員	専門分野
1	学識経験のある者	日向野　昇	郷土史
2	〃	上野　多栄子	芸能
3	〃	佐藤　秀彦（～R7. 3） 平塚　昭仁（R7. 4～）	教育
4	〃	猪瀬　幸子	彫刻
5	〃	中三川　渉	考古学
6	〃	小松　俊雄	民俗学

※任期：令和 5（2023）年 6 月 25 日から令和 7（2025）年 6 月 24 日まで

（２）計画作成の経過

計画案作成のため、上三川町文化財保存活用地域計画協議会や上三川町文化財保護審議会を開催し、パブリックコメントを経て、「上三川町文化財保存活用地域計画」を決定した。また、文化庁の指導・助言を得ながら、認定の申請を行った。

また、町民の意見を聞くため、令和５(2023)年度にアンケート調査を実施し、令和６(2024)年度にはワークショップを行った。

計画作成の経過

実施日			実施内容
令和５年度	R5（2023）	11 月 22 日	第１回上三川町文化財保存活用地域計画協議会
	R6（2024）	12 月 15 日 ～1 月 26 日	「上三川町の文化財に関する町民意識のアンケート」の実施
		1 月 25 日	文化庁協議（京都）
		2 月 27 日	第２回上三川町文化財保存活用地域計画協議会
		3 月 26 日	上三川町文化財保護審議会
令和６年度		6 月 26 日	第３回上三川町文化財保存活用地域計画協議会
		7 月 25 日	【１回目】ワークショップ
		8 月 7 日	【２回目】ワークショップ
		9 月 12 日	文化庁協議（京都）
		10 月 1 日	第４回上三川町文化財保存活用地域計画協議会
		12 月 11 日 ～1 月 10 日	「上三川町文化財保存活用地域計画（案）」パブリックコメント
		12 月 24 日	上三川町文化財保護審議会
	R7（2025）	1 月 17 日	「上三川町文化財保存活用地域計画（案）」パブリックコメントの結果報告 ※上三川町ホームページにて
		1 月 28 日	定例教育委員会にて報告
		2 月 27 日 ～3 月 18 日	議会報告

2 文化財調査報告書リスト

（1）把握調査に関する報告書および台帳

類型・種別		調査名・刊行書名等	報告書等発行年	発行者/調査主体
文化財全般		『上三川町誌』	S50(1975)	上三川町
		『上三川町史 通史編 上巻/下巻』	S56(1981)	上三川町
		『上三川町史 資料編 原始・古代・中世/近世/近現代』	S54･55(1979･80)	上三川町
		『上三川町の文化財』	S60(1985)	上三川町
有形文化財	建造物	近世社寺建築緊急調査「栃木県近世社寺緊急調査報告書」	S53(1978)	栃木県
		栃木県民家緊急調査「栃木県の民家ー民家緊急調査報告書ー」	S57(1982)	栃木県
		近代化遺産（建造物等）総合調査「栃木県の近代化遺産ー栃木県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書ー」	H15(2003)	栃木県
		栃木県近代和風建築総合調査「栃木県の近代和風建築ー栃木県近代和風建築総合調査報告書ー」	H30(2018)	栃木県
	美術工芸品	「十二神将像」（町作成リスト）	H23(2011)	上三川町
		「栃木県史料所在目録」第７集 河内郡２（上三川町・南河内町）	S52(1977)	栃木県
		「上三川町古文書一覧」（町作成リスト）	H27(2015)	上三川町
		「中世城館調査」（町作成リスト）	H14(2002)	上三川町
		「収蔵庫台帳」（町作成リスト）	H23(2011)	上三川町
		「絵図面一覧」（町作成リスト）	H15(2003)	上三川町
無形文化財		栃木県諸職関係民俗文化財調査「栃木県の職人ー栃木県諸職関係民俗文化財調査報告書ー」	H1(1989)	栃木県
民俗文化財	有形の民俗文化財	『上三川町の野仏』 ※調査成果は主に石造物だが、工芸品や歴史資料も含む	S58(1983)	上三川町
		「石仏台帳」（町作成リスト）	R2(2020)	上三川町
		「民俗資料台帳」（町作成リスト）	H23(2011)	上三川町
		「神輿アンケート集計」（町作成リスト）	H21(2009)	上三川町
	無形の民俗文化財	栃木県民謡緊急調査「栃木県の民謡ー民謡緊急調査報告書」	S58(1983)	栃木県
		下野の水車習俗調査「無形の民俗資料記録「下野の水車習俗」」	H5(1993)	栃木県
		『上三川町の伝説と民話』	S46(1971)	上三川町文化財研究会
		『上三川町の伝説と民話 続編』	S51(1976)	上三川町文化財研究会
		栃木県民俗芸能緊急調査 「栃木県の民俗芸能ー栃木県民俗芸能緊急調査報告書ー」	H10(1998)	栃木県
		とちぎの食文化調査研究発信事業「シモツカレ調査報告書」	R5(2023)	栃木県
		栃木県祭り・行事調査 「栃木県の祭り・行事ー栃木県祭り・行事調査報告書ー」	H13(2001)	栃木県

類型・種別		調査名・刊行書名等	報告書等発行年	発行者/調査主体
記念物	遺跡	栃木県埋蔵文化財包蔵地調査 『栃木県埋蔵文化財地図』『上三川町遺跡台帳（暫定版）』	H9(1997)	栃木県
		上三川町遺跡分布調査『上三川町遺跡分布地図』	R3(2021)	上三川町
		栃木県重要遺跡基本調査（第一期） 「栃木県重要遺跡基本資料整備事業調査報告書」	S57(1982)	栃木県
		栃木県重要遺跡基本調査（第二期） 「栃木県重要遺跡基本資料整備事業調査報告書 」	S61(1986)	栃木県
		栃木県重要遺跡現況確認調査 「栃木県重要遺跡現況確認調査報告書」	H27(2015)	栃木県
		栃木県中世城館跡分布調査「栃木県の中世城館跡」	S57(1982)	栃木県
		「神社等台帳」（町作成台帳）	R2(2020)	上三川町
		歴史の道調査（第一期） 「栃木県の歴史の道調査報告書第一集 日光道中 日光道中壬生通り 関宿通り多功道」	H20(2008)	栃木県
	動物、植物、地質鉱物	上三川町名木古木「名木古木一覧」（町作成リスト）	H8･19 (1996･2007)	上三川町
		栃木県立博物館研究紀要 自然(37) 「上三川町磯川緑地公園の動植物」	R2(2020)	栃木県立博物館友の会
		『栃木県版レッドリスト（第４次／2023 年版）』	R5(2023)	栃木県
その他		『上三川町の地名調査』	H18(2006)	上三川町文化財研究会

（２）埋蔵文化財調査報告書

No.	集	報告書名	旧石器	縄文	弥生	古墳	古代	中世	近世	調査期間	発行年
1	1	西赤堀遺跡	—	—	—	—	●	—	—	S48(1973)年 10～11 月	S51(1976)
2	2	多功廃寺跡	—	—	—	—	●	—	—	S54(1979)年 9 月	S55(1980)
3	3	島田遺跡Ⅰ	—	●	—	—	●	—	—	S57(1982)年 3～5 月	S59(1984)
4	4	多功南原遺跡	—	—	—	—	●	—	—	S48(1973)年 8 月～S54(1979)年 8 月	S61(1986)
5	5	大町遺跡	●	●	●	●	●	●	—	S57(1982)年 10 月～S58(1983)年 3 月	S60(1985)
6	6	西赤堀狐塚古墳	—	—	—	●	—	—	—	S61(1986)年 3～4 月	S62(1987)
7	7	薄市遺跡・大山遺跡	●	●	●	●	●	—	—	S58(1983)年 5～10 月 S57(1982)年 4～5 月	S63(1988)
8	8	八龍塚古墳	—	—	—	●	—	—	—	S58(1983)年 5 月	H1(1989)
9	9	島田遺跡Ⅱ	●	●	—	—	●	—	—	S57(1982)年 5 月～S60(1985)年 5 月	H3(1991)
10	10	上ノ原・向原南遺跡	—	●	●	●	●	—	—	H1(1989)年 11 月～H2(1990)年 4 月	H4(1992)
11	11	多功遺跡Ⅱ	—	—	—	●	●	—	—	S61(1986)年 4 月～H4(1992)年 3 月	H5(1993)
12	12	上神主浅間神社古墳・多功大塚山古墳	—	●	—	●	●	—	—	H3(1991)年 7～8 月 H4(1992)年 2～3 月	H6(1994)
13	13	殿山遺跡	●	●	●	●	—	—	—	H2(1990)年 4 月～H3(1991)年 6 月	H7(1995)
14	14	上神主狐塚古墳	—	—	—	●	●	—	—	H5(1993)年 7 月～9 月	H7(1995)
15	16	多功遺跡Ⅲ	—	—	●	●	●	●	—	H4(1992)年 2 月～H8(1996)年 4 月	H9(1997)
16	17	後志部古墳	—	●	—	●	●	—	—	H6(1994)年 7～8 月	H10(1998)
17	18	坂上北原遺跡	—	—	—	●	●	—	—	H9(1997)年 3～8 月	H10(1998)
18	19	上神主・茂原遺跡Ⅰ	—	—	—	●	●	—	—	H7(1995)年 9 月～H10(1998)年 3 月	H11(1999)
19	20	五分一上野原遺跡	—	●	●	●	●	—	—	H9(1997)年 12 月～H10(1998)年 8 月	H11(1999)
20	21	上三川の古墳Ⅰ	—	●	—	●	—	—	—	S55(1980)年1月～H6(1994)年1月	H12(2000)
21	22	向原遺跡	—	●	●	●	●	—	—	H10(1998)年 5～9 月	H12(2000)
22	23	北原東遺跡	—	●	●	—	●	●	—	H11(1999)年 5～7 月	H12(2000)
23	24	坂上北原遺跡	—	●	—	●	●	●	—	H11(1999)年 11～12 月	H12(2000)
24	25	八幡前１号墳	—	—	—	●	—	—	—	H2(1990)年 1～2 月	H13(2001)
25	27	上神主・茂原官衙遺跡	—	—	—	●	●	—	—	H3(1991)年 9 月～H15(2003)年 1 月	H15(2003)
26	28	島田遺跡Ⅲ	—	●	—	—	—	—	—	S61(1986)年 9 月～H5(1993)年 12 月	H16(2004)
27	29	磯岡遺跡	—	—	—	●	●	—	—	H15(2003)年 12 月～H16(2004)年 1 月	H16(2004)

No.	集	報告書名	旧石器	縄文	弥生	古墳	古代	中世	近世	調査期間	発行年
28	30	西赤堀狐塚古墳 第２次調査報告	—	—	—	●	—	—	—	H15(2003)年 10～12 月	H17(2005)
29	31	島田遺跡Ⅳ	—	—	—	●	●	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H17(2005)
30	32	磯岡遺跡第２次調査報告	—	—	—	●	●	—	—	H17(2005)年 6 月	H17(2005)
31	33	島田遺跡Ⅴ	—	●	—	—	—	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H18(2006)
32	34	島田遺跡Ⅵ	●	●	—	—	—	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H19(2007)
33	35	島田遺跡Ⅶ	—	—	—	●	●	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H22(2010)
34	36	島田遺跡Ⅷ	—	—	—	●	●	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H25(2013)
35	37	上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ	—	—	—	●	●	—	—	H18(2006)年 10 月 ～H25(2013)年 12 月	H27(2015)
36	38	坂上北原遺跡 （東プレ地区）Ⅱ	—	—	—	●	—	—	—	H27(2015)年 10 月 ～H28(2016)年 3 月	H29(2017)
37	39	新出遺跡（第２次調査）	—	—	—	●	●	●	—	H29(2017)年 1 月 ～H29(2017)年 2 月	H29(2017)
38	40	島田遺跡Ⅸ	—	—	—	●	●	—	—	S61(1986)年 9 月 ～H5(1993)年 12 月	H31(2019)
39	-	上三川町遺跡分布地図	—	—	—	—	—	—	—	H30(2018)年度 ～R2(2020)年度	R3(2021)
40	41	坂上北原古墳群	—	—	—	●	—	—	—	R3(2021)年 12 月 ～R4(2022)年 2 月	R4(2022)
41	42	坂上古墳群	—	—	—	●	—	—	—	試掘 R3(2021)年 1 月 31 日 本調査 R3(2021)年 1 月～12 月	R5(2023)
42	43	多功城跡	—	—	—	—	●	●	—	R4(2022)年 7～ 9 月	R5(2023)
43	44	上神主・茂原官衙遺跡Ⅲ －瓦編－	—	—	—	●	●	—	—	R6(2024)年 3 月 31 日	R6(2024)

3 文化財リスト

（1）指定等文化財

番号	（指定）名称	指定年月日	類型	種別	所在地	所有・管理者
国指定 1	上神主･茂原官衙遺跡	H15(2003)年 8 月 27 日	記念物	史跡	大字上神主ほか	上三川町･宇都宮市
国指定 2	栃木県上神主･茂原官衙遺跡出土刻書瓦	R6(2024)年 8 月 27 日	有形文化財	美術工芸品	宇都宮市	上三川町･宇都宮市
県指定 1	木造阿弥陀如来坐像	S42(1967)年 4 月 7 日	有形文化財	美術工芸品	大字東汗	満願寺
県指定 2	木造十一面観音菩薩坐像	H2(1990)年 1 月 26 日	有形文化財	美術工芸品	しらさぎ	長泉寺
県指定 3	普門寺のお葉付き･ラッパ･斑入りイチョウ	H20(2008)年 2 月 1 日	記念物	天然記念物	大字上三川	普門寺
町指定 1	長泉寺のコウヤマキ	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	天然記念物	しらさぎ	長泉寺
町指定 2	満願寺のカヤ	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	天然記念物	大字東汗	満願寺
町指定 4	後志部古墳群	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字上神主	上神主自治会
町指定 5	坂上古墳群	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字坂上	坂上本田自治会
町指定 6	上郷瓢箪塚古墳	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字上郷	個人
町指定 7	愛宕神社古墳	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字上郷	愛宕神社
町指定 8	かぶと塚古墳石室	S43(1968)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字上三川	上三川町
町指定 9	多功城址	S46(1971)年 4 月 1 日	記念物	史跡	大字多功	個人
町指定 10	「農業自得」の原本と版木	S46(1971)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字下蒲生	個人
町指定 11	五段ばやし	S46(1971)年 4 月 1 日	民俗文化財	無形の民俗文化財	しらさぎ	個人
町指定 12	五段ばやし	S46(1971)年 4 月 1 日	民俗文化財	無形の民俗文化財	大字西蓼沼	個人
町指定 13	神楽（吉田流）	S46(1971)年 4 月 1 日	民俗文化財	無形の民俗文化財	大字上郷	上郷神社
町指定 14	神楽（吉田流）	S46(1971)年 4 月 1 日	民俗文化財	無形の民俗文化財	しらさぎ	白鷺神社
町指定 17	刀　兼則作	S46(1971)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字上三川	個人
町指定 20	多功廃寺址と礎石	S47(1972)年 12 月 1 日	記念物	史跡	天神町	天満宮
町指定 21	高靇神社古墳	S47(1972)年 12 月 1 日	記念物	史跡	大字西木代	高靇神社
町指定 22	天棚	S47(1972)年 12 月 1 日	民俗文化財	有形の民俗文化財	大字西木代	西木代自治会
町指定 23	薬師堂	S47(1972)年 12 月 1 日	有形文化財	建造物	大字西木代	西木代自治会
町指定 24	石幢	S47(1972)年 12 月 1 日	民俗文化財	有形の民俗文化財	大字西木代	西木代自治会
町指定 25	楼門	S47(1972)年 12 月 1 日	有形文化財	建造物	大字東汗	満願寺

※町指定文化財の番号は指定番号

番号	（指定）名称	指定年月日	類型	種別	所在地	所有・管理者
町指定 26	薬師堂	S47(1972)年 12 月 1 日	有形文化財	建造物	大字東汗	満願寺
町指定 27	薬師三尊像	S47(1972)年 12 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字東汗	満願寺
町指定 28	絵馬	S47(1972)年 12 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字東汗	満願寺
町指定 29	高靇神社のアカガシ	S47(1972)年 12 月 1 日	記念物	天然記念物	大字東汗	高靇神社
町指定 30	橋本新清流五段ばやし	S49(1974)年 11 月 5 日	民俗文化財	無形の民俗文化財	大字上郷	個人
町指定 31	野外石仏地蔵	S50(1975)年 3 月 10 日	有形文化財	美術工芸品	大字上三川	常光坊自治会
町指定 32	板碑	S50(1975)年 3 月 10 日	有形文化財	美術工芸品	大字大山	浄光寺
町指定 33	駕籠	S50(1975)年 3 月 10 日	有形文化財	美術工芸品	大字上三川	普門寺
町指定 34	上三川城主横田家累代の墓	S50(1975)年 3 月 10 日	記念物	史跡	大字上三川	善応寺
町指定 35	多功城主多功家累代の墓	S50(1975)年 3 月 10 日	記念物	史跡	大字多功	見性寺
町指定 37	鳥居	S50(1975)年 3 月 10 日	有形文化財	建造物	しらさぎ	白鷺神社
町指定 38	上郷のヒイラギ	S51(1976)年 4 月 2 日	記念物	天然記念物	大字上郷	個人
町指定 39	下蒲生のカヤ	S51(1976)年 4 月 2 日	記念物	天然記念物	大字下蒲生	個人
町指定 41	愛宕塚古墳石室	S51(1976)年 4 月 2 日	記念物	史跡	大字上三川	上三川町
町指定 42	上三川城主今泉家累代の墓	S51(1976)年 4 月 2 日	記念物	史跡	しらさぎ	長泉寺
町指定 43	満福寺のイチョウ	S59(1984)年 4 月 1 日	記念物	天然記念物	大字東蓼沼	満福寺
町指定 45	薬師如来坐像	S59(1984)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字多功	宝光院
町指定 46	板碑	S59(1984)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字多功	宝光院
町指定 47	川中子村年貢割付状	S59(1984)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字川中子	個人
町指定 48	釈迦如来坐像	H1(1989)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字上三川	善応寺
町指定 49	不動明王立像･天部立像	H1(1989)年 4 月 1 日	有形文化財	美術工芸品	大字東汗	満願寺
町指定 50	薬師如来立像	H7(1995)年 9 月 29 日	有形文化財	美術工芸品	大字大山	浄光寺
町指定 51	鰐口	H10(1998)年 7 月 27 日	有形文化財	美術工芸品	大字上郷	上郷神社
町指定 52	多功大塚山古墳	H10(1998)年 7 月 27 日	記念物	史跡	大字多功	個人
町指定 53	上神主狐塚古墳	H10(1998)年 7 月 27 日	記念物	史跡	大字上神主	個人
町指定 54	絹本著色　南無観世音菩薩像　荒井寛方　筆	H19(2007)年 10 月 30 日	有形文化財	美術工芸品	大字上三川	普門寺
町指定 55	旧上三川町道路元標	H19(2007)年 10 月 30 日	有形文化財	建造物	大字上三川	上三川町
国登 09-0139	生沼家住宅店舗及び主屋	H18(2006)年 3 月 2 日	有形文化財	建造物	大字上三川	上三川町
国登 09-0140	生沼家住宅土蔵	H18(2006)年 3 月 2 日	有形文化財	建造物	大字上三川	上三川町

※町指定文化財の番号は指定番号

（２）未指定文化財

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1	釈迦誕生仏	有形	美術工芸品	善応寺		江戸時代
2	菩薩頭部像	有形	美術工芸品	善応寺		鎌倉時代
3	不動明王坐像	有形	美術工芸品	不動堂(東館)		室町時代
4	不動明王像	有形	美術工芸品	満福寺		室町時代
5	大日如来坐像	有形	美術工芸品	満福寺		享保 19(1734)年
6	薬師如来坐像	有形	美術工芸品	満福寺		江戸時代
7	地蔵菩薩立像	有形	美術工芸品	観応寺		慶安 2(1649)年
8	釈迦如来坐像	有形	美術工芸品	観応寺		寛政 8(1796)年
9	薬師三尊像	有形	美術工芸品	延命院		宝永 3(1706)年
10	十二神将像	有形	美術工芸品	延命院		天保 13(1842)年
11	大日如来坐像	有形	美術工芸品	延命院		宝永 6(1709)年
12	如意輪観音坐像	有形	美術工芸品	上蒲生観音堂		天保 13(1842)年
13	阿弥陀如来坐像	有形	美術工芸品	不動堂		寛政元(1789)年
14	十一面観音立像	有形	美術工芸品	普門寺		元禄 3(1690)年
15	阿弥陀如来坐像	有形	美術工芸品	普門寺		江戸時代前期
16	釈迦如来坐像	有形	美術工芸品	普門寺		正徳 2(1712)年
17	神像	有形	美術工芸品	普門寺		天保 8(1837)年
18	地蔵菩薩坐像	有形	美術工芸品	下多功自治会		江戸時代中期
19	薬師三尊像	有形	美術工芸品	田村家薬師堂		元禄 16(1703)年
20	阿弥陀如来坐像	有形	美術工芸品	正清寺		江戸時代中期
21	薬師三尊像	有形	美術工芸品	薬師堂		江戸時代中期
22	十二神将像	有形	美術工芸品	薬師堂		江戸時代中期
23	大日如来像	有形	美術工芸品	大日堂		明治 19(1886)年
24	聖観音菩薩像	有形	美術工芸品	見性寺		江戸時代中期
25	文殊･普賢菩薩立像	有形	美術工芸品	見性寺		
26	阿弥陀如来像	有形	美術工芸品	阿弥陀堂(三村)		正保 4(1647)年
27	十二神将像	有形	美術工芸品	浄光寺		文政 11(1828)年
28	検地絵図面(上蒲生村、石田村、橋本村、西蓼沼村入会秣場争論)	有形	美術工芸品		個人	元禄 11(1698)年
29	上蒲生村大野山林持地図	有形	美術工芸品		個人	安永 3(1774)年
30	御新田村十三塚絵図面	有形	美術工芸品		個人	延享 3(1746)年
31	上蒲生村上三川村川中子村入会地論争の墨引絵図面	有形	美術工芸品		個人	天和 2(1682)年
32	上蒲生村原地新田御分見下図面	有形	美術工芸品		個人	明和 8(1771)年
33	田方麁絵図	有形	美術工芸品		個人	天明 8(1788)年
34	江戸絵図	有形	美術工芸品		個人	文化 6(1809)年
35	切絵図(天保 11 年、下蒲生村地図2枚、外)	有形	美術工芸品		個人	天保 11(1840)年
36	絵図面(検地のため作成、中村、下町二組外)	有形	美術工芸品		個人	延享 3(1746)年
37	江戸絵図	有形	美術工芸品		個人	文政 9(1826)年
38	絵図面(三本木村、鬼怒川西)	有形	美術工芸品		個人	文政 9(1826)年
39	新四国八十八ヶ所道案絵図	有形	美術工芸品		個人	弘化 3(1846)年

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
40	上郷村三軒在家村絵図(検地の際、調製)	有形	美術工芸品		個人	元禄 7(1694)年
41	多功宿書上図面(願主、名主藤右衛門)	有形	美術工芸品			文化 2(1805)年
42	麦田面取麁絵図(八十郎)	有形	美術工芸品			寛政 11(1799)年
43	名主役屋敷図面(三知行所名主、諏訪弁之進役人宛)	有形	美術工芸品			寛政 3(1791)年
44	宿内各戸屋構絵図面	有形	美術工芸品			文久 1(1861)年
45	宿内各戸屋構絵図面	有形	美術工芸品			文久 1(1861)年
46	多功村南原麁絵図面(彩色)	有形	美術工芸品			文久 1(1861)年
47	多功村内各戸絵図面	有形	美術工芸品			文久 1(1861)年
48	多功宿絵図面	有形	美術工芸品			天保 3(1832)年
49	多功宿絵図面	有形	美術工芸品			寛政 8(1796)年
50	多功宿上原麁絵図	有形	美術工芸品			文久 1(1861)年
51	多功、石橋宿付近荒絵図	有形	美術工芸品			延享 3(1746)年
52	石橋宿、多功村北の原秣場三ヶ所荒絵図	有形	美術工芸品			寛保 2(1742)年
53	絵図面(野永場、原地、田川筋、川中子村外)	有形	美術工芸品			安永 3(1774)年
54	江戸絵図面(切絵図、江戸、山城屋平助版)	有形	美術工芸品			安政 3(1856)年
55	訂正関八州絵図面	有形	美術工芸品			安政 3(1856)年
56	上神主村墓所並図面	有形	美術工芸品			安政 2(1855)年
57	阿弥陀如来 板碑	有形	美術工芸品	満福寺		
58	釈迦如来 板碑	有形	美術工芸品	満福寺		
59	阿弥陀如来 板碑	有形	美術工芸品	浄光寺		
60	阿弥陀如来 板碑	有形	美術工芸品	浄光寺		
61	名号 板碑	有形	美術工芸品	浄光寺		
62	阿弥陀如来 板碑	有形	美術工芸品	下蒲生	個人	
63	阿弥陀如来 板碑	有形	美術工芸品	下蒲生	個人	
64	板碑	有形	美術工芸品	長泉寺		
65	板碑	有形	美術工芸品	長泉寺		
66	板碑	有形	美術工芸品	長泉寺		
67	名号	有形	美術工芸品		上三川町	
68	板碑	有形	美術工芸品		上三川町	
69	板碑	有形	美術工芸品		上三川町	
70	板碑	有形	美術工芸品	川中子	個人	
71	板碑	有形	美術工芸品	川中子	個人	
72	大日如来 板碑	有形	美術工芸品	梁	個人	
73	板碑	有形	美術工芸品	梁	個人	
74	上神主・茂原官衙遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳・奈良平安
75	島田遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	旧石器・縄文・古墳・奈良平安
76	殿山遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	弥生～奈良平安
77	多功遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	弥生～中世
78	多功南原遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳・奈良平安

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
79	西赤堀狐塚古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
80	仏沼遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	旧石器・縄文・古墳・奈良平安
81	向原南遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	
82	上ノ原遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	弥生
83	五分一上野原遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	縄文・古墳、奈良平安
84	坂上北原遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	縄文～奈良平安
85	向原遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	縄文～奈良平安
86	北原東遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	
87	磯岡遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳・奈良平安
88	後志部古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
89	八幡前1号墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
90	大野遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
91	浅間神社古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
92	上蒲生遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	
93	願成寺遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
94	西赤堀遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳・奈良平安
95	大町遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
96	八龍塚古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
97	薄市遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	旧石器・縄文～奈良平安
98	多功大塚山古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
99	新出遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳・奈良平安
100	大山遺跡出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	弥生
101	上神主狐塚古墳出土遺物	有形	美術工芸品	文化財収蔵庫	上三川町	古墳
102	猪瀬(親)家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
103	猪瀬(金)家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
104	今井家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
105	岡田家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
106	国府田家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
107	桜井家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
108	普門寺文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
109	萩原家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
110	馬場家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
111	柳田家(毅)文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
112	柳田家(守)文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
113	柳田家(寅)文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
114	長泉寺文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
115	鯨家文書	有形	美術工芸品	上三川	個人	
116	猪瀬(長)家文書	有形	美術工芸品	上蒲生	個人	
117	猪瀬(好)家文書	有形	美術工芸品	上蒲生	個人	
118	上野家(正)文書	有形	美術工芸品	上蒲生	個人	
119	隅内家文書	有形	美術工芸品	上蒲生	個人	
120	秋山家文書	有形	美術工芸品	下蒲生	個人	
121	田村家(吉)文書	有形	美術工芸品	下蒲生	個人	
122	猪瀬(盛)家文書	有形	美術工芸品	三村	個人	

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
123	杉山家文書	有形	美術工芸品	三村	個人	
124	野口家文書	有形	美術工芸品	五分一	個人	
125	上野家(隆)文書	有形	美術工芸品	五分一	個人	
126	上野家(政)文書	有形	美術工芸品	坂上	個人	
127	川島家文書	有形	美術工芸品	坂上	個人	
128	黒須家(惣)文書	有形	美術工芸品	三本木	個人	
129	田村家(衛)文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
130	仁平(荘)家文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
131	仁平(周)家文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
132	浜野(正)家文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
133	浜野(照)家文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
134	森野家文書	有形	美術工芸品	上郷	個人	
135	安保家文書	有形	美術工芸品	西蓼沼	個人	
136	上野家(金)文書	有形	美術工芸品	西蓼沼	個人	
137	黒須家(藤)文書	有形	美術工芸品	西蓼沼	個人	
138	小川家文書	有形	美術工芸品	東蓼沼	個人	
139	黒須家(史)文書	有形	美術工芸品	東蓼沼	個人	
140	満福寺文書	有形	美術工芸品	東蓼沼	個人	
141	藤田家文書	有形	美術工芸品	東蓼沼	個人	
142	高田家文書	有形	美術工芸品	東汗	個人	
143	満願寺文書	有形	美術工芸品	東汗	個人	
144	石崎(巽)家文書	有形	美術工芸品	上文挟	個人	
145	中村家文書	有形	美術工芸品	上文挟	個人	
146	木代家文書	有形	美術工芸品	西木代	個人	
147	田村家(勝)文書	有形	美術工芸品	西木代	個人	
148	石浜家文書	有形	美術工芸品	西汗	個人	
149	坂入家文書	有形	美術工芸品	磯岡	個人	
150	川俣家文書	有形	美術工芸品	大山	個人	
151	森家文書	有形	美術工芸品	大山	個人	
152	小菅家文書	有形	美術工芸品	多功	個人	
153	見性寺文書	有形	美術工芸品	多功	個人	
154	高木家文書	有形	美術工芸品	多功	個人	
155	石崎(夕)家文書	有形	美術工芸品	多功	個人	
156	伊沢家文書	有形	美術工芸品	梁	個人	
157	落合家文書	有形	美術工芸品	川中子	個人	
158	稲見(道)家文書	有形	美術工芸品	川中子	個人	
159	稲葉家文書	有形	美術工芸品	下神主	個人	
160	富山家文書	有形	美術工芸品	上神主	個人	
161	稲見(喜)家文書	有形	美術工芸品	石田	個人	
162	感応寺文書	有形	美術工芸品	石田	個人	
163	柳田(寿)家文書	有形	美術工芸品	石田	個人	
164	生沼家所蔵文書	有形	美術工芸品		上三川町	近現代
165	普門品一巻	有形	美術工芸品		上三川町	正徳2年
166	上三川教會規約	有形	美術工芸品		上三川町	
167	明治二十壱年ヨリ改正村内世話人簿	有形	美術工芸品		上三川町	明治 21 年

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
168	五月女勝彦氏寄贈文書	有形	美術工芸品		上三川町	明治
169	磯川湿原植物標本	記念物	動物、植物、地質鉱物		上三川町	昭和 44 年度
170	天衣のない仁王さま	民俗	無形民俗			
171	雨請い･厄除け権現	民俗	無形民俗			
172	かっつあ堂の見返り榧	民俗	無形民俗			
173	仏沼と蓼沼不動の由来	民俗	無形民俗			
174	小里の勝善神	民俗	無形民俗			
175	雨乞い地蔵	民俗	無形民俗			
176	伝説･普門寺のお葉つき銀杏	民俗	無形民俗			
177	伝説･八龍山	民俗	無形民俗			
178	伝説･和尚塚	民俗	無形民俗			
179	天狗の宿り木	民俗	無形民俗			
180	上三川城の最期	民俗	無形民俗			
181	小松ヶ渕	民俗	無形民俗			
182	井戸川の伝説	民俗	無形民俗			
183	上三川の七木七水七河原	民俗	無形民俗			
184	首切り地蔵尊	民俗	無形民俗			
185	狐塚の由来	民俗	無形民俗			
186	引地地蔵の由来	民俗	無形民俗			
187	鼠観音の伝説と由来	民俗	無形民俗			
188	神主の地名由来	民俗	無形民俗			
189	梁の五木三水	民俗	無形民俗			
190	多功不動尊の金明水	民俗	無形民俗			
191	甲神社と星宮神社の桜	民俗	無形民俗			
192	夫婦松の由来	民俗	無形民俗	本郷地区		
193	源頼家とその愛馬	民俗	無形民俗	本郷地区		
194	三軒在家の河岸	民俗	無形民俗	本郷地区		
195	成田山参りをしない人々	民俗	無形民俗	本郷地区		
196	隠家と三人の侍	民俗	無形民俗	本郷地区		
197	史実三人の侍	民俗	無形民俗	本郷地区		
198	おだん狐	民俗	無形民俗	本郷地区		
199	古屋敷とぼなり石	民俗	無形民俗	本郷地区		
200	菅原道真と天神さま	民俗	無形民俗	明治地区		
201	多功城とその末裔	民俗	無形民俗	明治地区		
202	五月五日「柏餅」を作らない多功部落	民俗	無形民俗	明治地区		
203	伊沢家「永代の松」	民俗	無形民俗	明治地区		
204	美女弁天	民俗	無形民俗	明治地区		
205	帯かけの松	民俗	無形民俗	明治地区		
206	浄光寺の「時宗板碑」	民俗	無形民俗	明治地区		
207	二本松物語	民俗	無形民俗	明治地区		
208	厄除け御輿	民俗	無形民俗	上三川地区		
209	彦六渕の由来	民俗	無形民俗	上三川地区		
210	小さな民話	民俗	無形民俗	上三川地区		
211	珍しい穴くぐりのお祭り	民俗	無形民俗	上三川地区		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
212	常光坊の由来	民俗	無形民俗	上三川地区		
213	長泉寺の燃えない柱	民俗	無形民俗	上三川地区		
214	異説首切り地蔵	民俗	無形民俗	上三川地区		
215	位牌田	民俗	無形民俗	上三川地区		
216	怪談曲り松	民俗	無形民俗	上三川地区		
217	拝領の金毘羅様	民俗	無形民俗	上三川地区		
218	駒塚、駒橋とかぶと塚	民俗	無形民俗	上三川地区		
219	茶止場石	民俗	無形民俗	上三川地区		
220	常光坊のお地蔵さん	民俗	無形民俗	上三川地区		
221	普化寺院「長福寺」所在地	民俗	無形民俗	上三川地区		
222	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		
223	青面金剛塔	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		
224	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		(年不明)八月吉日
225	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		
226	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		明和六丑□月日
227	馬力神	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		昭和三年旧七月十日
228	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字願成寺		
229	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上蒲生字三反田		昭和拾年三月
230	馬力神	民俗	有形民俗	上蒲生字地蔵堂		
231	青面金剛塔	民俗	有形民俗	上蒲生字十三塚		
232	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字十三塚		
233	馬力神	民俗	有形民俗	上蒲生字十三塚		
234	馬力神	民俗	有形民俗	上蒲生字隅ノ内		昭和四年二月初午
235	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上蒲生字鶴巻		
236	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字鶴巻		
237	馬頭観音像	民俗	有形民俗	上蒲生字鶴巻		
238	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上蒲生字鶴巻		明治廿八年四月十八日 高橋□□
239	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字前田		
240	青面金剛塔	民俗	有形民俗	上蒲生字前田		
241	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上蒲生字前田		
242	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生字前田		安永七戊戌年四月
243	猿田彦大神	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		昭和五十二年二月吉日
244	その他石造物	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		
245	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		
246	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		嘉永五壬子年十一月九日
247	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		
248	二十六夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		文化十癸酉年二月吉祥日
249	青面金剛像	民俗	有形民俗	上蒲生字柳内		
250	青面金剛像	民俗	有形民俗	上蒲生字宮ノ下前		正□戌□月吉□
251	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上蒲生字宮ノ下前		正徳未　十月二日
252	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生字宮ノ下前		嘉永六癸丑年二月
253	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上蒲生字宮ノ下前		
254	馬力神	民俗	有形民俗	上蒲生字宮ノ下前		昭和十四年三月
255	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上蒲生		蔓延元庚申年八月吉日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
256	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上蒲生		享保二戊年□□吉日
257	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
258	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
259	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		寛政十二申六月九日
260	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
261	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
262	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
263	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		元禄十四辛巳天四月五日
264	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		安永五丙申天五月十八日
265	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
266	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		宝永二乙酉天九月二十五日
267	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
268	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
269	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
270	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
271	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		文正〇六癸未天
272	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		安永二癸巳天三月十四日
273	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
274	庚申塔	民俗	有形民俗	上蒲生		
275	庚申塔	民俗	有形民俗	上蒲生		
276	庚申塔	民俗	有形民俗	上蒲生		文正文六未十□二十□
277	庚申塔	民俗	有形民俗	上蒲生		享保三戊戌年十一月吉日
278	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生		安政二年卯三月日
279	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生		嘉永六丑年十一月吉日
280	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生		安永五丙申十一月吉日
281	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生		嘉永七甲寅年十一月十九日
282	十九夜塔	民俗	有形民俗	上蒲生		嘉永七甲寅年十一月十九日
283	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
284	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		享保二丁未酉六月廿四日
285	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
286	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		□□□霜月拾九日
287	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
288	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
289	如意輪観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
290	聖観音	民俗	有形民俗	上蒲生		元禄十丁丑天八月八日
291	聖観音	民俗	有形民俗	上蒲生		
292	聖観音	民俗	有形民俗	上蒲生		寛文四天正月十三日
293	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上蒲生		正徳三癸巳歳六月八日
294	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上蒲生		元禄十二己卯年二月念九日
295	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上蒲生		宝永五戊子天八月九日
296	不動尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
297	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		享保八卯年十二月十三日
298	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		宝暦二壬申天三月初八日
299	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		
300	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		享保十二丁未年六月十八日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
301	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		文化十癸酉稔三月二十□日
302	無縫塔	民俗	有形民俗	上蒲生		寛保元辛酉天霜月二十七日
303	石塔	民俗	有形民俗	上蒲生		
304	石塔	民俗	有形民俗	上蒲生		元禄十三辰天三月廿九日
305	石塔	民俗	有形民俗	上蒲生		天明四甲辰稔十一月吉祥日
306	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
307	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
308	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		文久三亥年十一月吉日
309	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
310	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
311	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
312	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
313	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
314	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
315	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
316	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
317	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
318	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
319	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
320	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
321	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		文久三亥年十月吉日
322	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
323	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
324	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
325	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
326	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
327	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		文化十一年二月初午
328	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
329	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
330	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
331	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
332	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
333	祠	民俗	有形民俗	上蒲生		
334	手水鉢	民俗	有形民俗	上蒲生		安政三丙辰年十一月吉辰
335	馬頭観音像	民俗	有形民俗	上三川字相野田		天保八丁酉年二月吉日
336	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上三川字相野田		文化十五(年)三月吉日
337	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川字相野田		
338	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字相野田		
339	聖観音像	民俗	有形民俗	上三川字相野田		
340	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字井戸川		正徳元辛卯十月十九日
341	庚申塔	民俗	有形民俗	上三川字井戸川		大正十五年
342	その他石造物	民俗	有形民俗	上三川字井戸川		
343	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川字井戸川		
344	青面金剛像	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		宝暦三癸酉天十月吉祥日
345	庚申塔	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		天保八年丁酉　十月吉日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
346	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		慶應三丁卯年正月吉日
347	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		寛政六甲寅　十月十九日
348	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		
349	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		
350	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		□□二乙丑年十月十九日
351	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		文化十酉年十一月吉日
352	その他石造物	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		
353	道標	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		
354	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	上三川字常光坊		昭和二十六年旧正月十八日
355	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字中町		丙申天保七年十一月十九日
356	その他石造物	民俗	有形民俗	上三川字東館		昭和五十年六月八日
357	青面金剛像	民俗	有形民俗	上三川字東館		元禄十二己卯天□月
358	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川字東館		嘉永酉二年十月十九日
359	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上三川字東館		
360	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上三川字東館		延宝七年己未　二月廿四日
361	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上三川字東館		嘉永六天
362	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		昭和廿八年一月二十日
363	十六夜塔	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		元文二丁巳　二月十六日
364	青面金剛像	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		(寛)保三癸亥　十月十一日
365	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		
366	その他石造物	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		
367	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		
368	馬力神	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		昭和十一年十一月十日
369	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		明治三十七年四月
370	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上三川字三ツ家		昭和八年七月十日
371	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		享保五庚子天三月吉辰日
372	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
373	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
374	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
375	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		享保四己乙亥十二月七日
376	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
377	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
378	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
379	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		貞享四丁卯五月廿九日
380	地蔵尊	民俗	有形民俗			正徳四甲午十一月三日
381	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		延宝七己未天六月廿九日
382	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
383	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
384	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
385	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		貞享元甲子三月十三日
386	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		元文四己未年八月廿五日
387	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		寛延三年七月六日
388	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		宝暦二申正月十三日
389	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		寛保二壬戌天七月廿一日
390	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		寛保二戌天八月廿日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
391	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		元文二丁巳天三月廿五日
392	地蔵尊	民俗	有形民俗			元文三年十一月十七日
393	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
394	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
395	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
396	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
397	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
398	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		享保十三戊申六月九日
399	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
400	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
401	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		延宝六戊午年極月廿日
402	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
403	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
404	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		元禄十五壬午十一月十八日
405	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
406	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
407	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
408	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
409	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
410	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
411	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		正徳三癸巳天六月六日
412	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		寛保二戌□月廿四日
413	地蔵尊	民俗	有形民俗	上三川		
414	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上三川		弘化二己年
415	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上三川		天保十二年丑五月吉日
416	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上三川		
417	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上三川		安政三丙辰年四月廿四日
418	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上三川		文化二乙丑年四月大日
419	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		
420	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		延享二乙丑年十月十九日
421	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		嘉永七寅三月吉日
422	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		寛政十一己未天一月吉日
423	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		享保六辛丑十月十九日
424	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		天保七年丙申十一月廿九日
425	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		元禄二乙巳
426	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		
427	十九夜塔	民俗	有形民俗	上三川		寛政七卯歳十一月十九日
428	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川		文政□□□□
429	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上三川		十五□寅歳
430	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		
431	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		宝暦十一辛巳正月二十三日
432	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		延享二乙丑年五月九日
433	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		
434	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		元禄十四巳年一月十四日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
435	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		寛保元辛酉年十一月十四日
436	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		元禄十丁丑年二月四日
437	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		延享七庚午年二月廿三日
438	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		享保十四己酉年十月十七日
439	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		貞享元甲子天五月廿五日
440	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		
441	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		享保十二丁未年六月十三日
442	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		元禄九丙子天正月九日
443	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		
444	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		享保四亥十二月廿三日
445	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		元禄八亥七月七日
446	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		宝永元甲申天五月十三日
447	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		寛政六酉年五月初七日
448	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		宝暦十一巳天九月五日
449	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		
450	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		天保二辛卯年十一月吉日
451	如意輪観音	民俗	有形民俗	上三川		享保四亥十二月廿三日
452	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		元禄六癸酉天二月十六日
453	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		
454	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		
455	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		
456	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		宝永四丁亥年五月九日
457	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		延宝七己未天八月十一日
458	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		寛文三天癸卯十一月一日
459	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		延宝六戊午年三月七日
460	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		貞享元甲子年八月十八日
461	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		
462	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		延宝六午年九月四日
463	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		天和二壬戌年三月八日
464	聖観音	民俗	有形民俗	上三川		宝永元甲申七月十二日
465	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川		寛文六丙午年七月十五日施主
466	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川		元禄六癸酉天五月廿七日
467	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川		寛文七丁未天今月今日
468	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川		維時享保十乙巳天三月二十日
469	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川		貞享四卯十二月十八日
470	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上三川か		延宝六戊午天仲冬二月
471	弘法大師	民俗	有形民俗	上三川		元治元甲子年三月二十一日
472	名号塔	民俗	有形民俗	上三川		安政二己卯年三月吉祥日
473	供養塔	民俗	有形民俗	上三川		享保五庚子天三月二十九日
474	五輪塔	民俗	有形民俗	上三川		貞享三丙寅天正月初十日
475	五輪塔	民俗	有形民俗	上三川		
476	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		永和五年卯月廿八日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
477	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		応安四年二月廿五日
478	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		
479	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		永享十年
480	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		
481	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		慶安四卯年六月日
482	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		天文廿年辛亥八月日
483	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		
484	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		
485	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上三川		
486	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		宝永三歳十月十五日
487	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		宝永七庚寅天八月十一日
488	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
489	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
490	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		寛政八丙辰天六月二十日
491	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		享保十九甲寅年十二月八日
492	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		寛永十四丁辰天六月廿七日
493	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		承応三甲午天四月九日
494	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		享保十三戌申年正月十六日
495	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		享保十一丙午年正月十五日
496	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		文化七庚午十一月三日
497	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		文化丙子十一月□日
498	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		文政四年二月十一日
499	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
500	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
501	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		嘉永四年十月七日
502	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
503	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
504	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		享保十二丁羊七月五日
505	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
506	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		□□天四月初八日
507	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
508	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
509	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
510	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
511	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
512	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
513	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
514	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
515	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
516	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
517	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
518	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
519	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
520	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
521	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
522	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
523	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
524	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
525	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
526	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
527	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
528	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
529	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
530	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
531	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
532	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
533	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
534	無縫塔	民俗	有形民俗	上三川		
535	石塔	民俗	有形民俗	上三川		寛政十二午天庚申二月十二日
536	石塔	民俗	有形民俗	上三川		享保五庚子歳十一月吉祥日
537	石塔	民俗	有形民俗	上三川		正徳六丙甲歳二月摩詞吉日
538	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		安政四丁巳正月吉日
539	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		天保十己亥年十二月吉日
540	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		天保十己亥年十二月吉日
541	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		蔓延元庚申年
542	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		文政五壬午三月立之
543	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		天保十亥年九月吉晨
544	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		安政三辰年八月吉日
545	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		文久二戌二月十日
546	燈籠	民俗	有形民俗	上三川		天保十巳亥年九月吉晨
547	祠	民俗	有形民俗	上三川		
548	祠	民俗	有形民俗	上三川		
549	祠	民俗	有形民俗	上三川		
550	祠	民俗	有形民俗	上三川		
551	祠	民俗	有形民俗	上三川		
552	手水鉢	民俗	有形民俗	上三川		安永二癸巳歳九月吉日
553	鰐口	有形	美術工芸品	上三川		
554	絵馬	有形	美術工芸品	上三川		宝暦六丙子載仲春吉祥日
555	勝善神	民俗	有形民俗	五分一字星宮		大正四年四月十四日
556	馬頭観世音	民俗	有形民俗	五分一		享和三癸亥十一月吉日
557	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		享保三戊戌年十月初四日
558	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		享保三戌年二月廿四日
559	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		元禄五年申十二月二日
560	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		享保十一丙午天五月八日
561	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		天保八年丁酉十一月
562	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		
563	地蔵尊	民俗	有形民俗	五分一		享保九甲辰天九月吉日
564	十九夜塔	民俗	有形民俗	五分一		宝暦十三癸未十月十九日
565	十九夜塔	民俗	有形民俗	五分一		寛政八丙辰十一月吉日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
566	十九夜塔	民俗	有形民俗	五分一		安政六未年十月十九日
567	二十三夜塔	民俗	有形民俗	五分一		
568	如意輪観音	民俗	有形民俗	五分一		宝永七庚寅天八月廿六日
569	如意輪観音	民俗	有形民俗	五分一		
570	聖観音	民俗	有形民俗	五分一		天和三年葵亥五月廿六日
571	その他の観音	民俗	有形民俗	五分一		享和三亥六月六日
572	無縫塔	民俗	有形民俗	五分一		
573	祠	民俗	有形民俗	五分一		弘化四丁未歳九月吉日
574	鰐口	有形	美術工芸品	五分一		
575	庚申塔	民俗	有形民俗	坂上字蛭子内		元文五年十月吉日
576	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	坂上字川久保		
577	十九夜塔	民俗	有形民俗	坂上字川久保		大正十四年七月十九日
578	十九夜塔	民俗	有形民俗	坂上字北原		昭和三年三月十九日
579	如意輪観音像	民俗	有形民俗	坂上字北原		昭和参年参月十日
580	如意輪観音像	民俗	有形民俗	坂上字北原		
581	その他石造物	民俗	有形民俗	坂上字大門口		
582	その他石造物	民俗	有形民俗	坂上字大門口		
583	如意輪観音像	民俗	有形民俗	坂上字大門口		享保四□十月十九日
584	馬力神	民俗	有形民俗	坂上字大門口		昭和二十五年一月二十八日
585	二十三夜塔	民俗	有形民俗	坂上字大門口		文化十三子年四月吉日
586	地蔵尊	民俗	有形民俗	坂上		
587	地蔵尊	民俗	有形民俗	坂上		享保八癸卯稔十一月廿四日
588	二十三夜塔	民俗	有形民俗	坂上		文化十三子年四月吉詳日
589	如意輪観音	民俗	有形民俗	坂上		延宝八庚申二月五日
590	菅原道真	民俗	有形民俗	坂上		天保十二辛丑年仲秋
591	聖観音	民俗	有形民俗	坂上		正徳六丙甲七月六日
592	聖観音	民俗	有形民俗	坂上		元禄癸酉六
593	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	坂上		
594	無縫塔	民俗	有形民俗	坂上		嘉永□□十二月十六日
595	祠	民俗	有形民俗	坂上		
596	祠	民俗	有形民俗	坂上		
597	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字上宿		寛政(？)□　十月吉日
598	庚申塔	民俗	有形民俗	三本木字北原		万延元庚申年十一月
599	青面金剛像	民俗	有形民俗	三本木字北原		明和元甲申　十一月十三日
600	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		明治三十九年九月吉日
601	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		
602	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		文化十三丙子歳三月吉日
603	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		
604	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		
605	如意輪観音像	民俗	有形民俗	三本木字北原		正徳五乙未天十月十九日
606	その他石造物	民俗	有形民俗	三本木字北原		
607	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		正徳四甲午天二月吉日
608	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		寛延
609	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		文化十二乙亥五月十有六日
610	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		元文四乙未年十一月廿八日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
611	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		文政元戊寅七月二日
612	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		
613	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		
614	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		
615	地蔵尊	民俗	有形民俗	三本木		
616	庚申塔	民俗	有形民俗	三本木		明和元甲申十一月十三日
617	十九夜塔	民俗	有形民俗	三本木		天保十己亥年十月十九日
618	如意輪観音	民俗	有形民俗	三本木		寛政
619	薬師如来	民俗	有形民俗	三本木		
620	石塔	民俗	有形民俗	三本木		
621	石塔	民俗	有形民俗	三本木		
622	その他石造物	民俗	有形民俗	下蒲生字蒲生原		
623	勝善神	民俗	有形民俗	下蒲生字蒲生原		明治十一年二月吉日
624	その他石造物	民俗	有形民俗	下蒲生字南原		
625	道標	民俗	有形民俗	下蒲生字南原		明治十一年九月
626	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		寛保三癸亥亥年閏四月三日
627	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
628	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		元文五庚申正月廿一日
629	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		
630	地蔵尊	民俗	有形民俗	上蒲生		享保八癸卯年八月廿一日
631	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	下蒲生字山ノ神		正徳五乙未天十月□四日
632	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	下蒲生字山ノ神		
633	その他石造物	民俗	有形民俗	下蒲生字山ノ神		嘉永五子年二月吉日
634	十九夜塔	民俗	有形民俗	下蒲生字砂ヶ川原		嘉永七甲寅　二月十九日
635	如意輪観音像	民俗	有形民俗	下蒲生字砂ヶ川原		(正)徳四甲午　二月(十)九日
636	如意輪観音像	民俗	有形民俗	下蒲生字砂ヶ川原		
637	庚申塔	民俗	有形民俗	下蒲生字砂ヶ川原		万延元申
638	勝善神	民俗	有形民俗	下蒲生字砂ヶ川原		昭和二十年十一月十五日
639	地蔵尊	民俗	有形民俗	下蒲生か		
640	十九夜塔	民俗	有形民俗	下蒲生		天明七丁未十一月十九日
641	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		宝永五戊子年七月三日
642	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		享保九辰六月三日
643	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		享保十三戊申十月廿三日
644	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		
645	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		享保十乙巳一月
646	如意輪観音	民俗	有形民俗	下蒲生		
647	聖観音	民俗	有形民俗	下蒲生		
648	聖観音	民俗	有形民俗	下蒲生		宝永五戊子天八月十七日
649	聖観音	民俗	有形民俗	下蒲生		享保十年己□九月二十七日
650	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	下蒲生		
651	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	下蒲生		元禄十三年辰三月十九日
652	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	下蒲生		宝永二乙酉四月五日
653	五輪塔	民俗	有形民俗	下蒲生		
654	無縫塔	民俗	有形民俗	下蒲生		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
655	石塔	民俗	有形民俗	下蒲生		
656	石塔	民俗	有形民俗	下蒲生		1 月
657	鰐口	有形	美術工芸品	下蒲生		元文四己未年十二月吉日
658	半鐘	民俗	有形民俗	下蒲生		享保三戊戌歳四月日
659	その他石造物	民俗	有形民俗	しらさぎ		延宝九□□
660	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	三村字和尚塚		明治十二年□三月十八日建□
661	その他石造物	民俗	有形民俗	三村字屋敷		
662	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	三村字屋敷		明治三十九年四月二十四日
663	十九夜塔	民俗	有形民俗	三村字屋敷		安政四丁巳年
664	二十三夜塔	民俗	有形民俗	三村字屋敷		文化八辛未天十月二十三日
665	如意輪観音像	民俗	有形民俗	三村字屋敷		享保元申年十一月吉日
666	如意輪観音像	民俗	有形民俗	三村字屋敷		天明四甲辰　十一月十九
667	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	三村字屋敷		安政五戊午年□月□八
668	如意輪観音像	民俗	有形民俗	三村字屋敷		
669	その他石造物	民俗	有形民俗	三村字屋敷		
670	その他石造物	民俗	有形民俗	三村字屋敷		
671	庚申塔	民俗	有形民俗	三村字舘ノ原		明治二十一年十一月
672	青面金剛像	民俗	有形民俗	三村字舘ノ原		寶暦(年不明)
673	如意輪観音	民俗	有形民俗	三村		天明八戊申正月初八日
674	如意輪観音	民俗	有形民俗	三村		元禄二己巳四月八日
675	聖観音	民俗	有形民俗	三村		宝永二乙酉六月九日
676	無縫塔	民俗	有形民俗	三村		安政三庚戌天
677	無縫塔	民俗	有形民俗	三村		
678	祠	民俗	有形民俗	三村		
679	祠	民俗	有形民俗	三村		
680	祠	民俗	有形民俗	三村		
681	祠	民俗	有形民俗	三村		
682	祠	民俗	有形民俗	三村		
683	祠	民俗	有形民俗	三村		
684	鳥居	民俗	有形民俗	三村		安永九庚子天九月七日
685	二十三夜塔	民俗	有形民俗	磯岡字鴫谷		寛政八丙辰年二月二十三日
686	庚申塔	民俗	有形民俗	磯岡字東原		
687	その他石造物	民俗	有形民俗	磯岡字屋敷		寛政□年
688	十九夜塔	民俗	有形民俗	磯岡字屋敷		享保三戊戌年三月吉祥日
689	その他石造物	民俗	有形民俗	磯岡字屋敷		明□□□　三月□□□
690	馬力神	民俗	有形民俗	磯岡字屋敷		昭和十二年八月
691	その他石造物	民俗	有形民俗	磯岡字屋敷		大正
692	供養塔	民俗	有形民俗	磯岡		
693	供養塔	民俗	有形民俗	磯岡		寛政十一己羊年八月吉日
694	宝篋印塔	民俗	有形民俗	磯岡		
695	燈籠	民俗	有形民俗	磯岡		享和二壬戌天八月吉日
696	燈籠	民俗	有形民俗	磯岡		享和二壬戌天八月吉日
697	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字石畑		明和五戊子年四月十一日
698	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字磯端		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
699	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字小里		延享四丁？十月吉日
700	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字小里		寛政甲寅(=六) 十月六日
701	勝善神	民俗	有形民俗	上郷字小里		明治三十年四月廿六日
702	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小里		
703	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上郷字小里		享保四己亥天二月二十四日
704	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小里		
705	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小里		正徳四甲午十一月十九日
706	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小里		
707	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小里		
708	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小里		
709	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小里		
710	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小里		
711	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷字上野合		安政五戊午年十月吉日
712	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字上野合		
713	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷字上野合		
714	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷字上野合		寛政九丁巳
715	勝善神	民俗	有形民俗	上郷字上野合		昭和十三年四月三日
716	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字久保田		昭和五十二年十二月吉日
717	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字小林		
718	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字小林		延享元甲子年十月十七日
719	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字小林		
720	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷字小林		享和□□ 二月二十三日
721	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上郷字小林		
722	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字小林		三月吉日
723	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小林		明和七庚寅 十月十九日
724	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷字小林		天保三壬辰 三月十九日
725	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小林		文政十三庚寅 三月吉日
726	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上郷字小林		天保三壬辰 三月吉日
727	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	上郷字小林		
728	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字小林		寛政九丁巳 三月吉日
729	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小林		元文三戊午天
730	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字小林		
731	勝善神	民俗	有形民俗	上郷字三王		昭和十三年一月十七日
732	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字三王		弘化三丙午年十一月吉日
733	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷字三王		弘化三丙午年十一月吉日
734	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字三王		
735	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字三王		
736	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字三王		明和八辛卯年吉日
737	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字下野合		
738	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字塚田東		昭和十三年春
739	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字塚田東		正徳四甲午
740	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字塚田東		明和七庚寅 十月十九日
741	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字塚田東		寛政十戊午年十月十九日
742	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷字登上		
743	勝善神	民俗	有形民俗	上郷字道城		大正十三年十一月

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
744	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字西原		元文五庚申年八月二十二日
745	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字西原		
746	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字西原		元文五庚申八月□二日
747	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字西原		□文五□
748	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷字東本田		
749	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字東本田		
750	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字東本田		明治廿三年四月
751	如意輪観音像	民俗	有形民俗	上郷字東本田		正徳五乙未天十一月十九日
752	聖観音像	民俗	有形民俗	上郷字東本田		
753	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字南西原		昭和貳年五月十八日
754	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字吉添		
755	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字雷土		
756	青面金剛像	民俗	有形民俗	上郷字雷土		宝永五子(天？)
757	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷字雷土		
758	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和十九年一月
759	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和□□
760	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		明治□□
761	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和五年九月二日
762	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字胤内		
763	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		
764	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和二十四年
765	その他石造物	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和十一年三月五日
766	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上郷字胤内		大正十三年□□
767	馬力神	民俗	有形民俗	上郷字胤内		昭和十六年十二月
768	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		
769	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		弘化三丙午年十一月吉日
770	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		
771	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		文化四卯季三月吉日
772	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		
773	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		弘化四未四月吉日
774	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上郷		
775	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
776	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
777	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
778	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
779	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
780	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
781	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
782	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
783	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
784	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
785	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
786	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
787	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		
788	地蔵尊	民俗	有形民俗	上郷		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
789	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		
790	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		
791	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		元文五庚申八月廿二日
792	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		
793	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		
794	庚申塔	民俗	有形民俗	上郷		寛政四壬子年十月□日
795	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		
796	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		正徳四甲午二月吉日
797	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		寛政十二申年
798	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		
799	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		文久元酉十一月十九日
800	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		明和二乙酉十月吉日
801	十九夜塔	民俗	有形民俗	上郷		正徳五乙未十一月十九日
802	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷		寛政十一未天九月二十三日
803	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷		文化六己巳十一月二十三二十三日
804	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷		寛政九己天十月二十三日
805	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷		文化三年寅十一月二十三日
806	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上郷		
807	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		寛政八辰正月廿二日
808	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		
809	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		寛延三年□□
810	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		
811	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		正徳五乙未十一月十九日
812	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		明和元甲申歳七月八日
813	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		文化三年丙寅天□月八日
814	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		享保三戊戌天十月六日
815	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		正徳二壬辰天七月四日
816	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		延宝二甲寅天七月廿日
817	如意輪観音	民俗	有形民俗	上郷		宝永四丁亥天十月十九日
818	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		
819	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		
820	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		宝永六己丑天二月廿六日
821	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		
822	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		享保十乙巳六月十日
823	聖観音	民俗	有形民俗	上郷		
824	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上郷		天和三葵亥十一月十五日
825	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上郷		貞享三寅年正月廿八日
826	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上郷		
827	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上郷		延宝四丙辰天十二月十一日
828	弘法大師	民俗	有形民俗	上郷		
829	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上郷		干時天保二辛卯季四月六日
830	宝篋印塔	民俗	有形民俗	上郷		寛政四己六月六日
831	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
832	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
833	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
834	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
835	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
836	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
837	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
838	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
839	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
840	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
841	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
842	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
843	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
844	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
845	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
846	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
847	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
848	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
849	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		明和五丙子年四月十一日
850	無縫塔	民俗	有形民俗	上郷		
851	石塔	民俗	有形民俗	上郷		元禄五申壬八月八日
852	石塔	民俗	有形民俗	上郷		享保十□天三月□□□
853	石塔	民俗	有形民俗	上郷		元禄十四歳辛巳三月吉日
854	石塔	民俗	有形民俗	上郷		
855	石塔	民俗	有形民俗	上郷		寛文十庚戌年三月十六日
856	石塔	民俗	有形民俗	上郷		正徳五乙未十月上六日
857	石塔	民俗	有形民俗	上郷		享保五甲子年霜月吉祥日
858	石塔	民俗	有形民俗	上郷		正徳二二壬辰天
859	石塔	民俗	有形民俗	上郷		元文五庚申四月十九日
860	石塔	民俗	有形民俗	上郷		
861	石塔	民俗	有形民俗	上郷		
862	石塔	民俗	有形民俗	上郷		
863	燈籠	民俗	有形民俗	上郷		安政四丁巳四月吉日
864	祠	民俗	有形民俗	上郷		
865	祠	民俗	有形民俗	上郷		
866	祠	民俗	有形民俗	上郷		文政二己卯秤三月廿四日再建
867	祠	民俗	有形民俗	上郷		
868	祠	民俗	有形民俗	上郷		天保八丁年酉四月吉日
869	祠	民俗	有形民俗	上郷		延宝九辛酉天二月廿八日
870	祠	民俗	有形民俗	上郷		
871	祠	民俗	有形民俗	上郷		嘉永二己酉年十月二十五日建之
872	祠	民俗	有形民俗	上郷		明和三丙戌年
873	祠	民俗	有形民俗	上郷		
874	祠	民俗	有形民俗	上郷		
875	祠	民俗	有形民俗	上郷		
876	手水鉢	民俗	有形民俗	上郷		
877	鳥居	民俗	有形民俗	上郷		文久元酉□十一月

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
878	狛犬	民俗	有形民俗	上郷		文久二壬戌正月十二日
879	狛犬	民俗	有形民俗	上郷		文久二壬戌正月二日
880	絵馬	有形	美術工芸品	上郷		文政四辛巳歳七月吉日
881	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上文挟字東浦		
882	その他石造物	民俗	有形民俗	上文挟字雷神前		
883	二十三夜塔	民俗	有形民俗	上文挟字雷神前		
884	その他石造物	民俗	有形民俗	上文挟字雷神前		
885	道標	民俗	有形民俗	上文挟字雷神前		
886	地蔵尊	民俗	有形民俗	上文挟		享保五子年二月二十九日
887	地蔵尊	民俗	有形民俗	上文挟		延宝元壬年七月十一日
888	地蔵尊	民俗	有形民俗	上文挟		
889	地蔵尊	民俗	有形民俗	上文挟		
890	地蔵尊	民俗	有形民俗	上文挟		
891	庚申塔	民俗	有形民俗	上文挟		享保四年己亥四月十八日
892	如意輪観音	民俗	有形民俗	上文挟		
893	如意輪観音	民俗	有形民俗	上文挟		享保五子年五月十七日
894	聖観音	民俗	有形民俗	上文挟		元禄十四己十月晦日
895	聖観音	民俗	有形民俗	上文挟		
896	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	上文挟		享保元丙申天十月□□
897	祠	民俗	有形民俗	上文挟		天明□□□歳九月吉祥日
898	手水鉢	民俗	有形民俗	上文挟		
899	勝善神	民俗	有形民俗	西木代字北畑		昭和十五年十一月十八日
900	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	西木代字北畑		天保四癸巳年四月吉□日
901	その他石造物	民俗	有形民俗	西木代字北畑		
902	庚申塔	民俗	有形民俗	西木代字北畑		
903	その他石造物	民俗	有形民俗	西木代字北畑		
904	その他石造物	民俗	有形民俗	西木代字前田		
905	その他石造物	民俗	有形民俗	西木代字前田		
906	その他石造物	民俗	有形民俗	西木代字宮下		大正元年十二月十五日
907	庚申塔	民俗	有形民俗	西木代		享保十九甲寅天十月十八日
908	十九夜塔	民俗	有形民俗	西木代		文久元辛酉十一月吉日
909	二十三夜塔	民俗	有形民俗	西木代		寛政七乙卯年十月吉詳日
910	石塔	民俗	有形民俗	西木代		享保二年二月
911	燈籠	民俗	有形民俗	西木代		天明八戌申年二月吉日
912	燈籠	民俗	有形民俗	西木代		天明八戌申年二月吉日
913	石幢	民俗	有形民俗	西木代		
914	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	西蓼沼字柿		明治四十五年六月十八日
915	その他石造物	民俗	有形民俗	西蓼沼字柿		
916	馬力神	民俗	有形民俗	西蓼沼字喜多		昭和廿四年四月
917	二十三夜塔	民俗	有形民俗	西蓼沼字喜多		
918	庚申塔	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		
919	庚申塔	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		
920	その他石造物	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		
921	その他石造物	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		
922	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
923	その他石造物	民俗	有形民俗	西蓼沼字堂合		
924	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	西蓼沼字西林ノ内		
925	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	西蓼沼字西林ノ内		
926	その他石造物	民俗	有形民俗	西蓼沼字西林ノ内		
927	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼字西林ノ内		
928	馬頭観世音	民俗	有形民俗	西蓼沼		嘉永六癸丑十一月日
929	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		享保二丁酉四月廿六日
930	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		延享二乙丑年霜月廿九日
931	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		宝永元甲申天九月十三日
932	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		元禄十五壬午天三月六日
933	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		
934	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		
935	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		延宝八年□□三年廿六日
936	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		文久二壬戌年八月六日
937	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		宝永七庚寅稔六月二日
938	地蔵尊	民俗	有形民俗	西蓼沼		宝永四丁亥天四月廿二日
939	庚申塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		
940	十九夜塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		
941	二十三夜塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		
942	如意輪観音	民俗	有形民俗	西蓼沼		
943	如意輪観音	民俗	有形民俗	西蓼沼		
944	如意輪観音	民俗	有形民俗	西蓼沼		文化三年丙寅五月
945	如意輪観音	民俗	有形民俗	西蓼沼		享和二壬戌正月十日
946	宝篋印塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		時安政六年己未冬十一月也
947	無縫塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		
948	石塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		元禄十一戊寅天八月十五日建之
949	石塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		文化三丙寅歳四月二十五日
950	石塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		
951	石塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		元禄十一戊寅正月十五日
952	石塔	民俗	有形民俗	西蓼沼		寛延元戊辰九月三日
953	手水鉢	民俗	有形民俗	西蓼沼		蔓延元庚申九月吉日
954	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字岡		
955	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字岡		
956	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字岡		
957	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字篠崎		大正十一年九月
958	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字篠崎		昭和十五年十一月十八日
959	馬頭観世音	民俗	有形民俗	西汗		文政四
960	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	西汗字篠崎		弘化四丁未年十一月吉日
961	如意輪観音像	民俗	有形民俗	西汗字篠崎		昭和四十五年拾月壱日改築
962	十九夜塔	民俗	有形民俗	西汗字高島		昭和五十一年二月九日
963	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	西汗字高島		
964	如意輪観音像	民俗	有形民俗	西汗字高島		
965	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字高島		
966	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字高島		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
967	青面金剛像	民俗	有形民俗	西汗字宝神		
968	庚申塔	民俗	有形民俗	西汗		
969	庚申塔	民俗	有形民俗	西汗字宝神		享保十七(壬子？)年
970	勝善神	民俗	有形民俗	西汗字宝神		昭和十六年三月十八日
971	馬頭観音像	民俗	有形民俗	西汗字宝神		
972	二十三夜塔	民俗	有形民俗	西汗字宝神		寛政十二庚申年二月廿三日
973	十九夜塔	民俗	有形民俗	西汗字中新田		明治十九年旧十月十八日
974	馬力神	民俗	有形民俗	西汗字中新田		大正十五年旧三月十八日
975	その他石造物	民俗	有形民俗	西汗字半郷		
976	十九夜塔	民俗	有形民俗	西汗字半郷		嘉永七甲寅年十一月吉日
977	仏像(その他)	民俗	有形民俗	西汗字半郷		
978	仏像(その他)	民俗	有形民俗	西汗字半郷		
979	馬力神	民俗	有形民俗	西汗字半郷		大正六年二月
980	如意輪観音像	民俗	有形民俗	西汗字南田		
981	十九夜塔	民俗	有形民俗	西汗字山ノ神		
982	地蔵尊	民俗	有形民俗	西汗		1692 年
983	地蔵尊	民俗	有形民俗	西汗		
984	十九夜塔	民俗	有形民俗	西汗		
985	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		
986	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		安永五丙申六月初
987	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		
988	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		
989	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		
990	如意輪観音	民俗	有形民俗	西汗		
991	聖観音	民俗	有形民俗	西汗		元禄五壬申年十月十五日
992	聖観音	民俗	有形民俗	西汗		元禄七年甲戌十四日
993	聖観音	民俗	有形民俗	西汗		
994	その他の観音	民俗	有形民俗	西汗		文政八酉年六月二十四日
995	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	西汗		元禄五壬申八月二十七日
996	五輪塔	民俗	有形民俗	西汗		
997	五輪塔	民俗	有形民俗	西汗		
998	宝篋印塔	民俗	有形民俗	西汗		明和三丙戌歳四月大吉日
999	宝篋印塔	民俗	有形民俗	西汗		安永三甲午歳二月二十五日建之
1000	宝篋印塔	民俗	有形民俗	西汗		
1001	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1002	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1003	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1004	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1005	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1006	無縫塔	民俗	有形民俗	西汗		
1007	石塔	民俗	有形民俗	西汗		
1008	石塔	民俗	有形民俗	西汗		元禄十七年五月十四日
1009	石塔	民俗	有形民俗	西汗		元禄九丙子年二月十二日
1010	燈籠	民俗	有形民俗	西汗		宝暦八戊寅年四月七日
1011	鳥居	民俗	有形民俗	西汗		文政五壬午年九月吉祥日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1012	その他石造物	民俗	有形民俗	東蓼沼字川原		昭和七年四月
1013	その他石造物	民俗	有形民俗	東蓼沼字川原		
1014	馬力神	民俗	有形民俗	東蓼沼字川原		昭和十四年
1015	二十三夜塔	民俗	有形民俗	東蓼沼字川原		
1016	庚申塔	民俗	有形民俗	東蓼沼字堂下		昭和二十四年一月吉日
1017	青面金剛像	民俗	有形民俗	東蓼沼字堂下		明治四十一？年
1018	勝善神	民俗	有形民俗	東蓼沼字中根		昭和二十四年二月十三日
1019	如意輪観音像	民俗	有形民俗	東蓼沼字中根		
1020	二十三夜塔	民俗	有形民俗	東蓼沼字中根		
1021	その他石造物	民俗	有形民俗	東蓼沼字中根		明治三十三年三月十二日
1022	勝善神	民俗	有形民俗	東蓼沼字中根		
1023	如意輪観音像	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1024	その他石造物	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		大正四年四月吉日
1025	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1026	馬頭観音像	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1027	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1028	二十三夜塔	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1029	馬力神	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		大正八年二月十二日
1030	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	東蓼沼字本田		
1031	二十三夜塔	民俗	有形民俗	東蓼沼字欠ノ上		
1032	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		元和四申子年二月一日
1033	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		宝永六己丑年七月二十二日
1034	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1035	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		正徳
1036	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		天和二天壬戌三月七日
1037	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		享保十一丙午正月十六日
1038	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		享保四己亥正月廿四日
1039	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		宝永五戊子七月十三日
1040	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1041	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1042	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1043	地蔵尊	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1044	馬頭観世音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1045	庚申塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		明和四年丁亥閏九月□日
1046	十九夜塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		寛政六寅年三月吉日
1047	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		元禄五壬申四月十八日建之
1048	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		元禄十丁丑年□月吉日
1049	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1050	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		天和二天壬戌三月二十日
1051	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		宝永二乙酉十月□五日
1052	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1053	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1054	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1055	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1056	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1057	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		宝永四丁亥天十月二日
1058	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1059	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1060	如意輪観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		天明五乙巳歳十月十九日
1061	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		享保二丁酉天九月
1062	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1063	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1064	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1065	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		享保元丙申天十二月二十日
1066	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		寛延二己巳年十二月十八日
1067	聖観音	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1068	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	東蓼沼		寛文九己酉年四月二十三日
1069	石幢	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1070	五輪塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1071	宝篋印塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		寛延二己巳年十月二日
1072	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1073	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1074	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1075	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1076	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1077	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1078	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1079	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		嘉永二己酉年正月十二日
1080	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1081	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1082	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1083	無縫塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		
1084	石塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		文政六(正文)年九月吉日
1085	石塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		享保□□五月□□
1086	石塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		寛政十戊午天八月二十日
1087	石塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		明和九壬辰年十一月□□
1088	石塔	民俗	有形民俗	東蓼沼		慶応四年戊辰年五月初五日
1089	燈籠	民俗	有形民俗	東蓼沼		慶応二寅年四月吉日
1090	絵馬	有形	美術工芸品	東蓼沼		蔓延二壬歳□□□正月廿有八日□□
1091	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	東汗字五霊		文化十五寅天三月吉祥日
1092	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字関下		
1093	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗字関下		平成二十八年十二月
1094	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗(満願寺)		正徳二辰年九月十九日
1095	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗(満願寺)		
1096	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字関下		
1097	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字関下		
1098	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字関下		
1099	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字沼向		
1100	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字丸保町		
1101	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字丸保町		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1102	その他石造物	民俗	有形民俗	東汗字下河原		
1103	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗		
1104	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗		□□四□未年□□十五日
1105	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗		□□四□未年□□十五日
1106	庚申塔	民俗	有形民俗	東汗		□□四□未年□□十五日
1107	十九夜塔	民俗	有形民俗	東汗		文久元辛酉十二月吉日
1108	二十三夜塔	民俗	有形民俗	東汗		文化九壬申年十月二十三日
1109	二十六夜塔	民俗	有形民俗	東汗		文化二乙丑□□□
1110	二十六夜塔	民俗	有形民俗	東汗		文化二乙丑年一月吉日
1111	聖観音	民俗	有形民俗	東汗		
1112	その他の観音	民俗	有形民俗	東汗		
1113	石幢	民俗	有形民俗	東汗		
1114	弘法大師	民俗	有形民俗	東汗		享保六辛丑天三月二十四日
1115	五輪塔	民俗	有形民俗	東汗		
1116	無縫塔	民俗	有形民俗	東汗		
1117	無縫塔	民俗	有形民俗	東汗		
1118	無縫塔	民俗	有形民俗	東汗		享和三亥正月廿有日
1119	無縫塔	民俗	有形民俗	東汗		
1120	石塔	民俗	有形民俗	東汗		天明七丁未六月
1121	石塔	民俗	有形民俗	東汗		文化四丁卯年□□□
1122	石塔	民俗	有形民俗	東汗		安永五丙甲載十月吉日
1123	石塔	民俗	有形民俗	東汗		明和六己丑天十月善日
1124	燈籠	民俗	有形民俗	東汗		延享元甲子年
1125	燈籠	民俗	有形民俗	東汗		延享元甲子年
1126	手水鉢	民俗	有形民俗	東汗		天明九己酉二月吉日
1127	狛犬	民俗	有形民俗	東汗		文久三年癸亥十月吉日
1128	狛犬	民俗	有形民俗	東汗		文久三年十月吉日
1129	絵馬	有形	美術工芸品	東汗		享保第三戊戌年孟夏吉詳日
1130	十九夜塔	民俗	有形民俗	石田字石田前		昭和十一年旧一月吉建之
1131	二十三夜塔	民俗	有形民俗	石田字石田前		(年不明)十一月二十三日
1132	青面金剛像	民俗	有形民俗	石田字石田前		
1133	青面金剛像	民俗	有形民俗	石田字狗内		明和元年十一月吉日
1134	その他石造物	民俗	有形民俗	石田字作内		大正五年八月起工　仝六年五月竣工
1135	勝善神	民俗	有形民俗	石田字相ノ田		
1136	庚申塔	民俗	有形民俗	石田字天神前		平成五年三月吉日建之
1137	青面金剛像	民俗	有形民俗	石田字西谷		
1138	猿田彦大神	民俗	有形民俗	石田字西谷		明治八乙亥年三月
1139	その他石造物	民俗	有形民俗	石田字柳町		昭和五十四年六月
1140	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	石田字柳町		昭和五十四年六月
1141	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		
1142	馬力神	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		明治十年□十二月十一日
1143	その他石造物	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		昭和十三年二月初午建之
1144	馬力神	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		昭和四年十二月十八日
1145	如意輪観音像	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		正徳壬辰二年三月十九日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1146	青面金剛像	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		
1147	如意輪観音像	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		
1148	如意輪観音像	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		
1149	その他石造物	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		
1150	十六夜塔	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		□乙未天二月吉日
1151	その他石造物	民俗	有形民俗	石田字ヤジカ		安永四乙未年六月二十□
1152	如意輪観音像	民俗	有形民俗	石田字川原田		
1153	馬力神	民俗	有形民俗	石田字川島川原		昭和廿一年旧十一月
1154	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	石田字川島川原		
1155	十九夜塔	民俗	有形民俗	石田字川島川原		明治□□四月十九日建之
1156	地蔵尊	民俗	有形民俗	石田		完成十二年庚申歳四月吉祥日
1157	地蔵尊	民俗	有形民俗	石田		
1158	地蔵尊	民俗	有形民俗	石田		
1159	庚申塔	民俗	有形民俗	石田		
1160	庚申塔	民俗	有形民俗	石田		
1161	庚申塔	民俗	有形民俗	石田		
1162	庚申塔	民俗	有形民俗	石田		
1163	二十三夜塔	民俗	有形民俗	石田		寛政十二庚申歳十月二十三日
1164	聖観音	民俗	有形民俗	石田		寛政十一己未歳四月大吉祥日
1165	聖観音	民俗	有形民俗	石田		寛文十一天辛亥拾月吉日
1166	聖観音	民俗	有形民俗	石田		寛文三年葵卯四月十三日
1167	その他の観音	民俗	有形民俗	石田		
1168	その他の観音	民俗	有形民俗	石田		
1169	石幢	民俗	有形民俗	石田		
1170	弘法大師	民俗	有形民俗	石田		慶応二年寅三月二十一日
1171	供養塔	民俗	有形民俗	石田		寛政八丙辰歳十一月吉祥日
1172	五輪塔	民俗	有形民俗	石田		
1173	五輪塔	民俗	有形民俗	石田		
1174	宝篋印塔	民俗	有形民俗	石田		貞享二年八月吉日
1175	無縫塔	民俗	有形民俗	石田		宝暦辛巳歳七月十四日
1176	無縫塔	民俗	有形民俗	石田		天保八己亥年二月朔日
1177	その他石造物	民俗	有形民俗	大山字三枚所		昭和二十二年二月、昭和二十三年一月
1178	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	大山字新出		
1179	庚申塔	民俗	有形民俗	大山字新出		
1180	庚申塔	民俗	有形民俗	大山字新出		嘉永三戊□日
1181	青面金剛像	民俗	有形民俗	大山字新出		安永二癸巳　二月朔日
1182	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	大山字新出		丁未弘化四年二月
1183	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	大山字新出		明治五壬申年八月吉日
1184	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	大山字新出		享保三年戊戌　四月
1185	馬力神	民俗	有形民俗	大山字番匠免		昭和十三年十月十一日渡辺氏建立
1186	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	大山字前畑		文(化)十二乙亥
1187	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	大山字前畑		明治三十八年□月十六□

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1188	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	大山字前畑		
1189	十九夜塔	民俗	有形民俗	大山字前畑		
1190	十九夜塔	民俗	有形民俗	大山		弘化四丁未年二月
1191	十九夜塔	民俗	有形民俗	大山		寛延二己歳十一月十九日
1192	馬頭観世音	民俗	有形民俗	大山		弘化
1193	馬頭観世音	民俗	有形民俗	大山		文久癸亥年四月吉日
1194	二十三夜塔	民俗	有形民俗	大山		文化三丙寅戌年十一月吉日
1195	如意輪観音	民俗	有形民俗	大山		元禄十二己卯天三月四日
1196	阿弥陀如来	民俗	有形民俗	大山		貞享二二丁卯天二月十二日
1197	大日如来	民俗	有形民俗	大山		寛政八丙辰星二月吉祥
1198	不動尊	民俗	有形民俗	大山		寛文拾壱年辛亥三月吉日
1199	宝篋印塔	民俗	有形民俗	大山		文政四辛巳星九月上八日
1200	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		延享三丙寅歳六月晦日
1201	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		宝永乙酉天五月十七日
1202	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		文政十一年七月□
1203	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		寛政三辛亥天十一月十九日
1204	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		寛延二己巳歳正月二十日
1205	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		文化五□□
1206	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		宝暦七丁丑天七月二十三日
1207	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		元治元甲子歳十一月二十七日
1208	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		
1209	無縫塔	民俗	有形民俗	大山		
1210	石塔	民俗	有形民俗	大山		慶長六乙巳年六月十五日
1211	鰐口	有形	美術工芸品	大山		干時元禄十一戌寅天三月十二日
1212	馬力神	民俗	有形民俗	上神主字後志部		昭和十八年三月　稲見氏建之
1213	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上神主字後志部		明治四十四年十二月
1214	馬頭観世音	民俗	有形民俗	上神主		
1215	十九夜塔	民俗	有形民俗	上神主字石橋		元治元年子三月十九日
1216	十九夜塔	民俗	有形民俗	上神主		文化二年十月
1217	十九夜塔	民俗	有形民俗	上神主		辛卯天二年五月十九日
1218	聖徳太子塔	民俗	有形民俗	上神主字石橋		
1219	その他石造物	民俗	有形民俗	上神主字石橋		
1220	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	上神主字石橋		明□
1221	地蔵尊	民俗	有形民俗	上神主		享保二丁天乙卯
1222	地蔵尊	民俗	有形民俗	上神主		
1223	庚申塔	民俗	有形民俗	上神主		
1224	その他の観音	民俗	有形民俗	上神主		宝永六丑天十月十五日
1225	仏像(その他)	民俗	有形民俗	川中子字上落合		
1226	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字上落合		
1227	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字上落合		文化三年寅十月□日
1228	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字上落合		
1229	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	川中子字上落合		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1230	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字北田		
1231	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字北田		大正□年四月二十二日
1232	聖徳太子塔	民俗	有形民俗	川中子字北田		文化三丙寅白　二月弐十二日
1233	仏像(その他)	民俗	有形民俗	川中子字北田		延宝三年乙卯正月廿七日
1234	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字北田		弘化(五)戊申天□月十日
1235	如意輪観音像	民俗	有形民俗	川中子字北田		明和五戊子　十月吉日
1236	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字北田		
1237	馬力神	民俗	有形民俗	川中子字小糠内		
1238	勝善神	民俗	有形民俗	川中子字小糠内		
1239	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字小糠内		
1240	如意輪観音像	民俗	有形民俗	川中子字小糠内		
1241	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	川中子字小糠内		(正)徳元辛□
1242	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		寛文十一年辛亥三月廿三日
1243	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		
1244	馬力神	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		明治三十七年十二月吉日
1245	如意輪観音像	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		
1246	馬力神	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		昭和十四年四月
1247	庚申塔	民俗	有形民俗	川中子字下川中子		
1248	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字中落合		明治三十二年□
1249	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1250	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字中落合		大正三年十一月
1251	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字中落合		明治三十一年十一月十八日
1252	如意輪観音像	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1253	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1254	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1255	馬頭観音像	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1256	如意輪観音像	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1257	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1258	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1259	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1260	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1261	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1262	その他石造物	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1263	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1264	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1265	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	川中子字中落合		
1266	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字兵庫内		文化十四年十月
1267	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	川中子字兵庫内		嘉永七　十一月
1268	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	川中子字兵庫内		
1269	馬力神	民俗	有形民俗	川中子字孫太郎		
1270	地蔵尊	民俗	有形民俗	川中子		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1271	如意輪観音	民俗	有形民俗	川中子		正徳元辛卯小□□吉日
1272	如意輪観音	民俗	有形民俗	川中子		寛延第二己巳九月九日
1273	如意輪観音	民俗	有形民俗	川中子		□□十三戊申十月十九日
1274	聖観音	民俗	有形民俗	川中子		
1275	不動尊	民俗	有形民俗	川中子		元禄五壬申年八月吉日
1276	宝篋印塔	民俗	有形民俗	川中子		
1277	宝篋印塔	民俗	有形民俗	川中子		
1278	宝篋印塔	民俗	有形民俗	川中子		
1279	無縫塔	民俗	有形民俗	川中子		明和三丙戌歳正月三十日
1280	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	下神主字大堀		
1281	その他石造物	民俗	有形民俗	下神主字下原		
1282	十九夜塔	民俗	有形民俗	下神主字下原		文久酉元年三月吉日
1283	地蔵尊	民俗	有形民俗	下神主字下原		文久酉元年三月吉日
1284	その他石造物	民俗	有形民俗	下神主字西浦		平成十五年二月二十四日 上神主氏子一同建之
1285	馬力神	民俗	有形民俗	下神主字西浦		昭和二十六年二月吉日 高木氏
1286	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	下神主字西浦		
1287	その他石造物	民俗	有形民俗	下神主字西浦		
1288	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	下神主字西浦		
1289	馬頭観世音	民俗	有形民俗	下神主		
1290	地蔵尊	民俗	有形民俗	下神主		宝永七庚寅天十二月十一日
1291	地蔵尊	民俗	有形民俗	下神主		寛文六丙午八月二十八日
1292	地蔵尊	民俗	有形民俗	下神主		宝永七庚刀天十二月十一日
1293	庚申塔	民俗	有形民俗	下神主		
1294	如意輪観音	民俗	有形民俗	下神主		元禄四年辛未年十月十二日
1295	如意輪観音	民俗	有形民俗	下神主		宝永七庚寅天七月廿二日
1296	如意輪観音	民俗	有形民俗	下神主		元禄六酉十一月八日
1297	聖観音	民俗	有形民俗	下神主		宝永七庚寅天正月十八日
1298	供養塔	民俗	有形民俗	下神主		延享二
1299	供養塔	民俗	有形民俗	下神主		
1300	宝篋印塔	民俗	有形民俗	下神主		
1301	手水鉢	民俗	有形民俗	下神主		安政五年戊午九月吉日
1302	馬力神	民俗	有形民俗	多功字下新田		昭和二十□□
1303	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字下新田		昭和三十年十二月　石崎氏建之
1304	その他石造物	民俗	有形民俗	多功字下多功		
1305	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字下多功		
1306	二十三夜塔	民俗	有形民俗	多功字城ノ内		文政九丙戌年十月二十三日　堀合講中
1307	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字台宿		天保十二丑年十一月
1308	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字天神町		昭和十二年十一月十八日
1309	馬力神	民俗	有形民俗	多功字天神町		
1310	青面金剛像	民俗	有形民俗	多功字天神町		
1311	猿田彦大神	民俗	有形民俗	多功字天神町		大正九庚申年十一月
1312	十九夜塔	民俗	有形民俗	多功		嘉永二己酉年十月中九日
1313	十九夜塔	民俗	有形民俗	多功		安永九庚子二月吉日

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1314	十九夜塔	民俗	有形民俗	多功		正徳五乙未天二月二十一日
1315	十九夜塔	民俗	有形民俗	多功		文政三□□二□
1316	如意輪観音像	民俗	有形民俗	多功字天神町		宝暦四甲(戌)　十月(吉)日
1317	如意輪観音像	民俗	有形民俗	多功字天神町		(享保)元丙□
1318	如意輪観音像	民俗	有形民俗	多功字天神町		安永八亥天十一月吉日
1319	十九夜塔	民俗	有形民俗	十九夜塔		宝暦二四甲戌十月吉日
1320	馬力神	民俗	有形民俗	多功字西浦		
1321	その他石造物	民俗	有形民俗	多功字八幡前		嘉永六年
1322	馬頭観音像	民俗	有形民俗	多功字八幡前		寛政八丙辰　十一月吉日
1323	十九夜塔	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1324	仏像(詳細不明)	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1325	如意輪観音像	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1326	二十三夜塔	民俗	有形民俗	多功字八幡前		文化六己巳天十一月吉祥日
1327	庚申塔	民俗	有形民俗	多功字八幡前		昭和七年十二月廿五日
1328	道標	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1329	道標	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1330	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字八幡前		
1331	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	多功字八幡前		安政二年乙卯二月吉日
1332	道標	民俗	有形民俗	多功字本町		
1333	馬頭観世音	民俗	有形民俗	多功		安政二年乙卯六月吉日建
1334	地蔵尊	民俗	有形民俗	多功		享保二丁酉天三月十一日
1335	地蔵尊	民俗	有形民俗	多功		宝暦六丙子八月朔日
1336	地蔵尊	民俗	有形民俗	多功		天保七年丙申二月廿九日
1337	地蔵尊	民俗	有形民俗	多功		文政庚辰天一月吉日
1338	如意輪観音	民俗	有形民俗	多功		元文五庚申十一月二十七日
1339	如意輪観音	民俗	有形民俗	多功		寛文四壬辰五月二十二日
1340	聖観音	民俗	有形民俗	多功		貞享元子年十一月四日
1341	聖観音	民俗	有形民俗	多功		天和四刻四月十三日
1342	不動尊	民俗	有形民俗	多功		
1343	聖徳太子	民俗	有形民俗	多功		天保十二年辛丑正月廿二日
1344	弘法大師	民俗	有形民俗	多功		寛政十二庚申十一月
1345	弘法大師	民俗	有形民俗	多功		
1346	弘法大師	民俗	有形民俗	多功		
1347	弘法大師	民俗	有形民俗	多功		
1348	供養塔	民俗	有形民俗	多功		
1349	供養塔	民俗	有形民俗	多功		明和九年壬辰極月
1350	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1351	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1352	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1353	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1354	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1355	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1356	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1357	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1358	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1359	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1360	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1361	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1362	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1363	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1364	五輪塔	民俗	有形民俗	多功		
1365	宝篋印塔	民俗	有形民俗	多功		享和二壬戌載三月吉祥日
1366	宝篋印塔	民俗	有形民俗	多功		
1367	宝篋印塔	民俗	有形民俗	多功		
1368	無縫塔	民俗	有形民俗	多功		
1369	無縫塔	民俗	有形民俗	多功		正徳元年卯七月二日
1370	無縫塔	民俗	有形民俗	多功		安永八己亥年二月朔日
1371	無縫塔	民俗	有形民俗	多功		宝暦二壬申天九月朔日
1372	燈籠	民俗	有形民俗	多功		天明六丙午三月
1373	燈籠	民俗	有形民俗	多功		天明六丙午三月
1374	燈籠	民俗	有形民俗	多功		天保五甲午歳四月吉日
1375	燈籠	民俗	有形民俗	多功		天保五甲午歳四月吉日
1376	手水鉢	民俗	有形民俗	多功		
1377	手水鉢	民俗	有形民俗	多功		文化八年未三月吉日
1378	手水鉢	民俗	有形民俗	多功		文化八年未三月吉日
1379	手水鉢	民俗	有形民俗	多功		文化八年未三月吉日
1380	手水鉢	民俗	有形民俗	多功		文化八年未三月吉日
1381	鳥居	民俗	有形民俗	多功		寛政六年甲寅十一月吉日
1382	鳥居	民俗	有形民俗	多功		宝永六己丑三月吉祥日
1383	絵馬	有形	美術工芸品	多功		寛政九己天十月二十三日
1384	鰐口	有形	美術工芸品	鞘堂		享和三天亥十月吉日
1385	その他石造物	民俗	有形民俗	梁字細町		□□　二十一日
1386	十九夜塔	民俗	有形民俗	梁		安□□午年十一月十九日
1387	十九夜塔	民俗	有形民俗	梁字細町		文化八未天□月吉日
1388	十九夜塔	民俗	有形民俗	梁字細町		寛延元戊辰天十月十九日
1389	その他石造物	民俗	有形民俗	梁字細町		
1390	十九夜塔	民俗	有形民俗	梁字細町		正(徳)五乙未年□月□日
1391	地蔵菩薩像	民俗	有形民俗	梁字細町		慶應三年十二月
1392	十九夜塔	民俗	有形民俗	梁字細町		天保□年十月十九日
1393	庚申塔	民俗	有形民俗	梁		
1394	青面金剛像	民俗	有形民俗	梁字細町		寛政六甲寅　十一月七日
1395	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	梁字細町		嘉永六丑年□月吉日
1396	如意輪観音像	民俗	有形民俗	梁字細町		
1397	仏像	民俗	有形民俗	梁字明神前		
1398	仏像	民俗	有形民俗	梁字明神前		
1399	生駒･生馬大神	民俗	有形民俗	梁字明神前		明治廿四年旧十一月十八日
1400	馬頭観音･観世音	民俗	有形民俗	梁字明神前		文久四甲子年三月
1401	琴平神社	記念物	遺跡	磯岡		
1402	愛宕神社	記念物	遺跡	上郷		
1403	雷電神社	記念物	遺跡	上郷		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1404	鼠観音	記念物	遺跡	上郷		
1405	上郷神社	記念物	遺跡	上郷		
1406	薬師堂	記念物	遺跡	上郷		
1407	下町琴平神社	記念物	遺跡	上三川		
1408	日之出八幡宮	記念物	遺跡	上三川		
1409	王子稲荷神社	記念物	遺跡	上郷		
1410	大杉神社	記念物	遺跡	上三川		
1411	稲荷神社	記念物	遺跡	三本木		
1412	星宮神社	記念物	遺跡	坂上		
1413	神明神社	記念物	遺跡	上三川		
1414	星宮神社	記念物	遺跡	三村		
1415	三村公民館前お堂	記念物	遺跡	三村		
1416	地蔵堂	記念物	遺跡	五分一		
1417	薬師堂	記念物	遺跡	五分一		
1418	石田神社	記念物	遺跡	石田		
1419	石田神社北側お堂	記念物	遺跡	石田		
1420	石田公園脇社	記念物	遺跡	石田		
1421	琴平神社	記念物	遺跡	上蒲生		
1422	熊野神社	記念物	遺跡	川中子		
1423	甲神社	記念物	遺跡	下神主		
1424	浅間神社	記念物	遺跡	上神主		
1425	地蔵堂か	記念物	遺跡	上神主		
1426	地蔵堂か	記念物	遺跡	下神主		
1427	川中子２区公民館脇社	記念物	遺跡	川中子		
1428	愛宕神社	記念物	遺跡	上蒲生		
1429	五社神社	記念物	遺跡	大山		
1430	蒲生神社	記念物	遺跡	上蒲生		
1431	蒲生神社北西の公園の観音堂か	記念物	遺跡	上蒲生		
1432	薬師堂	記念物	遺跡	上蒲生		
1433	浄光寺南地蔵堂	記念物	遺跡	大山		
1434	大日堂	記念物	遺跡	下蒲生		
1435	星宮神社	記念物	遺跡	梁		
1436	天満宮	記念物	遺跡	天神町		
1437	星宮神社	記念物	遺跡	多功		
1438	川中子１区集会所横お堂	記念物	遺跡	川中子		
1439	薬師堂	記念物	遺跡	下蒲生		
1440	観音堂（藤沼医院隣）	記念物	遺跡	梁		
1441	多功不動尊	民俗	有形民俗	多功		
1442	下多功公民館脇地蔵堂	記念物	遺跡	多功		
1443	蒲生神社	記念物	遺跡	下蒲生		
1444	多功下坪公民館南地蔵堂	記念物	遺跡	多功		
1445	星宮神社	記念物	遺跡	五分一		
1446	日吉神社	記念物	遺跡	西蓼沼		
1447	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1448	荷車車輪	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1449	馬耕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1450	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1451	畝引き	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1452	馬耕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1453	馬はも	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1454	牛荷鞍一式	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1455	荷鞍	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1456	柄鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1457	背負梯子	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1458	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1459	鋤	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1460	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1461	干瓢剥き機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1462	腰ミノ･天狗ミノ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1463	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1464	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1465	タバコ荷造枠	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1466	振り馬鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1467	マユの毛羽取り	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1468	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1469	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1470	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1471	干瓢剥き機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1472	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1473	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1474	牛馬車用鞍骨	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1475	干瓢剥き機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1476	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1477	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1478	綿種取機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1479	荷鞍かぎ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1480	干瓢剥き機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1481	ハモ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1482	牛用ハモ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1483	石臼	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1484	湯沸	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1485	高膳	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1486	高膳	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1487	徳利	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1488	畝立て	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1489	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1490	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1491	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1492	畝立て	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1493	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1494	棒打	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1495	藁切り(押し切り)	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1496	振り馬鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1497	行燈	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1498	行燈	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1499	杵	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1500	杵	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1501	誘蛾灯	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1502	誘蛾灯	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1503	龕灯(ガンドウ)	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1504	ランプ用具一式	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1505	ランプ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1506	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1507	糸繰車	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1508	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1509	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1510	千石篩	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1511	千石篩	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1512	長持	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1513	醤油絞り	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1514	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1515	石臼(台つき)	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1516	馬具一式	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1517	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1518	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1519	鳥追機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1520	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1521	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1522	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1523	箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1524	箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1525	箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1526	箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1527	脱穀機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1528	蒸籠(セイロ)	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1529	鏡台	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1530	鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1531	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1532	鋤簾	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1533	熊手	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1534	俵締機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1535	千石篩	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1536	茶箪笥	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1537	掛け軸	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1538	長持	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1539	長持	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1540	長持	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1541	写真焼付機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1542	写真焼付機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1543	接客机	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1544	文箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1545	火鉢	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1546	和裁用机	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1547	行李箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1548	配膳台	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1549	槍先	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1550	馬耕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1551	馬耕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1552	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1553	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1554	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1555	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1556	除草機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1557	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1558	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1559	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1560	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1561	牛乳缶	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1562	振り馬鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1563	シリウチボウ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1564	糸繰車	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1565	脱穀機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1566	脱穀機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1567	鐙	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1568	綿種取機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1569	蒸籠	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1570	桶	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1571	自在鉤	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1572	真空管ラジオ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1573	高札	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1574	火鉢	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1575	豆腐作り機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1576	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1577	背負子	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1578	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1579	高燈籠	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1580	滑車	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1581	火熨斗	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1582	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1583	鞍	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1584	火鉢	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1585	火鉢	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1586	鞍	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1587	土ふぐい	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1588	モミ反転機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1589	ハモ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1590	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1591	箕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1592	鋸	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1593	手斧	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1594	干瓢剥き機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1595	ゴザ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1596	鞍	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1597	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1598	鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1599	振り馬鍬	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1600	杵	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1601	藁切り(押し切り)	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1602	米麦水分計「ライスタ」	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1603	試験用籾摺器	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1604	看板「禁煙」	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1605	看板「火気厳禁」	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1606	看板「政府指定倉庫」	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1607	農薬噴霧器	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1608	天秤量	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1609	唐箕	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1610	蓄力土入機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1611	煉灰カイロ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1612	消火弾	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1613	提燈	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1614	コタツ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1615	天秤量	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1616	徳利	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1617	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1618	警防団用鉄兜	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1619	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1620	誘蛾灯	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1621	木炭アイロン	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1622	陶製湯たんぽ	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1623	絵皿	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1624	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1625	鐙	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1626	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1627	塗御殿	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1628	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1629	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1630	高札	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1631	箱	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1632	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1633	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1634	俵編機	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1635	石臼	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1636	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1637	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1638	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1639	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1640	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1641	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1642	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1643	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1644	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1645	その他民俗資料	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1646	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1647	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1648	千歯こき	民俗	有形民俗	文化財収蔵庫		
1649	民謡　田植唄	民俗	無形民俗			
1650	小菅家藤右衛門氏住宅	有形	建造物	多功		18 世紀初頭建造
1651	田村吉隆氏住宅	有形	建造物	下蒲生		18 世紀中頃以降と推定
1652	稲葉宗一氏住宅	有形	建造物	下神主		18 世紀中頃
1653	どんど焼き	民俗	無形民俗	上三川		
1654	どんど焼き	民俗	無形民俗	本郷		
1655	萩原家住宅	有形	建造物	上三川		大正
1656	白鷺神社の神楽殿	有形	建造物	上三川		昭和初期
1657	前沢商店	有形	建造物	しらさぎ		
1658	普門寺の大ケヤキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	普門寺	樹齢 300 年
1659	善応寺のツバキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	善応寺	樹齢 300 年
1660	愛宕町のコブシ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	個人	樹齢 100～150 年
1661	下町のタラヨウ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	個人	樹齢 150 年
1662	下蒲生のヤマナシ	記念物	動物、植物、地質鉱物	下蒲生	個人	樹齢 200 年
1663	下蒲生のヒイラギ	記念物	動物、植物、地質鉱物	下蒲生	個人	樹齢 200 年
1664	三軒在家の寄生木（エノキに寄生）	記念物	動物、植物、地質鉱物	上郷	個人	エノキ樹齢 180 年
1665	道城のサイカチ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上郷	個人	樹齢 300 年
1666	道城のウメ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上郷	個人	樹齢 200 年
1667	西蓼沼のヤシオツツジ	記念物	動物、植物、地質鉱物	西蓼沼	個人	樹齢 120 年

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1668	東蓼沼のクスノキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	東蓼沼	個人	樹齢 150 年
1669	向川原のヤツブサケヤキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	東蓼沼	個人	樹齢 100 年
1670	満願寺のイチョウ	記念物	動物、植物、地質鉱物	東汗	満願寺	樹齢 250 年
1671	旧本郷北分校ムクロジ	記念物	動物、植物、地質鉱物	西汗	上三川町	樹齢 110 年
1672	岡のウルシ	記念物	動物、植物、地質鉱物	西汗	個人	樹齢 120～150 年
1673	西木代･東の梅	記念物	動物、植物、地質鉱物	西木代	個人	樹齢 200 年
1674	磯岡のエノキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯　岡	個人	樹齢 200 年
1675	見性寺のタラヨウ	記念物	動物、植物、地質鉱物	多功	見性寺	樹齢 150 年
1676	多功不動尊歓喜木（エノキ）	記念物	動物、植物、地質鉱物	多功	見性寺	樹齢 150 年
1677	下神主のクロマツ	記念物	動物、植物、地質鉱物	下神主	個人	樹齢 200 年
1678	川中子の田圃の一本杉	記念物	動物、植物、地質鉱物	川中子	個人	樹齢 250 年
1679	旧明治北分校のケヤキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	石　田	上三川町	樹齢 120 年
1680	上三川小学校の黒松	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	上三川町	樹齢 130 年
1681	道城のコウヨウザン	記念物	動物、植物、地質鉱物	上郷	個人	樹齢 150 年
1682	正清寺のボダイジュ	記念物	動物、植物、地質鉱物	上三川	正清寺	樹齢 200 年
1683	白鷺神社のクロマツ	記念物	動物、植物、地質鉱物	しらさぎ	白鷺神社	樹齢 150 年
1684	明治小学校のケヤキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	上三川町	樹齢 180 年
1685	明治小学校のボダイジュ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	上三川町	樹齢 150 年
1686	梁のケヤキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	梁	個人	樹齢 300 年
1687	宝光院のコノテガシワ	記念物	動物、植物、地質鉱物	多功	宝光院	樹齢 450 年
1688	大山のアカシデ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	個人	樹齢 150 年
1689	大山のコナラ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	個人	樹齢 200 年
1690	大山のカエデ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	個人	樹齢 300 年
1691	大山のシラカシ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	個人	樹齢 250 年
1692	大山のモクセイ	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	個人	樹齢 120 年
1693	西念寺のシロフジ	記念物	動物、植物、地質鉱物	多功	西念寺	樹齢 150 年
1694	浄光寺のコウヨウザン	記念物	動物、植物、地質鉱物	大山	浄光寺	樹齢 130 年
1695	大人神輿	民俗	有形民俗	上郷一区		明治
1696	大人神輿	民俗	有形民俗	上郷三区		明治
1697	大人神輿	民俗	有形民俗	上郷四区		明治

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1698	大人神輿	民俗	有形民俗	西蓼沼		不明
1699	大人神輿	民俗	有形民俗	中根		平成 11 年
1700	大人神輿	民俗	有形民俗	東汗東		不明
1701	大人神輿	民俗	有形民俗	西汗下		—
1702	大人神輿	民俗	有形民俗	大町		昭和 50 年
1703	大人神輿	民俗	有形民俗	坂上		戦前
1704	大人神輿	民俗	有形民俗	三本木		不明
1705	大人神輿	民俗	有形民俗	大山第一		不明
1706	大人神輿	民俗	有形民俗	天神町		不明
1707	大人神輿	民俗	有形民俗	本町		不明
1708	大人神輿	民俗	有形民俗	下多功		昭和 42 年
1709	大人神輿	民俗	有形民俗	下梁		不明
1710	大人神輿	民俗	有形民俗	上梁		不明
1711	大人神輿	民俗	有形民俗	石田下坪		不明
1712	子供みこし	民俗	有形民俗	愛宕町		昭和 59 年
1713	子供みこし	民俗	有形民俗	峰町		平成 13 年
1714	子供みこし	民俗	有形民俗	願成寺		平成 10 年
1715	子供神輿	民俗	有形民俗	上郷一区		不明
1716	子供神輿	民俗	有形民俗	上郷二区		昭和 53 年
1717	子供神輿	民俗	有形民俗	上郷四区		昭和 55 年
1718	子供神輿	民俗	有形民俗	上郷五区		80 年前
1719	子供神輿	民俗	有形民俗	西蓼沼		20 年前
1720	子供神輿	民俗	有形民俗	中根		昭和 59 年
1721	子供神輿	民俗	有形民俗	東汗		20 年前
1722	子供神輿	民俗	有形民俗	上文挟		不明
1723	子供神輿	民俗	有形民俗	西木代		昭和 46 年
1724	子供神輿	民俗	有形民俗	西汗下		昭和 62 または平成 6 年
1725	子供神輿	民俗	有形民俗	磯岡		平成 9 年
1726	子供神輿	民俗	有形民俗	美里		平成 7 年（古い神輿を入手）
1727	子供神輿	民俗	有形民俗	三ツ家		昭和 20 年ころ
1728	子供神輿	民俗	有形民俗	常光坊		
1729	子供神輿	民俗	有形民俗	下町1区		不明
1730	子供神輿	民俗	有形民俗	下町2～5区		20 年ほど前？
1731	子供神輿	民俗	有形民俗	中町		60 年以上前
1732	子供神輿	民俗	有形民俗	上町		平成 17 年
1733	子供神輿	民俗	有形民俗	東館北部		平成元年
1734	子供神輿	民俗	有形民俗	東館南部		平成 10 年
1735	子供神輿	民俗	有形民俗	井戸川		平成 16 年
1736	子供神輿	民俗	有形民俗	上蒲生北部		昭和 61 年
1737	子供神輿	民俗	有形民俗	下蒲生		平成 2 年
1738	子供神輿	民俗	有形民俗	五分一		不明
1739	子供神輿	民俗	有形民俗	三村		不明
1740	子供神輿	民俗	有形民俗	坂上本田		昭和 50 年
1741	子供神輿	民俗	有形民俗	坂上河原		不明
1742	子供神輿	民俗	有形民俗	三本木		不明

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1743	子供神輿	民俗	有形民俗	桃畑		平成 10 年
1744	子供神輿	民俗	有形民俗	泉町		平成 6 年
1745	子供神輿	民俗	有形民俗	睦渕		不明
1746	子供神輿	民俗	有形民俗	大山第一		不明
1747	子供神輿	民俗	有形民俗	天神町		不明
1748	子供神輿	民俗	有形民俗	西町		不明
1749	子供神輿	民俗	有形民俗	本町		不明
1750	子供神輿	民俗	有形民俗	城台		不明
1751	子供神輿	民俗	有形民俗	下多功		平成 5 年
1752	子供神輿	民俗	有形民俗	多功下坪		平成 19 年
1753	子供神輿	民俗	有形民俗	下梁		平成 13 年
1754	子供神輿	民俗	有形民俗	上梁		不明
1755	子供神輿	民俗	有形民俗	川中子一区		40 年前
1756	子供神輿	民俗	有形民俗	川中子二区		平成 19 年
1757	子供神輿	民俗	有形民俗	川中子三区		平成 10 年
1758	子供神輿	民俗	有形民俗	下神主		平成 20 年
1759	子供神輿	民俗	有形民俗	上神主		50 年前
1760	子供神輿	民俗	有形民俗	石田下坪		昭和 62 年
1761	子供神輿	民俗	有形民俗	石田上坪		昭和 28 年
1762	子供神輿	民俗	有形民俗	薄市		平成 16 年
1763	子供神輿	民俗	有形民俗	西浦		昭和 50 年代
1764	神主古墳群	記念物	遺跡	上神主、下神主		
1765	上郷古墳群Ⅰ	記念物	遺跡	上郷		
1766	大山古墳群	記念物	遺跡	大山		
1767	磯岡･西汗古墳群	記念物	遺跡	磯岡、西汗		
1768	三村･五分一古墳群	記念物	遺跡	上三川、三村、三本木、五分一		
1769	常光坊古墳群	記念物	遺跡	上三川		
1770	下蒲生古墳群Ⅰ	記念物	遺跡	下蒲生		
1771	上三川城跡	記念物	遺跡	上三川		
1772	荒田古墳群	記念物	遺跡	上蒲生		
1773	木ノ宮遺跡	記念物	遺跡	多功		
1774	殿山遺跡	記念物	遺跡	上神主、ゆうきが丘		
1775	茂原向原遺跡	記念物	遺跡	上神主、下神主、宇都宮市茂原町		
1776	後志部遺跡	記念物	遺跡	上神主		
1777	向原遺跡	記念物	遺跡	鞘堂		
1778	後志部東遺跡	記念物	遺跡	上神主		
1779	上ノ原遺跡	記念物	遺跡	多功、ゆうきが丘		
1780	薄市遺跡	記念物	遺跡	下神主		
1781	新出遺跡	記念物	遺跡	大山		
1782	舗飛内遺跡	記念物	遺跡	多功		
1783	多功遺跡	記念物	遺跡	天神町		
1784	木田遺跡	記念物	遺跡	多功		
1785	谷ノ中遺跡	記念物	遺跡	多功		
1786	多功城跡	記念物	遺跡	多功		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1787	堀込遺跡	記念物	遺跡	多功		
1788	一本木遺跡	記念物	遺跡	多功		
1789	天神町北遺跡	記念物	遺跡	多功		
1790	二の谷沼北遺跡	記念物	遺跡	多功		
1791	屋敷内遺跡	記念物	遺跡	梁		
1792	見性寺東遺跡	記念物	遺跡	多功		
1793	粕内遺跡	記念物	遺跡	川中子		
1794	大山遺跡	記念物	遺跡	大山		
1795	磯岡遺跡	記念物	遺跡	磯岡		
1796	西沼遺跡	記念物	遺跡	西汗、宇都宮市西刑部町		
1797	内野遺跡	記念物	遺跡	西汗、宇都宮市西刑部町		
1798	下小屋原遺跡	記念物	遺跡	西汗、宇都宮市平塚町		
1799	権現山遺跡	記念物	遺跡	西汗、宇都宮市インターパーク6丁目		
1800	杉村遺跡	記念物	遺跡	磯岡、宇都宮市砂田町		
1801	西赤堀遺跡	記念物	遺跡	西汗		
1802	西赤堀東遺跡	記念物	遺跡	西汗		
1803	西赤堀南遺跡	記念物	遺跡	西汗		
1804	西汗Ⅲ遺跡	記念物	遺跡	西汗		
1805	川原欠遺跡	記念物	遺跡	東汗		
1806	五丁免遺跡	記念物	遺跡	東汗		
1807	上石田遺跡	記念物	遺跡	石田		
1808	西田遺跡	記念物	遺跡	石田		
1809	願成寺遺跡	記念物	遺跡	上蒲生		
1810	仏沼遺跡	記念物	遺跡	西蓼沼		
1811	西林ノ内遺跡	記念物	遺跡	西蓼沼		
1812	大野遺跡	記念物	遺跡	上蒲生		
1813	南西原遺跡	記念物	遺跡	上蒲生		
1814	橋本Ⅱ遺跡	記念物	遺跡	上郷		
1815	上郷西遺跡	記念物	遺跡	上郷、しらさぎ三丁目		
1816	上郷遺跡	記念物	遺跡	上郷		
1817	島田遺跡	記念物	遺跡	しらさぎ三丁目、上三川		
1818	大町遺跡	記念物	遺跡	上三川		
1819	愛宕町遺跡	記念物	遺跡	上三川		
1820	常光坊北遺跡	記念物	遺跡	上三川		
1821	多功南原遺跡	記念物	遺跡	多功		
1822	下多功遺跡	記念物	遺跡	多功		
1823	北原遺跡	記念物	遺跡	多功、下野市薬師寺		
1824	坂上南遺跡	記念物	遺跡	坂上		
1825	西志部遺跡	記念物	遺跡	坂上		
1826	三村遺跡	記念物	遺跡	三村		
1827	五分一上野原遺跡	記念物	遺跡	五分一		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1828	坂上北原遺跡	記念物	遺跡	五分一		
1829	上蒲生古墳群	記念物	遺跡	上蒲生		
1830	磯岡北遺跡	記念物	遺跡	磯岡、宇都宮市インターパーク6丁目		
1831	上郷古墳群Ⅱ	記念物	遺跡	上郷、西蓼沼		
1832	上郷古墳群Ⅲ	記念物	遺跡	上郷		
1833	下蒲生古墳群Ⅱ	記念物	遺跡	下蒲生		
1834	下石橋一里塚	記念物	遺跡	梁、下野市下石橋		
1835	梁館跡	記念物	遺跡	梁		
1836	大山館跡	記念物	遺跡	大山		
1837	落合館跡	記念物	遺跡	川中子		
1838	下石田遺跡	記念物	遺跡	石田、上神主		
1839	石田館跡	記念物	遺跡	石田		
1840	磯岡東遺	記念物	遺跡	磯岡		
1841	高島館跡	記念物	遺跡	西汗		
1842	汗城跡	記念物	遺跡	東汗		
1843	上城跡	記念物	遺跡	東汗		
1844	中館跡	記念物	遺跡	東蓼沼		
1845	御前塚古墳	記念物	遺跡	五分一		
1846	三村･五分一 4 号墳	記念物	遺跡	坂上		
1847	上三川笹塚古墳	記念物	遺跡	上三川		
1848	冨士山古墳群	記念物	遺跡	上三川		
1849	坂上北原古墳群	記念物	遺跡	上三川、三村		
1850	東山道跡	記念物	遺跡	石田、上神主、宇都宮市		
1851	東汗遺跡	記念物	遺跡	東汗		
1852	加藤工務店会社事務所（下野紡績所）	有形	建造物	東蓼沼		1895 年
1853	しもつかれ	民俗	無形民俗			
1854	白鷺	記念物	動物、植物、地質鉱物			
1855	かんぴょう生産に係る田園風景	文化的景観	—			
1856	多功の町割	その他（地名･町割）	—	多功		鎌倉～戦国時代
1857	上三川城の町割	その他（地名･町割）	—	上三川		鎌倉～戦国時代
1858	日光道中（日光街道）	記念物	遺跡			江戸時代
1859	関宿通り多功道（日光東往還）	記念物	遺跡			鎌倉時代
1860	愛宕神社奉納子供相撲	民俗	無形民俗	上郷		
1861	ヨシ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1862	カサスゲ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1863	マコモ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1864	ホザキノフサモ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1865	ミズニラ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		

番号	名称	類型	種別	所在地	所有・管理者	時代
1866	ミクリ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1867	ナガエミクリ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1868	ハンノキ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1869	カモジグサーカニツリグサ群落	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1870	オオムラサキ	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1871	マダラスジハエト	記念物	動物、植物、地質鉱物	磯川緑地公園		
1872	生沼家住宅の石蔵	有形	建造物	上三川	上三川町	
1873	鎌倉街道（多功道）	記念物	遺跡			
1874	初詣・初市	民俗	無形民俗	上三川		
1875	白鷺神社の雷電宮祭	民俗	無形民俗	上三川		
1876	稲荷神社	記念物	遺跡	上文挟		
1877	氷神社	記念物	遺跡	上三川		
1878	星宮神社	記念物	遺跡	鞘堂		
1879	高龗神社	記念物	遺跡	西木代		
1880	高龗神社	記念物	遺跡	西汗		
1881	高龗神社	記念物	遺跡	東汗		
1882	高龗神社	記念物	遺跡	磯岡		
1883	天満神社	記念物	遺跡	川中子		
1884	長泉寺	記念物	遺跡	上三川		
1885	善応寺	記念物	遺跡	上三川		
1886	見性寺	記念物	遺跡	多功		
1887	西木代の天祭	民俗	無形民俗	西木代		
1888	鬼怒川の渡しや河岸	記念物	遺跡			
1889	満願寺の山門	有形	建造物	東汗		
1890	満願寺の薬師堂	有形	建造物	東汗		
1891	満願寺の楼門	有形	建造物	東汗		
1892	普門寺の本堂	有形	建造物	上三川		
1893	普門寺の東門	有形	建造物	上三川		
1894	普門寺の西門	有形	建造物	上三川		
1895	白鷺神社の本殿	有形	建造物	上三川		
1896	白鷺神社の拝殿	有形	建造物	上三川		
1897	水田雑草群落	記念物	動物、植物、地質鉱物			

4　上三川町の文化財に関する町民意識のアンケート

（1）アンケートの概要

① 目的

・町民に町の文化財に対するイメージ、知っているもの、接する機会、情報を得る手段などを質問し、関心を持ってもらえるようにするにはどうしたらいいか検討する材料を得る。
・町で行っている文化財を保存・活用する取組みは知っているか、町の取組みは十分かどうかを質問し、現在の文化財保護行政の課題や今後の進め方を検討する材料を得る。
・町の文化財を保護する取組みについて、町民が興味のある・取組みやすいものを質問し、町と町民の協働で歴史文化を活かしたまちづくりを進めていく在り方を検討する。

② 実施概要

・方法　　：対象住民を無作為抽出し、アンケートを郵送（600 件）。
　　紙と電子のどちらでも回答可能とした。
・回答数　：184 件の回答（紙 125 件、電子 59 件）があった。※回答率およそ 30%
・回答期間：令和 5（2023）年 12 月 15 日～令和 6（2024）年 1 月 26 日

③ 設問

① あなたの情報

性別　□男性　□女性　□回答しない

年齢　□10代　□20代　□30代　□40代　□50代　□60代　□70代　□80代以上

お住まいの地域　□本郷地区　□明治地区　□上三川地区

② 上三川町の文化財への興味・関心

質問１）あなたが大事だと思う「上三川町の文化財」は何ですか。（いくつでも可）

□歴史ある神社やお寺　□生沼家住宅のような古い民家や大谷石造りの蔵
□仏像や古文書　□吉澤章氏の折り紙作品などの美術品
□ふくべ細工などの伝統工芸　□祭りに使う山車や神輿
□古い生活道具や農具　□お囃子や太々神楽などの伝統芸能
□多功城や上三川城などの城跡　□古墳や上神主・茂原官衙遺跡などの遺跡
□古い巨木や希少な動植物　□古い地名や昔の街道

質問２）「上三川町の文化財」にどんなイメージがありますか。（いくつでも可）

□先祖から受け継いできた、未来へ継承すべき町のたからもの　□地域の歴史を知るのに必要なもの
□大切なものだが身近に感じない　□厄介で面倒、古くて難しいイメージ
□具体的なイメージがわかない　□その他〔　　〕

質問３）「上三川町の文化財」に接するのはどんな機会ですか。（いくつでも可）

□役場や図書館などの公共施設　□町のお祭りやイベント　□地域で行われる講座や見学会
□学校の授業や行事　□日常的に街中で　□テレビやラジオの広報番組
□本や新聞・雑誌、インターネット　□関心はあるが機会はあまりない
□関心も機会もほとんどない　□その他〔　　〕

質問４）「上三川町の文化財」の公開場所やイベントについて情報を集めるとき、どんな媒体を利用しますか。（いくつでも可）

□公共施設に置いてあるチラシやパンフレット、ポスター　□町が発行している広報
□町が発信しているメール　□町のホームページ　□本や新聞・雑誌
□町以外が発信しているホームページ　□テレビやラジオの広報番組
□インスタグラムやX(旧Twitter)などのSNS　□その他〔　　〕

質問５）多くの人が「上三川町の文化財」に興味や関心を持つためには、どんな取組みが必要だと思いますか。（いくつでも可）

□公共施設における文化財の展示内容の充実
□小・中学校の郷土学習や文化財を見学する授業の充実　□町の歴史文化を学ぶ講座の実施
□遺跡の現地説明会や生沼家住宅一般公開などの現地参加型イベントの実施
□町の文化財の案内パンフレットやチラシ、ポスターの作成
□文化財の公開情報や祭り・郷土芸能などのイベント情報の発信
□SNSを活用した文化財PRや、映像記録・PR動画の公開　□インターネット上での町文化財の公開
□史跡や町中にある文化財を紹介する案内や説明板の充実　□その他〔　　〕

③ 上三川町の文化財を保存・活用する取組み

質問６）上三川町では、文化財を保存・活用する様々な取組みを行っていますが、ご存じのものはありますか。（いくつでも可）

□埋蔵文化財の発掘調査や記録保存　□祭りや伝統芸能の活動への支援
□小・中学校の郷土学習の実施　□文化財の収集・保管、公開・展示
□歴史ある建造物の維持管理や公開・普及活動
□古墳や城跡などの史跡を保存・整備する取組みや案内板の設置
□文化財に関する講座やイベント、見学会などの開催
□文化財に関するパンフレットの作成　□上記のような取組みは知らない

質問７）あなたは質問６のような取組みが十分に行われていると思いますか。

□十分に行われている　□どちらともいえない　□不十分だと思う　□その他〔　　〕

質問８）質問７で、そのように答えた理由は何ですか。

〔　　〕

質問９）あなたは「上三川町の文化財」にどのような関わり方をしたいですか（あるいはすでに関わっていますか）。（いくつでも可）

□公開されている古民家や文化財を展示している施設に行ってみたい
□文化財に関する講座、お祭りや郷土芸能のイベントに参加してみたい
□町に伝わる太々神楽や伝統行事を継承したい
□文化財の散策マップやSNSの情報から自分で文化財巡りをしたい
□文化財を調査・研究をしたり、活用したりするサークルや集まりに参加したい
□ボランティアに参加して文化財の保存・活用の手助けをしたい
□文化財を巡るイベントといった、文化財を活用したイベントの企画を立ち上げたい
□文化財を保存・活用する事業をクラウドファンディングなどで支援したい
□文化財との関わりに興味はない

質問10）「上三川町の文化財」を保存・活用する取組みについて、要望や質問があれば、お書きください。

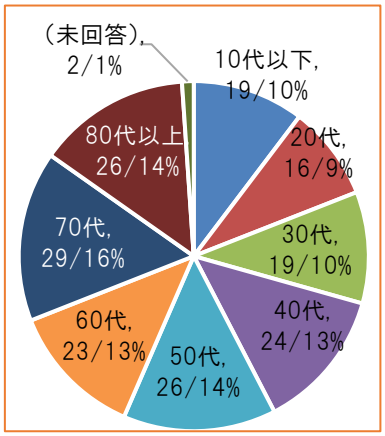
〔　　〕

（２）集計結果

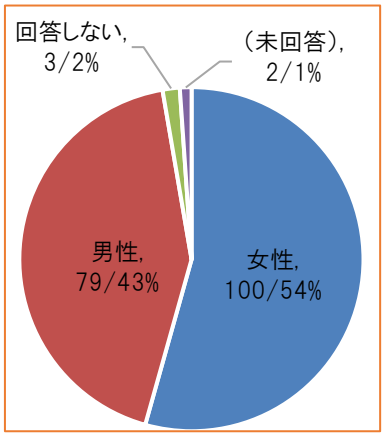
回答者の属性（性別・年齢・お住まいの地域）

回答者の性別はやや女性が多いがおよそ半々で、年代も各年代 10～16%と大きな偏りもなく回答が得られた。お住まいの地域は上三川地区が最も多かった。

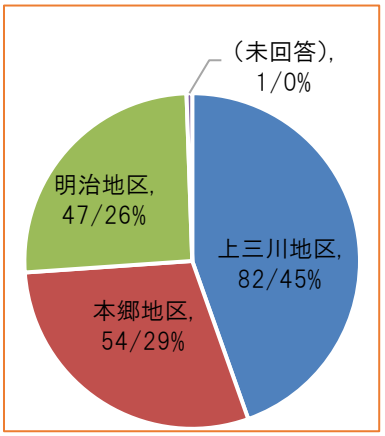
性別



年齢



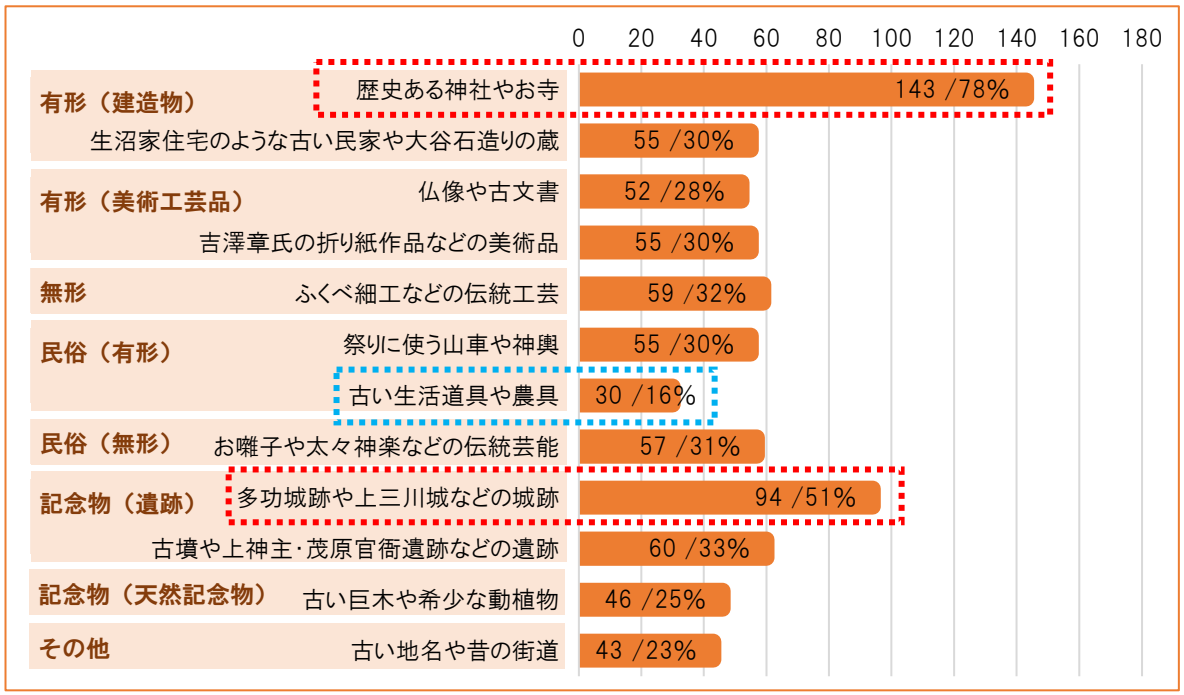
お住まいの地域



質問１）あなたが大事だと思う「上三川町の文化財」は何ですか。（いくつでも可）

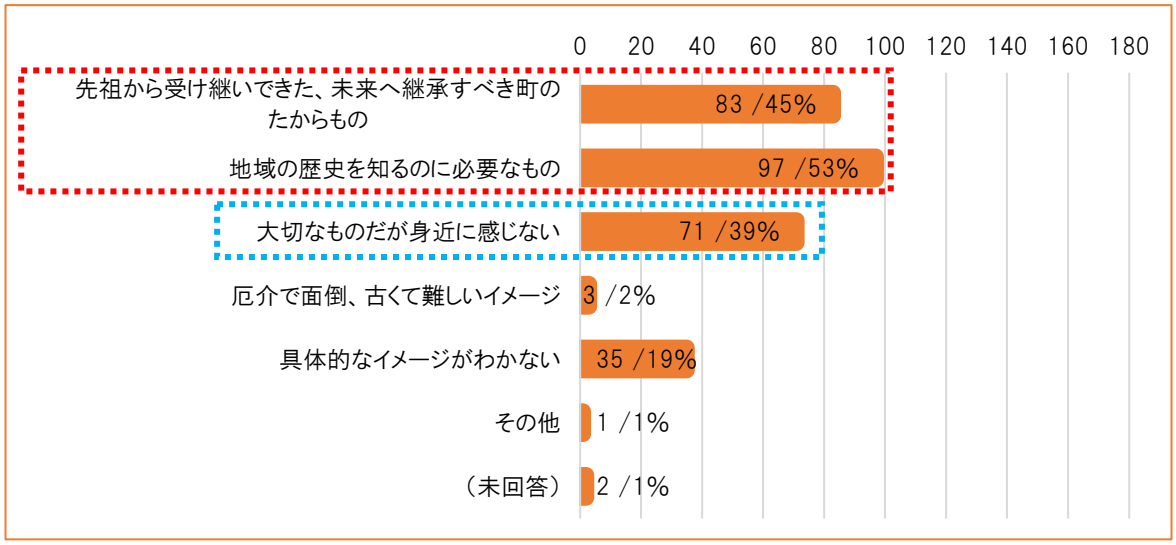
「歴史ある神社やお寺」が最も多く、「古墳や上神主・茂原官衙遺跡などの遺跡」が次いで多く、半数以上の回答者から選ばれた。

他の選択肢はおおむね３割程度の回答者から選ばれ、大きな差は見られなかったが、「古い生活道具や農具」がやや少なかった。



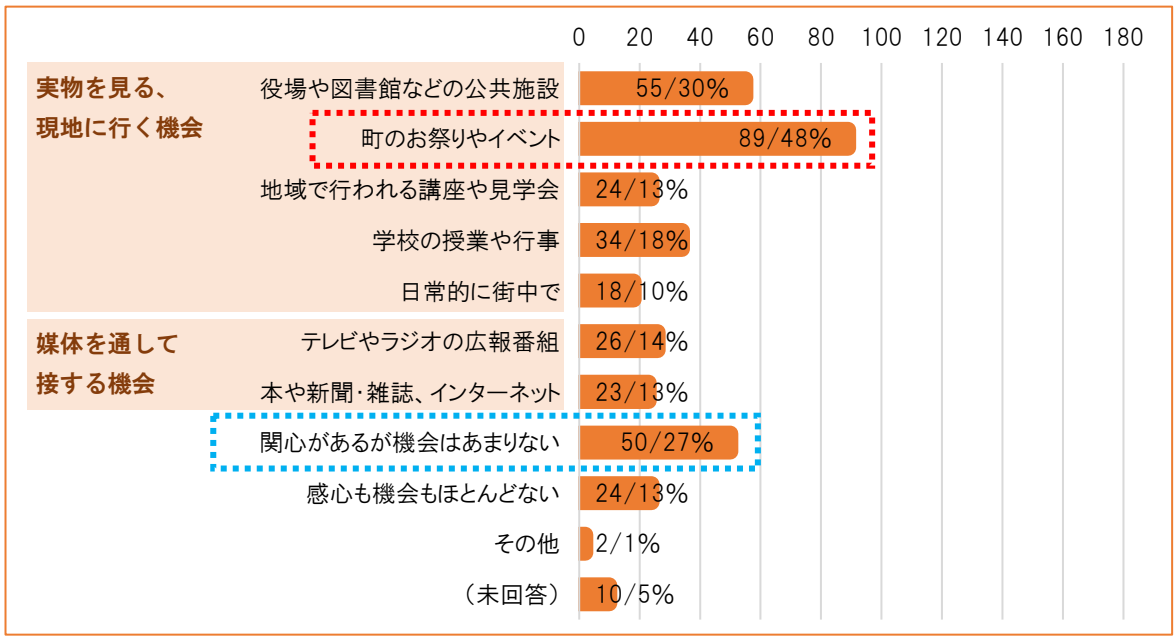
質問２）「上三川町の文化財」にどんなイメージがありますか。（いくつでも可）

「先祖から受け継いできた、未来へ継承すべき町のたからもの」、「地域の歴史を知るのに必要なもの」といった良いイメージの回答が半数近くを占める一方で、「大切なものだが身近に感じない」が４割、「具体的なイメージがわかない」が２割を占め、上三川町の文化財についてあまり身近に感じていない人も多い結果となった。



質問３）「上三川町の文化財」に接するのはどんな機会ですか。（いくつでも可）

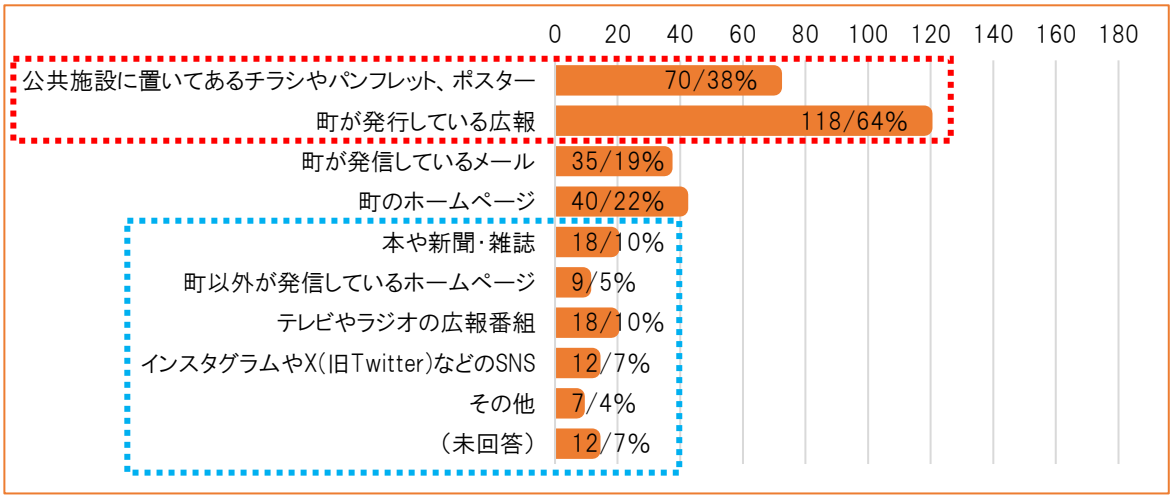
最も多かったのは「町のお祭りやイベント」で半数近くを占めているが、次いで多かったのは「役場や図書館などの公共施設」で３割程度だった。「関心はあるが機会はあまりない」も３割近くで、接する機会があまり多くない結果となった。



質問４）「上三川町の文化財」の公開場所やイベントについて情報を集めるとき、どんな媒体を利用しますか。（いくつでも可）

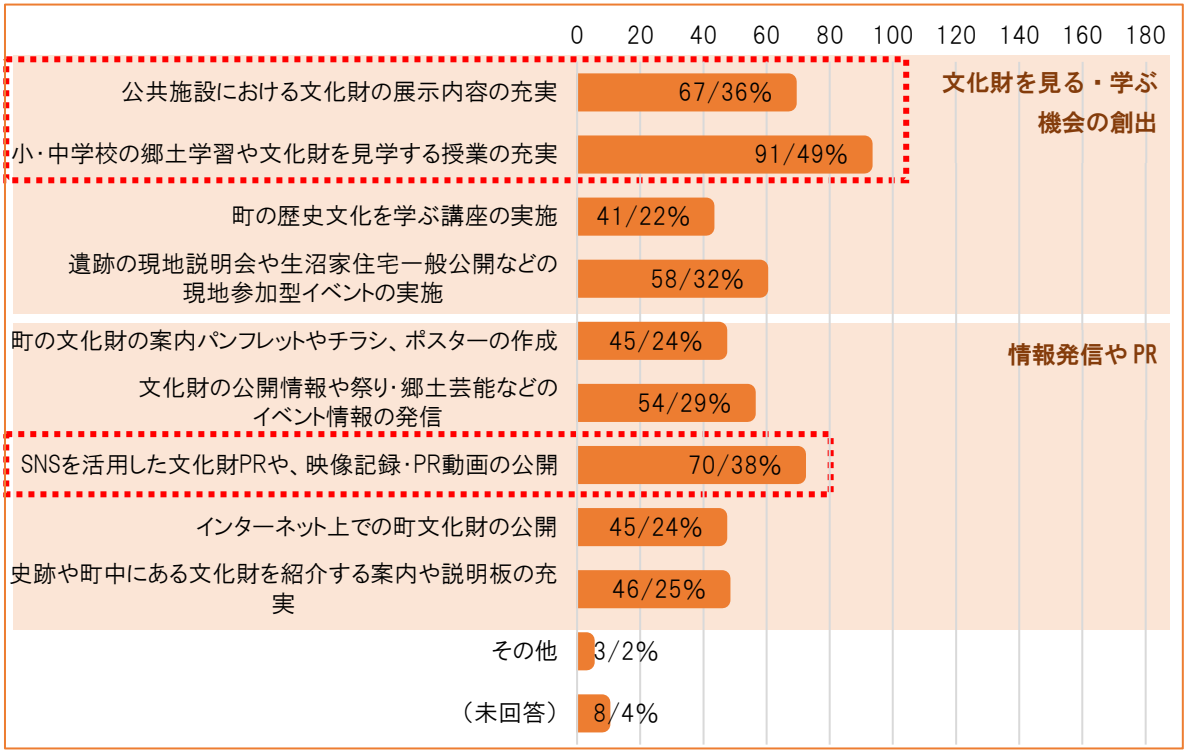
「町が発行している広報」、次いで「公共施設に置いてあるチラシやパンフレット、ポスター」といった、日常生活で自分から情報源にアクセスしなくても目にすることが出来るものが多かった。

その他の選択肢は、自分から情報源を探す必要があるものは少なかった。「その他」のうち３件は、そもそも情報を集める機会がないという回答だった。



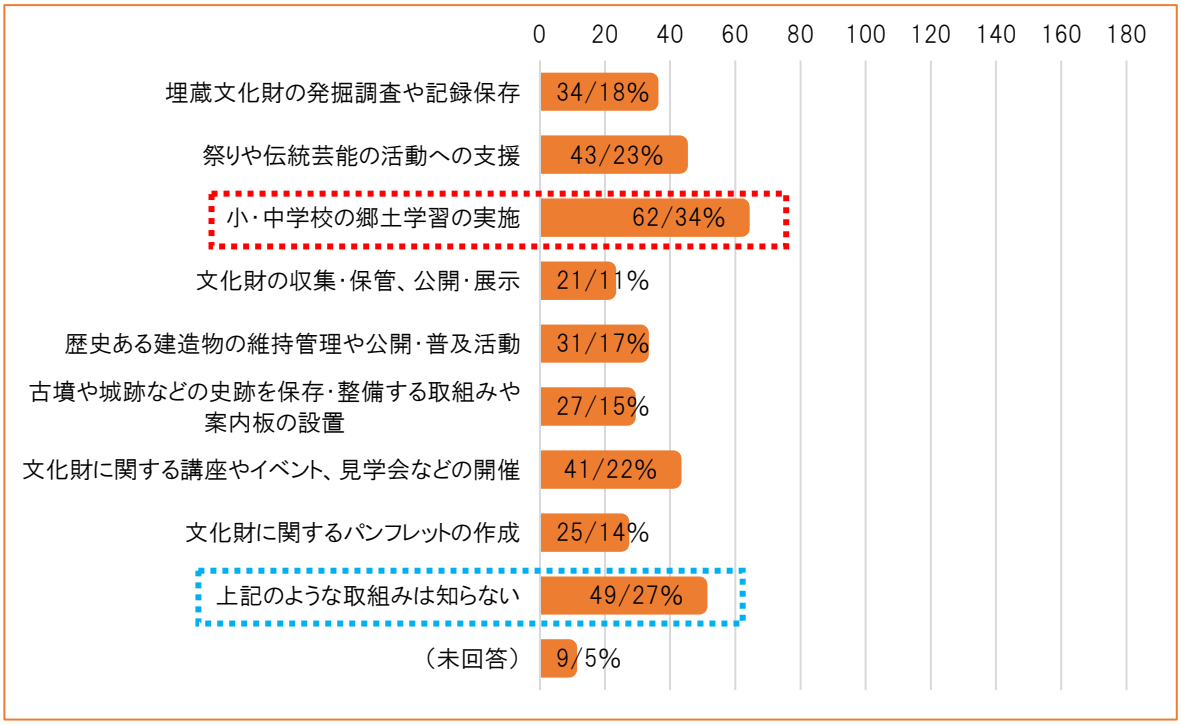
質問５）多くの人が「上三川町の文化財」に興味や関心を持つためには、どんな取組みが必要だと思いますか。（いくつでも可）

最も多かったのは「小・中学校の郷土学習や文化財を見学する授業の充実」だった。「SNS を活用した文化財 PR や、映像記録・PR 動画の公開」、「公共施設における文化財の展示内容の充実」が多く、現地に行かなくても文化財の価値や魅力がわかるもの、文化財を主目的としたイベント・施設以外でも文化財を見られるような取組みがやや多かった。



質問６）上三川町では、文化財を保存・活用する様々な取組みを行っていますが、ご存じのものはありますか。（いくつでも可）

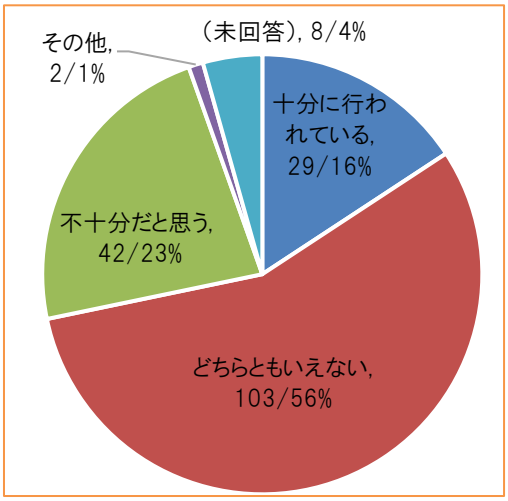
「小･中学校の郷土学習の実施」が最も多かったが、「上記のような取組みは知らない」が次いで多く、その他の選択肢は多くても２割程度で、文化財を保存・活用する取組みはあまり知られていなかった。



質問７）あなたは質問６のような取組みが十分に行われていると思いますか。

最も多かったのは「どちらともいえない」で半数以上を占め、次いで「不十分だと思う」が多かった。

「その他」の２件も、よく分からないという意見だった。



質問８）質問７で、そのように答えた理由は何ですか。

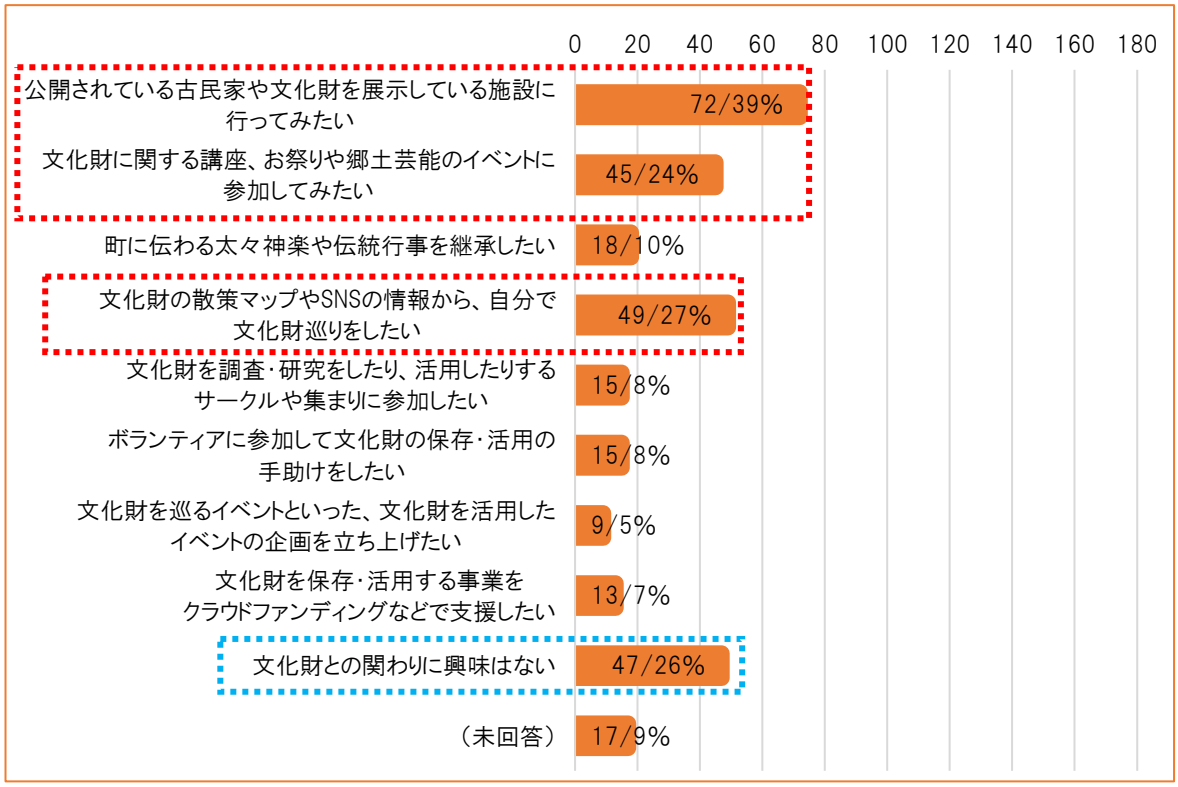
「十分に行われている」理由としては、学校教育をはじめ、祭りなどで文化財を目にする機会や町の歴史文化を知る機会があったことが挙げられている。

「どちらともいえない」理由は、文化財そのものの PR や保存・活用する取組みの周知不足が多かった。直接見る機会が少ない、興味がない・持てないといった理由も挙げられた。そのため、十分かどうかわからないといった理由も見られた。

「不十分だと思う」と考える理由も同様で、文化財そのものや保存・活用する取組みについて、知らない・周知されていないというものが多かった。

質問９）あなたは「上三川町の文化財」にどのような関わり方をしたいですか（あるいはすでに関わっていますか）。（いくつでも可）

「公開されている古民家や文化財を展示している施設に行ってみたい」が最も多く、次いで「文化財の散策マップや SNS の情報から自分で文化財巡りをしたい」や「文化財に関する講座、お祭りや郷土芸能のイベントに参加してみたい」といった、個人で気軽にできる関わり方が多かった。しかし、「文化財との関わりに興味はない」という意見も同程度あり、他の選択肢も 1 割未満が多く、消極的な結果となった。



質問 10)「上三川町の文化財」を保存･活用する取組みについて、要望や質問があれば、お書きください。

文化財に関するイベントや PR のやり方の提案や、町が発信する情報の見やすさ・分かりやすさの要望、情報発信・PR 不足の指摘などの意見が集まった。

（３）回答者の属性別の傾向分析

質問１～７、９について、回答者の属性（性別・年齢・お住まいの地域）ごとにクロス集計を行った。

① 性別による傾向

・性別による大きな差はあまり見られなかった。
・大事だと思う「上三川町の文化財」や、「上三川町の文化財」に接する機会、「上三川町の文化財」について情報を集めるときに利用する媒体など、複数回答が可能な質問では、女性の方が選択した回答数が多かった。
・男性の方が「上三川町の文化財」に接する機会が少なく、身近に感じない人も女性に比べてやや多かった。文化財を保存・活用する取組みもあまり知られていなかった。文化財との関わりに興味がない人もやや多かった。

② 年齢による傾向

【大事だと思う文化財・文化財に対するイメージ・接する機会】

・50 代は、大事だと思う文化財や接する機会、情報を集めるときの媒体、興味や関心を持つために必要な取組み、文化財に関する知っている取組み、関心のある取組み、いずれも選択した回答数が最も多かった。
・年齢が上がるにつれて大事だと思う文化財が多くなり、「上三川町の文化財」に対しても良いイメージを持つ人が多い。文化財に接する機会は「役場や図書館などの公共施設」や「関心があるが機会はあまりない」が多くなった。70 代以上は、他の年齢と比べて、媒体を通して接する機会が多かった。
・年齢が下がるにつれて大事だと思う文化財は少なくなり、「上三川町の文化財」を身近に感じない・具体的なイメージがわかない人も多くなった。文化財に接する機会は「学校の授業や行事」といった自分の関心に関わらず接する機会が多くなった。

【情報を集めるときの媒体・興味や関心を持つために必要な取組み】

・どの年齢も「町が発行している広報」が最も多いが、年齢が上がるにつれて「テレビやラジオの広報番組」といった旧来の受動的に情報が得られる方法が多くなった。興味や関心を持つために必要な取組みは、文化財を見る・学ぶ機会の創出、現地で見られる説明資料の充実が多かった。
・年齢が下がるつれて「インスタグラムや X(旧 Twitter)などの SNS」といった新規の受動的に情報が得られる方法が多くなった。20～50 代では「町のホームページ」も多かった。興味や関心を持つために必要な取組みも、学校教育と、こうした媒体を用いた情報発信が多かった。

【文化財に関する知っている取組み・取組みに対する関心】

・年齢が下がるにつれ「小・中学校の郷土学習の実施」が行われていることを知っている人は多かったが、「上記のような取組みは知らない」は 30・60 代で特に多かった。40 代も選択した回答数が少なく、「上記のような取組みは知らない」もやや多かった。取組みに対する関心も、20 代以下と 40 代が選択した回答数は特に少なく、40 代以下は「文化財との関わりに興味はない」が多かった。

③ お住まいの地域による傾向

・明治地区は他の地区と比べて、大事だと思う文化財が多く、特に民俗文化財や史跡が多かった。また、「学校の授業や行事」で文化財に触れる機会が多かった。
・本郷地区は他の地区と比べて、「上三川町の文化財」が身近に感じられておらず、悪いイメージもやや多かった。文化財に接する機会も少なく、文化財との関わりに興味がない人も多かった。

（４）分析結果

① 上三川町の文化財への興味・関心

【大事だと思う文化財・文化財に対するイメージ・接する機会】

・40 代以下は、文化財に接する機会がない人が他の年齢より多く、大事だと思う文化財の数も少なく、身近に感じていない人も多かった。40 代以下が文化財に接する機会となっている「町のお祭りやイベント」や「学校の授業や行事」が、文化財に対する関心を高めることに効果的な手段になっていないと考えられる。

【情報を集めるときの媒体・興味や関心を持つために必要な取組み】

・情報を集めるときの媒体として、「町が発行している広報」は回答者の属性を問わず多い。日常生活で自分から情報源にアクセスしなくても目にすることが出来るものも多く、幅広い年齢層には公共施設のチラシやポスター、若い人には SNS やホームページが有効だと考えられる。
・興味や関心を持つために必要な取組みは、「小・中学校の郷土学習や文化財を見学する授業の充実」が回答者の属性を問わず多かった。50 代以下の年齢の人には、「SNS を活用した文化財 PR や、映像記録・PR 動画の公開」、60 代以上だと「公共施設における文化財の展示内容の充実」も多く、現地に行かなくても文化財の価値や魅力がわかるもの、文化財を主目的としたイベントや施設以外でも文化財を見られるような取組みが求められている。
・質問 10 でも、情報発信・文化財の PR に関する指摘や要望が多く、文化財に興味がない人にでも届く情報発信の方法（用いる媒体・頻度）や、発信した情報を見てもらうためのコンテンツの充実といった、効果的な手法の検討が求められている。

② 上三川町の文化財を保存・活用する取組み

・文化財を保存・活用する取組みはいずれもあまり知られていないため、取組みが十分かどうかも判断ができない状態である。学校教育に関する取組みは、20 代以下を中心に認知度が高かった。
・取組みに対する関心は、40 代以下（特に 20 代以下と 40 代）は低く、文化財との関わりに興味がない人も多かった。40 代以下でも多かった文化財に接する機会や、興味や関心を持つために必要だと考えられている取組みを通じて、関心を高めていくことが必要である。

5 ワークショップ

（1）【1回目】ワークショップ

① 概要

・実施日：令和 6（2024）年 7 月 25 日（木）　午後 2 時から 4 時
・場所　：上三川町 ORIGAMI プラザ　学習室２
・事務局：上三川町教育委員会事務局生涯学習課（2 名）
※オブザーバーとして、壬生町歴史民俗資料館（1 名）、下野市文化財課（1 名）、協議会の櫻井副委員長が出席
・参加者：14 名（上神主・茂原官衙遺跡振興会 4 名、みぶ古墳ボランティアの会 4 名、上三川高校 2 名、下野薬師寺ボランティアの会 4 名）

② 実施内容

・歴史文化講座：「上三川、下野、壬生を通る道に見る歴史文化」の魅力を知ってもらうために、上三川町生涯学習課が講座を行った。
・地域活動の紹介：価値や魅力を伝える地域活動を知ってもらうために、「上神主・茂原官衙遺跡振興会」、「下野薬師寺ボランティアの会」、「みぶ古墳ボランティアの会」の３団体から、活動の紹介を行った。

歴史文化講座の様子

上神主・茂原官衙遺跡振興会の紹介

下野薬師寺ボランティアの会の紹介

みぶ古墳ボランティアの会の紹介

地域活動の紹介の主な内容

地域活動	
上神主・茂原官衙遺跡振興会	
「上神主・茂原官衙遺跡」が国の史跡に指定されたことを受け、地域の住民が協力しあって土地の管理や遺跡の保存整備を行い、地域振興とさらなる発展を目指して活動。	①遺跡の管理（除草や倒木の片づけ等） ②遺跡周辺の平地林の管理 ③地元小・中学校への里山授業 以前は「里山フェスタ in 上神主・茂原官衙遺跡」を開催
下野薬師寺ボランティアの会	
国の史跡「下野薬師寺」を介して歴史と文化を愛好し、下野薬師寺歴史館の活動に協力し、自ら教養を高めること、会員相互の親睦を深めることを目的に活動。	①見学者に対する解説・案内 ②史跡の環境整備（清掃など） ③勉強会、館外学習（史跡地見学） ④市等の行事への参加・協力・支援 ⑤学校支援、下野薬師寺の知名度向上
みぶ古墳ボランティアの会	
「みぶ古墳群」について、基礎的な知識と発掘調査や古墳見学の体験を通して、史跡見学者に解説できる人材の育成を目的に、ボランティアの育成講座を開催し、同会を設立。	①見学者や町内小学校への古墳めぐり解説 ②埴輪・縄文土器・勾玉作りの指導 ③古墳ボランティアの会 勉強会、古墳講座 県内ボランティアの会との交流会や、町主催の発掘調査の現地説明会の支援も実施

【１回目】ワークショップ参加者から出されたアイディア

アイディア
【情報共有の取組み】
①発掘見学会や講演会など、周辺の市や町（１市２町）で行われるイベントも含めて、情報を行政（教育委員会）で共有し、各市町のボランティア団体にも展開できるようにする。
【現地を見る・実物を体験する取組み】
②興味を持ってもらえるように、遺跡でレクリエーションを行いながら解説をする。
③周辺地域にまたがって分布するいろんな文化財を案内できるようにする（そのための交通手段を考える）。
④おはやしや神楽などの伝統芸能を、周辺の市や町で行われるものも含めて体験できるイベントを行う。
⑤昔からある生活道具の実物に触れる機会（学校の授業やイベントでの体験スペース）を作る。
⑥学校の授業で古墳めぐりやはにわ作り、土器発掘などを実際に体験する。
【魅力を多くの人に伝えるための方法】
⑦自分で調べた地域の歴史について発表したり、論文を書いたりする。
⑧伝えたい・知ってもらいたいことを動画にして、YouTube などに投稿する。
⑨地域の歴史を紙芝居などで、ストーリー仕立てで伝える。
⑩学校の授業で歴史の楽しさや面白さについて調べて、それを発表するポスターやパンフレットを作る。
⑪新しく地域に住み始めた住民に向けて、自治会の交流会や学習会で地域の歴史文化を教える。
⑫興味関心を持ってもらうための公開講座やウォーキングイベントを行う。
【学ぶ＋学んだことを伝える取組み】
⑬学校の地域学習を、学習＋解説のセットにして、学習した高校生が小学生に解説する。
⑭ボランティア団体が、歴史や文化財に関するプレゼン資料を作って座学を行い、現地を見て回るイベントを企画する。

（2）【2回目】ワークショップ

① 概要

・実施日：令和6（2024）年8月7日（水）　午後2時から4時
・場所　：ORIGAMIプラザ　学習室2
・事務局：上三川町教育委員会事務局生涯学習課（2名）
※オブザーバーとして、壬生町歴史民俗資料館（1名）、下野市文化財課（1名）、協議会の櫻井副委員長が出席
・参加者：14名（上神主・茂原官衙遺跡振興会5名、みぶ古墳ボランティアの会3名、上三川高校2名、下野薬師寺ボランティアの会4名）

② 実施内容

・グループワーク：参加者を4～5名の班に分け、各班で自己紹介をし、あらかじめ考えてきてもらったアイディアを共有してもらった。出されたアイディアの中から、「やってみたい取組み」に投票してもらい、各班で三つ選びだし、その三つについて、さらに実現方法を検討してもらった。
・発表：各班から、選んだ三つのアイディアとその実現方法を発表してもらった。

グループワーク・発表の様子

各班のアイディア

	アイディア	選んだ三つのアイディアとその実現方法	
1班	昔から伝わる地域の話を皆で調査する。	①なぜこの地域に人が古代から住むようになったかを調査する。	だれが：ボランティア団体、愛好会＋行政
	歴史と自然にふれる（＋食事をつくる）活動。		事前学習→講師を招いて勉強会→見学会→発表会
	ボランティアだけでなく、学校の授業などを通して地元の歴史文化を学んでもらう（主に高校生など）。	②昔の暮らしを体験できるイベントをする。	だれが：ボランティア団体 だれに：地域の方々、子供たち
			技術を持った人を招く→学ぶ→地域の子供たちに伝える
	埴輪･土器･勾玉作り、かわら作り。	③ＳＮＳ（TikTokなど）を使って歴史文化の短いドラマを作ってＰＲする。	だれが：ボランティア＋若者（高校生、大学生）＋行政
	マンガ的な絵とマンガ的なストーリーを作る。		企画を立てる→グループ作り（協力体制をつくる）→役割分担

<table>
<tr><th colspan="2">アイディア</th><th colspan="3">選んだ三つのアイディアとその実現方法</th></tr>
<tr><td rowspan="5">2班</td><td>古墳やハニワやたてものなどの歴史的な価値、歴史の楽しさ(うらばなし、発掘)。</td><td colspan="3">①子供たちへの活動：小中学生に各市町の遺跡とその意義を伝える機会を設ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>学校との連携(紙芝居、エゴマ栽培、施設見学、出張授業)、歴史観のイベント(講習会、夏休み、史跡地の絵画展)。</td><td>子どもに課題を与えて自ら考える場を作る。</td></tr>
<tr><td>漫画アニメで「下野の歴史」のようなものを作り、小中学生でも興味が持てるようにする。</td><td>まず学校の先生方に興味を持ってもらえるように仕向ける。</td></tr>
<tr><td>学童の人たちとハニワ作りや発掘作業(友達と楽しめる→面白く学べる)。</td><td rowspan="3">小中学生の発掘体験。そのために、発掘に関する情報を各市町(学校も含めて)共有して、機会を作る。</td></tr>
<tr><td>子どもたち中心にハニワや土器を作る(展覧する→やりたくなる)。</td></tr>
<tr><td>地域の人と古墳の発掘作業(小6～中3、幅広く)。</td></tr>
<tr><td colspan="3">②地域に情報・活動を広げる</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>域内遺跡の関係性を域内外へ知らせる機会や手段を設ける。各市町の遺跡発掘保全に関する情報を共有する。</td><td>文化財(史跡等)の現地にある看板にQRコードを付けて読み込むと詳細が分かるようにする。</td></tr>
<tr><td>周辺自治体を巻き込んだ歴史遺産の周知・保全活動への展開。</td><td>ボランティア自身の向上(勉強会、見学会)。</td></tr>
<tr><td>歴史を教える会(小中高向け、楽しく)。</td><td>灯明油として使うエゴマ栽培を学校で観察する(最初から油をとるまで細かく出来るように)。</td></tr>
<tr><td>全国・県(メディアを通して宣伝、ビジターへの案内、薬師祭参加)。</td><td>地域へのアピール(講習会、講演会、ハイキング、自治会でのPR,灯明の会、発掘説明会)。</td></tr>
<tr><td colspan="3">③遺跡とその案内所の整備</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>遺跡の姿(形)を復元して昔の姿が想像できるようにする。→月に数回、遺跡の説明を行う場を作る。同時にパンフなどを作成して説明する。→復元ができたら案内所を設けて説明する機会を設ける。→当時の役所の役割や管轄エリアを明確にして興味を持たせる。→遺跡周辺の山林を散策できるように整備する。</td><td>町と一緒になって具体的な実現方法を計画書にまとめる。</td></tr>
<tr><td>案内所(地域の交流の場、ボランティアの活動の場、興味のある人の場)を作る。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3班</td><td>立派なパンフレットより手づくの資料を渡す方が、温かみがあり、読んでくれると思う。</td><td rowspan="8">①地元のメディア(ケーブルTV、NHK630)を利用して活動をPRする。</td><td>FacebookやSNSで発信していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プレゼン用にパワーポイントで資料を作成し、現地案内前に座学で予備知識を得てから案内すると良いかも。</td><td>それぞれの町で文化財や歴史の応援団を作って、広く知ってもらうための活動をする。</td></tr>
<tr><td>キャッチコピーを付ける。(上三川の石舞台)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">他の要素(日の出、星空)と一緒にPRする。</td><td>企業の力を借りる。商工会や観光課を巻き込む。</td></tr>
<tr><td>ボランティア団体募集と勉強会を並行して行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看板を作る。</td><td>文化財や歴史の学習会を行う。1 年かけて、長期間。</td></tr>
<tr><td>学校に歴史クラブを作り、地域の歴史を勉強する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②GoogleMap に情報を載せる。写真付きの口コミ、投稿。</td><td>インスタでPR(地域の方、ボランティア会員が投稿する)。</td></tr>
<tr><td>遺跡のフィールドとしたイベントを行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③展示施設を作る(小さくても良い)。→巡回展を行う。</td><td>声を上げる。</td></tr>
<tr><td>今ある施設の一角に展示スペースを作る。→少しずつ大きくしていく。</td></tr>
</table>